

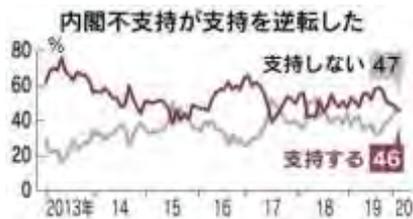
2020年2月24日～17日

世論調査（日経新聞）、改憲、自民党方針案、日米・米軍・自衛隊・沖縄・中東、桜、検事長、志位枝野会談、市民連合、政局

内閣支持 46%、不支持 47%で拮抗 日経世論調査

2020/2/23 19:30 日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社とテレビ東京による21～23日の世論調査で安倍内閣の支持率は46%で、1月の前回調査の48%からほぼ横ばいだった。不支持率も前回の45%からほぼ横ばいの47%で支持・不支持が拮抗した。不支持率が支持率を上回ったのは2018年7月以来、1年7カ月ぶりになる。



安倍内閣を「支持する」と答えた人を世代別で見ると18～39歳が52%、40～50歳代は47%、60歳以上は43%で、若い世代ほど支持が多かった。男女別に見ると男性は前回から4ポイント減って50%、女性は前回と横ばいの39%だった。

首相主催の「桜を見る会」をめぐる一連の問題について、政府の説明に「納得できない」と答えた人は76%だった。「納得できる」と答えた人は14%にとどまった。「納得できない」と答えた人は内閣支持層でも59%に上り、不支持層では93%に達した。自民党支持層でも6割を超えた。

内閣を支持する理由を複数回答で聞くと、最も多かったのは「安定感がある」で38%だったが、前回調査に比べて7ポイント低下した。「自民党中心の内閣だから」が3ポイント増の28%、「国際感覚がある」が8ポイント減の26%で続いた。支持しない理由(複数回答)の最多は「人柄が信頼できない」の50%だった。50%を超えたのは18年10月以来になる。

憲法改正に向けて各党が国会で具体的な議論をすべきかどうかを聞くと「議論すべきだ」と答えたのは前回調査の73%からほぼ横ばいの75%で「議論する必要はない」は4ポイント下がり18%だった。「議論すべきだ」と答えた人は内閣支持層で83%、不支持層でも67%に上った。

どの政党を支持するかを聞くと、自民党と答えた人が最も多い39%だった。前回調査からは6ポイント減った。野党第1党の立憲民主党は前回の10%から横ばいの9%で続いた。特定の支持政党を持たない無党派層は4ポイント増の34%だった。

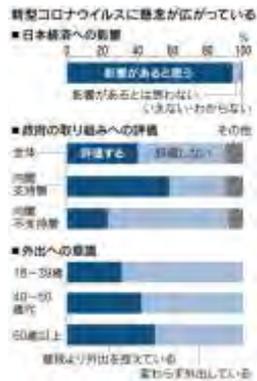
調査は日経リサーチが2月21～23日に全国の18歳以上の男女に携帯電話も含めて乱数番号(RDD方式)による電話で実施し、1012件の回答を得た。回答率は43.3%。

新型肺炎「日本経済に影響」94% 日経世論調査

2020/2/23 22:00 日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の21～23日の世論調査で、新型コロナウイルスによる肺炎について日本経済に「影響があると思う」と答えた人は94%にのぼった。政府のこれまでの取り組みを「評価しない」と答えた人は50%で「評価する」の40%を上回った。感染を防ぐため「普段

よりも外出を控えている」と答えた人は43%、「普段と変わらず外出している」は56%だった。



新型肺炎で「日本経済に影響がある」と答えた人は、内閣の支持・不支持や世代、職業、居住地域にかかわらず9割を超えた。「影響があるとは思わない」との回答は全体の5%しかなかった。今後の日本経済への懸念があらゆる層で広がっている。

発生源となった中国では本土での感染者が7万人を超えた。増加ペースは鈍ったものの収束の見通しは立たない。自動車部品工場が操業休止に追い込まれるなど日本の製造業のサプライチェーン(供給網)にも影響が出ている。長期化すれば地理的に近く、経済的なつながりも深い日本への影響はさらに大きくなる。政府は13日に153億円の緊急対策をまとめ、追加対策も検討している。

これまでの政府の対応への評価は内閣支持層と不支持層で割れた。内閣支持層では「評価する」が58%、「評価しない」が32%だった。不支持層では「評価する」が23%で「評価しない」は69%にのぼった。人口が集中する首都圏と関西圏では50%以上が「評価しない」と答え、その他の地域より高かった。世代別では若い人ほど「評価しない」の回答が多かった。

新型肺炎の国内感染者は、集団感染が発生したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」の感染者を除くと100人を超えた。同船で作業にあたった厚生労働省や内閣官房の職員にも陽性反応が出ている。このため野党からは国内に感染を持ち込ませない「水際作戦」が失敗したと批判する声も出ている。

感染防止のため「外出を控えている」との回答は、年齢が高いほど増える傾向があった。「控えている」と答えた人は18～39歳は31%、40～50歳代は42%だったのに対して60歳以上では50%に達した。

世界保健機関(WHO)によると、今回の新型肺炎は高齢者や基礎疾患がある人の方が重症化するリスクが高い。こうした情報を踏まえ、高齢世代ほど感染を警戒して行動に気をつけているといえそうだ。

「控えている」と回答した人は男性では37%だったのに対し、女性は53%と半数を超えた。職業別で最も多かったのは専業主婦の65%で、無職の49%が続いた。

検事長の定年延長「問題ある」54% 日経世論調査

2020/2/23 22:00 日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の世論調査で、政府が法解釈を変更して黒川弘務東京高検検事長(63)の定年の延長を閣議決定したことについて「問題があると思う」と答えた人が54%にのぼった。「問題があ

るとは思わない」は32%だった。

内閣支持層と不支持層で「問題があると思う」と答えた人の割合に差が出た。支持層では36%だったのに対し、不支持層では74%だった。

検察庁法は検察官の定年を63歳、検察トップの検事総長の定年を65歳と定めている。政府は1981年の答弁で、国家公務員の定年延長の規定は検察官に適用されないとの見解を示していた。政府は今回、国家公務員法や検察庁法の解釈を2020年1月に変更して定年を延長したと説明している。

次期首相、石破氏が首位 日経世論調査

2020/2/23 21:00 日本経済新聞 電子版

日本経済新聞社の世論調査で、次の政権の首相にふさわしいと思う人物を聞いたところ、1位は自民党の石破茂元幹事長で26%だった。1月の前回調査でも25%でトップだった。2位は安倍晋三首相と小泉進次郎環境相が14%で並んだ。首相は前回から3ポイント下がり、小泉氏は3ポイント増えた。

4位以下は河野太郎氏が8%、岸田文雄氏が5%、立憲民主党の枝野幸男代表が5%、菅義偉氏が4%で続いた。

自民党支持層では首相がトップで26%、石破氏が20%、小泉氏と河野氏が13%で続いた。内閣不支持層では石破氏が36%で最も高く、小泉氏が12%、枝野氏が10%の順だった。野党支持層では石破氏が43%で1位、枝野氏が15%で2位だった。

しんぶん赤旗 2020年2月19日(水)

改憲よりも疑惑の説明を 東京・有楽町 ウィメンズアクション 総がかり実行委



(写真)安倍9条改憲反対と声を上げる人たち。

訴えるのは倉林明子副委員長＝18日、東京・有楽町駅前

女性の立場から改憲反対の世論を広げようと18日、東京・有楽町駅前で行われたウィメンズアクションが行われました。参加者は「政治を私物化する安倍首相に、憲法をさわる資格はありません」とスピーチ。安倍改憲発議に反対する全国緊急署名を呼びかけました。主催は、総がかり行動実行委員会です。

同アクションは、自民党が憲法9条の支持が高い女性をターゲットに改憲集会を開いていることに対抗して毎月取り組んでいます。

司会を務めた菱山南帆子さんは、安倍首相のうそやごまかしが明らかになっていると述べ、「それでも改憲に執念を燃やしています。『改憲反対』の声をあげ続けましょう」と呼びかけました。

リレートークで全労連副議長の長尾ゆりさんは、「私たちが求めるのは改憲ではなく、あらゆる疑惑についての説明です。絶対に9条は変えさせません」と語りました。

日本共産党の倉林明子、社民党の福島瑞穂の両参院議員、無所属の柚木道義衆院議員が参加。倉林氏は、改憲のねらいは9条を変えて「戦争ができる国」へ日本を変えることだと強調し、「こんな政治は終わらせないといいません。安倍政権を退陣に追い込み、みんなで新しい政権をつくりましょう」と呼びかけました。

しんぶん赤旗 2020年2月20日(木)

うそをつく政権倒そう 総がかり実行委 新しい政治つくる



(写真)「安倍改憲を絶対許すな」

「桜疑惑を徹底追及」とコールする人たち＝19日、衆院第2議員会館前

総がかり行動実行委員会は19日、53回目の「19日行動」を行いました。寒い風のなか、衆院第2議員会館を中心に1800人(主催者発表)の市民がかけつけ、「桜を見る会」をめぐる疑惑の徹底究明、安倍政権による改憲の阻止、自衛隊の中東沖への派兵反対などの声をあげました。

主催者あいさつした憲法共同センターの泉澤章さん(自由法曹団幹事長)は、「桜を見る会」をめぐる疑惑について「国政を私物化し、うそをつく政権を倒すまでもにたたかい続けよう」と呼びかけました。

各団体の代表らがあいさつ。杉浦ひとみ弁護士は、「男女平等」を口実にした自民党の稲田朋美幹事長代行の改憲発言について、「『男女平等』をいうなら、選択的夫婦別姓を否定する現在の安倍政権や自民党の姿勢こそ改めるべきだ」と述べ、改憲に利用しようとする言動を厳しく監視すると語りました。

日本共産党の山添拓参院議員、立憲民主党の近藤昭一衆院議員があいさつ。山添氏は「公的行事を私物化し、うそをつく安倍首相に国政を担う資格はない。市民と野党の共闘で安倍政権を倒し、新しい政府をつくらう」と訴えました。畑野君枝衆院議員が紹介されました。

「19日行動」は、2015年9月19日に強行された安保法制(戦争法)の廃止を求めて毎月おこなわれています。

しんぶん赤旗 2020年2月20日(木)

「首相は日本壊すな」官邸前で市民有志 議会運営にも抗議



(写真)うそをつき、政治を私物化する

安倍首相は辞めろと声を上げる人たち＝19日、首相官邸前

国会を破壊するような安倍晋三首相の答弁やヤジ、棚橋泰文衆院予算委員長による議会運営に対する緊急抗議が19日、首相官邸前でおこなわれました。集まった人たちは「嘘(うそ)をつくな」などと書かれたプラカードやのぼり旗を手に「安倍は辞めろ」と声をあげました。

連日、異常な国会運営が問題になっています。衆院予算委員会で安倍首相が閣僚席から野党議員にヤジを飛ばしたことに對し、棚橋委員長は「私には聞こえなかった」と放言。答弁に立った

大臣が質問に答えていないと野党理事が抗議しても速記を止めないなど、与党に付度(そんたく)する姿勢が目立っています。

抗議を呼びかけたのは、市民有志でつくる「怒りの可視化」。メンバーの日下部将之さんは「桜を見る会」をめぐる安倍首相の国会答弁をあげ、「もう詰んでいる」と指摘。棚橋氏の国会運営もひどすぎるとのべ、「これ以上、日本を壊されるわけにはいかない。安倍氏はすぐに辞めるべきだ」と語りました。

自民、20年の運動方針を決定「衆院選へ常在戦場」、改憲も

2020/2/21 18:27 (JST)2/21 18:39 (JST)updated 共同通信社

自民党は21日の総務会で2020年運動方針案を了承した。次期衆院選へ「常在戦場を改めて肝に銘じる必要がある」と明記し、選挙準備を加速するよう党員に呼び掛けた。党是とする憲法改正では、改憲案の国会発議に決意を表明。来年9月の安倍晋三首相の総裁任期満了を見据え、改憲論議の前進を図る。

党大会に代わる両院議員総会で来月採択する。党大会は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月の開催を延期した。

運動方針案は、衆院議員任期が残り2年を切ったと指摘。年内にも取り沙汰される衆院選について「いかなる状況下でも必ず勝たねばならない」として、活動強化を求めた。

自民、改憲案「国会発議へ尽力」20年運動方針案に明記

2020/2/18 20:23 (JST)2/18 20:35 (JST)updated 共同通信社

自民党の2020年運動方針の原案が18日、判明した。憲法改正について「改正原案の国会発議に向けた環境を整えるべく力を尽くす」と党の決意を鮮明にした。前提として「国民が判断する材料を示すのは政治の責務だ」とも強調した。憲法を独立した章として前面に打ち出したのは、12年12月の第2次安倍政権発足後、初めて。

党の運動方針案起草委員長を務める山口泰明組織運動本部長が14日、安倍晋三首相と官邸で会談し、調整を図った。党内の了承手続きを経て、3月8日に予定する党大会で採択する。

19年運動方針では前文に簡潔な記述をするのにとどめたが、位置付けを一転させた。

自民20年運動方針原案 憲法改正前面に「幅広い合意形成を図る」

毎日新聞 2020/02/18 22:51

自民党が3月8日の党大会で提案する2020年運動方針の原案が18日判明した。安倍晋三首相(党総裁)の宿願である憲法改正について、「新たな時代にふさわしい憲法へ」と題して他の政策とは別に取り上げ、「憲法改正原案の国会発議に向けた環境を整えるべく力を尽くす」と改憲への決意を明記した。

運動方針原案は「みんなが輝く令和の国づくり」と題し、前文と憲法改正、各種政策などで構成している。

改憲については「未来に向けた国づくりに責任を果たすため憲法改正を目指す」と決意を示し、改憲議論の是非を争点に掲げた昨夏の参院選で『「議論を前に進めよ」との国民の強い支持を得た」と強調。衆参両院の憲法審査会で早期に「各党各会派の枠を超えた議論」をするよう求め、「各党各派からの意見・提案があれば真剣に検討するなど幅広い合意形成を図る」とした。

政策では、東日本大震災からの復興や全世代型社会保障の実現など11分野を提示。感染が広がる新型コロナウイルスについて、水際対策の徹底や検査・医療提供体制の整備などを盛り込んだ。

さらに「政治を前に進める党活動」として、党勢拡大に向けた活動などを記載。改憲機運を高めるため、「支持層のみならず幅広い層へ憲法論議の必要性を多角的にPRする」と記した。また「衆院議員の任期も後半に入っており、常在戦場を改めて肝に銘じる必要がある」とし、衆院静岡4区補選や東京都などの各知事選で「総力を結集して戦い抜く」とした。【竹内望】

自民 改憲への環境整備や衆院選挙の態勢を整える運動方針案

NHK2020年2月19日 4時41分



自民党は憲法改正原案の国会発議に向けて、環境整備に力を尽くすことや、次の衆議院選挙に向けて態勢を整えることなどを盛り込んだ、ことしの運動方針案をまとめた。

続きを読む

運動方針案によりまずと憲法改正について「国民に判断材料を示すことは政治の責務だ」として、衆参両院の憲法審査会で早期に議論が行われるべきだとしています。

そして「各党から意見や提案があれば真剣に検討するなど、幅広い合意形成を図りつつ、憲法改正原案の国会発議に向けた環境を整えるべく力を尽くす」としています。

また、次の衆議院選挙について「衆議院議員の任期も後半に入っており、常在戦場を肝に銘じる必要がある」として、態勢を整えることも盛り込まれています。

一方で、「桜を見る会」をめぐる問題などを念頭に「政治は国民のものとの原点に立ち返り、国民の声に謙虚に耳を傾けていく」としています。

さらに新型コロナウイルスへの対応について「国民への迅速な情報提供や、検査・医療体制の整備など、国民の安全確保のため、対応に万全を図る」としています。

自民党は21日にも、総務会で、この運動方針案を了承し、来月8日に予定どおり党大会を開催した場合には、そこで正式に決定することにしています。

自民 ことしの運動方針案を了承 改憲向け環境整備など盛り込む

NHK2020年2月21日 15時27分



自民党は、憲法改正原案の国会発議に向けて環境整備に力を尽くすことや次の衆議院選挙に向けて態勢を整えることなどを盛り込んだ、ことしの運動方針案を了承しました。

自民党が総務会で了承したことしの運動方針案によりまずと、憲

法改正について「国民に判断材料を示すことは政治の責務だ」として、衆参両院の憲法審査会で早期に議論が行われるべきだとしています。

そして「各党から意見や提案があれば、真剣に検討するなど、幅広い合意形成を図りつつ、憲法改正原案の国会発議に向けた環境を整えるべく力を尽くす」としています。

また次の衆議院選挙について「衆議院議員の任期も後半に入っており、常在戦場を肝に銘じる必要がある」として、態勢を整えることも盛り込まれています。

一方で「桜を見る会」をめぐる問題などを念頭に「政治は国民のものとの原点に立ち返り、国民の声に謙虚に耳を傾けていく」としています。

さらに新型コロナウイルスへの対応について「国民への迅速な情報提供や、検査・医療体制の整備など、国民の安全確保のため、対応に万全を図る」としています。

自民党は感染拡大を受けて、来月8日に予定していた党大会を延期することから、来月、両院議員総会を開き運動方針を正式に決めることにしています。

しんぶん赤旗 2020年2月23日(日)

自民、改憲前面に運動方針 憲法審での議論開始主張

自民党の2020年の運動方針案が22日までに明らかになりました。同総務会が21日に了承。構成で改憲の項目を新設して前面に押し出し、改憲の国会発議に向けて、早期の衆参の憲法審査会での改憲論議の開始を訴えています。

方針案は(1)前文(2)改憲(3)重点政策(4)党活動一との構成。昨年以前文、党活動、重点政策という構成から、本文冒頭に改憲項目を立てて強調しています。前文では改憲に触れて、「国民的議論を前進させていく」と表明しました。

本文の改憲項目では、改憲の「国民が判断する材料を示すことは政治の責務だ」として、同党が安倍晋三首相提案の「自衛隊明記」の9条改憲を含めた改憲4項目を取りまとめた紹介。そのうえで「早期に衆参の憲法審査会の場合における各党各会派の枠を超えた議論は、実施されるべきである」と訴え、「わが党は、各党各会派からの意見・提案があれば真剣に検討するなど幅広い合意形成を図りつつ、憲法改正原案の国会発議に向けた環境を整えるべく力を尽くす」と述べました。

また「憲法改正に向けた国民的議論を前進させるため、党を挙げて活動を展開していく」と表明。憲法改正推進本部に「遊説・組織委員会」を設置し、全国各地で「憲法改正研修会」を開催すると述べました。女性向けパンフレットや街頭宣伝、広報本部が作製したポスターの全国展開やインターネット動画を活用すると述べました。

3月8日に予定されていた自民党大会は、新型肺炎問題などを受け、延期されました。

改憲本部が今国会初会合 自民、議論進めると細田氏

産経新聞 2020.2.20 11:19

自民党憲法改正推進本部は20日午前、今国会召集後初めての会合を党本部で開いた。細田博之本部長は「衆参両院の憲法審査会で与野党間の議論も着実に進めていきたい」とあいさつ。

早期の国会発議を目指して、世論喚起や環境整備を図る構えだ。

この日は曾我部真裕京都大教授から、内閣など統治機構に関する憲法上の論点を聞き取った。当面は有識者との意見交換を続ける。

公明憲法調査会、1年10カ月ぶり再開へ 自民案は対象外 慎重姿勢一段と

2020/2/19 2:00 日本経済新聞 電子版

公明党は3月にも党の憲法調査会を開き、憲法改正をめぐる党内議論を1年10カ月ぶりに再開する。野党が求める国民投票時のCM規制について党の考えをまとめるのが目的で、9条への自衛隊明記などを柱とする自民党の改憲案は議題としない。自民党はCM規制をめぐる公明党内の調整に時間がかかれば、具体的な改憲論議も始めにくくなるとみる。

全国県代表



国民投票時のCM規制について党の考えをまとめる

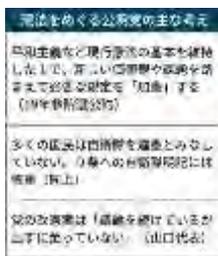
(8日の党会合であいさつする山口代表)=共同

山口那津男代表は18日の記者会見で「野党側からも問題提起があるなか、党としての考え方をまとめていこうという流れでの発想だ」と述べた。

テレビとラジオに関する現行のCM規制は投票日の14日前から投票日までの期間だけで、インターネットを巡る規定はない。北側一雄憲法調査会長は「いまやネット広告がテレビやラジオを凌駕(りょうが)している。党内で議論しないとイケない」と語る。

CM規制は立憲民主党や国民民主党が国会の憲法審査会で議論するよう求めている。自公両党は改憲手続きを改める国民投票法改正案の採決を優先すべきだと主張し、与野党が折り合っていない。公明党はいずれCM規制を本格的に議論する必要があるとみて、党内の意見集約を始める。

インターネットまで含めた規制のあり方を議論すれば時間がかかる。衆院憲法審査会が昨秋にドイツなど4カ国を回った欧州視察の団長報告は「各国ともまだ十分な検討が行われていない」と総括しており、海外事例も参考としにくい。



自民党では公明党の憲法調査会の再開が改憲論議を本格化する足がかりになるとの見方がある一方、「手続き論に時間をかけて改憲の具体論に入るのを遅らせる狙いではないか」との警戒もある。

公明党の憲法調査会は国民投票法改正案を了承した2018年5月を最後に会議を開いていない。19年夏の参院選への影響を考慮し、党内での改憲論議を控えていた。

北側氏は19年秋から憲法調査会の再開に意欲を見せていた。改憲論議を前進させたい自民党と歩調を合わせるため、自民党が掲げる改憲4項目の議論にも前向きだった。ただ党内に慎重論が多く、19年中の再開は見送った。

今回はCM規制に限定する形で議論を再開する。9条への自衛隊明記など自民党が示す4項目の改憲案は対象としない。

安倍晋三首相は自民党総裁任期が切れる21年9月までの改憲実現を目指している。公明党は首相が主張する9条改正に慎重で、山口氏は「憲法のどこに首相が憲法を発議すると書いてあるのか」とクギを刺す。

中国で発生した新型コロナウイルスによる肺炎への対策として、自民党内の一部では緊急事態条項を新設する改憲論も出ている。山口氏は「まず現行法でできる限りのことをやるのが重要だ」と否定している。

次期衆院選は衆院議員の任期が満了する21年10月までに実施される。公明党は改憲が争点となるのを避けつつ、連立を組む自民党との選挙協力を強める道を探る。

公明・山口氏、稲田氏案を否定 女性議員増の憲法14条改正

産経新聞 2020.2.18 13:21

公明党の山口那津男代表は18日の記者会見で、女性議員の割合増加のため憲法14条を改正するとして自民党の稲田朋美幹事長代行の独自案に否定的見解を示した。法の下での平等を定めた現行14条について「当然、性による平等も含まれている」と述べた。

その上で、基本的な人権の尊重を行き渡らせる努力が政治家に求められると述べた。

徴兵制「憲法許容せず」政府答弁書

産経新聞 2020.2.18 13:18

政府は18日の閣議で、徴兵制導入に関し「平時、有事を問わず、許容されない。社会情勢などの変化により変わるものではない」との答弁書を決定した。苦役からの自由を定めた憲法18条などの趣旨に反するとして。無所属の階猛衆院議員の質問主意書に答えた。

人手不足が指摘される自衛隊員の人材確保策については、予備自衛官の活用や人工知能(AI)などを用いた無人化、省人化を講じる考えを示した。

自衛隊中東派遣に思う 自衛官の立場考えた憲法改正を

毎日新聞 2020年2月21日



原田憲治氏＝高橋恵子撮影

昨年来、米国とイランの緊張関係が続いている中で、原油を運ぶタンカーの乗組員たちは大きな不安を感じてこられた。他国の船がそれぞれの国に守られているというのに、日本だけ何も対処しないという事はあり得ない。原油は現在の日本経済、そして日本人の生活の要だ。日本の船員さんたちに見える形で、安心して原油の輸送に当たってもらうのが今回の派遣要因の一つだ。

米国から海洋安全保障イニシアチブ(有志連合)参加の呼びかけはあったが、米国に言われたら何でもかんでも一緒にやるということはない。日本にはイランとの関係もある。日本の判断として独自派遣を決めたということだ。

現時点では調査・研究が妥当

現時点では中東の海域で武力紛争が起こることは想定されていない。しかし、きちんと地域の情報収集をしておくため、防衛省設置法に基づく「調査・研究」目的で派遣される。

これについて野党だけでなく自民党内でも、新法を作り、国会審議を経るべきだという議論はあったが、米国もイランもこれ以上事態がエスカレートすることを望んでおらず、直ちに「海上警備行動」を発令しなければならない状態にはない。現時点では「調査・研究」目的の派遣が妥当だ。

今回、ホルムズ海峡が活動範囲から外れたが、これは他国の領海が多いためだ。自衛隊といっても、外国からは軍隊と見なされるので、領海を通るに当たって無害通航権を適用してもらえるか分からない。領海内の安全航行についてはその国が責任を持つから、あえて日本が入っていく必要はないだろう。

現場の判断に委ねてもいいのでは

自衛隊が情報収集する中で、万一日本船籍のタンカーなどが攻撃を受けた場合、海上警備行動が発令されることになる。防衛省や官邸に判断を尋ねる余裕があればいいのだが、必ずしもそうとは限らない。ある程度艦長や司令官といった現場の判断に委ねることも必要になるのではないかと。ただし、最終…残り597文字(全文1397文字)

維新、参院憲法審の開催要求 会長不信任も示唆

産経新聞 2020.2.20 21:47

日本維新の会は20日、参院憲法審査会が2年間、実質議論を実施していないのは問題だとして、林芳正会長(自民党)に開催要求を文書で申し入れた。自民、公明両党の憲法審幹事にも手渡し、2月中に開かなければ会長不信任動議を提出する方針を示唆した。維新の松沢成文氏と与党幹事は今後の対応を協議。来週にも野党の筆頭幹事と話し合うことを確認した。

参院憲法審は平成30年2月以来、議論を行っていない。申し入れは「このままでは国民の負託に応えないばかりか、参院の存在意義すら問われる」と指摘した。

林氏は記者団に「2年間開かれていないのは残念。与野党合意の上で憲法審を開くのが会長の役割だ」と述べた。

日米同盟「世界で大きな役割」 安倍首相

時事通信 2020年02月18日 19時54分



米議会「日本研究グループ」訪日議員団の表敬を受け、記念撮影する安倍晋三首相(中央)＝18日午後、首相官邸

安倍晋三首相は18日、来日中の米議会「日本研究グループ」のダイアナ・デグット下院議員(民主党)らと首相官邸で面会した。首相は、日米安全保障条約の改定から今年で60年となることに

触れ、「日米同盟は世界の中で大きな役割を担う希望の同盟となっている」と強調。デゲット氏は「米国は常に日本と共にある」と応じた。

デゲット氏はまた、新型コロナウイルスの集団感染が発生したクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」からの米国人退避をめぐり、日本政府の支援に謝意を伝えた。

首相、日米同盟の意義強調「世界で大きな役割担う」

産経新聞 2020.2.18 21:05

安倍晋三首相は18日、米議会「日本研究グループ」のデゲット下院議員らと官邸で面会し、今年1月に署名60年を迎えた現行の日米安全保障条約の意義を強調した。「日米同盟は世界の中で大きな役割を担う希望の同盟だ」と述べた。同盟強化に向けて協力も求めた。

デゲット氏は「米国は常に日本とともにある」と強調。新型コロナウイルスの感染が広がるクルーズ船「ダイヤモンド・プリンセス」からの米国人乗客の退避について、日本側に謝意を伝えた。

日米共同防災訓練始まる 南海トラフ地震を想定

NNN2020年2月21日 金曜 午後9:54



南海トラフ地震を想定した日米共同の防災訓練「トモダチ・レスキュー・エクササイズ」が、21日から始まった。

「トモダチ・レスキュー・エクササイズ(TREX)」は、南海トラフ地震で西日本の広い範囲に被害が出た想定で、航空機による支援物資の輸送や護衛艦「いずも」を拠点にした捜索・救難訓練が予定されている。

21日は、東京のアメリカ軍横田基地で、西日本に向けて空輸する陸上自衛隊の支援物資をアメリカ空軍の輸送機に積み込むための作業が行われた。

訓練は23日まで、自衛隊およそ2,600人とアメリカ軍およそ30人、さらにオーストラリア軍も参加して行われる。

しんぶん赤旗 2020年2月23日(日)

海洋発射核 7～10年内配備 米国防総省 22年度予算に計上へ

【ワシントン＝池田晋】米国防総省高官は21日、トランプ政権が2018年2月公表の「核態勢の見直し」(NPR)で打ち出していた新たな海洋発射核巡航ミサイル(SLCM)の開発について、2022会計年度(21年10月～22年9月)予算に費用を盛り込む考えを表明し、配備までに「7～10年を要する」との見通しを示しました。SLCMは日本に寄港する米攻撃型原潜に搭載可能。日本への新たな核持ち込みの危険が高まります。

トランプ政権のNPRは、核軍縮を進めるとしたオバマ前政権の方針を転換し、低爆発力の核弾頭や新型核SLCMの開発によって、核戦力の強化・近代化を進める方針を示していました。

国防総省は今日4日、低爆発力の新たな小型核弾頭W76-2

を潜水艦に実戦配備したことを公表したばかり。この日の同高官の表明は、NPRで打ち出したもう一つの重点であるSLCMの実現にトランプ政権が踏み出すことを示したものです。

米軍事専門紙「ディフェンス・ニュース」(電子版)によると同高官は、新型SLCM調達に向け省内で調査が進行中だと説明。「22会計年度の予算には開発に向けた予算が盛り込まれるものと期待している」と述べました。

解説 核持ち込み再開の危険 核兵器禁止、密約廃棄は急務

1面報道のように、米国防総省高官は今後7～10年以内に、潜水艦や水上艦にSLCM(海上発射型核巡航ミサイル)を配備する考えを示しました。トランプ政権による核戦力大増強の一環で、「核兵器のない世界」を目指す世界の流れに対する重大な逆流です。さらに、日本への核持ち込みが再開される危険が現実のものになりつつあります。

日米両政府は1960年の日米安保条約改定に伴い、核兵器を搭載した米艦船・航空機の寄港・通過を容認する核密約を締結。以来、日本への核持ち込みが常態化してきました。

90年代に入り、米政府は核戦略を転換。水上艦や戦略原潜を除く原子力潜水艦から核兵器を撤去しました。さらに、「核兵器のない世界」を標榜していたオバマ前政権は、海上発射型の核巡航ミサイル・トマホーク(TLAM-N)を退役させました。トランプ政権が配備を狙っているのは、核トマホークの後継にあたります。

重大なのは、2010年、民主党政権が日米核密約の存在を公に認めたものの、今日にいたるまで廃棄されていないことです。しかも、オバマ政権がトマホーク退役を決定した09年当時、世界で唯一の戦争被爆国でありながら、当時の自公政権がこれに異議を唱え、米国の「核の傘」に固執していたことが明らかになっています。

仮にSLCMを配備した場合、日本への寄港を繰り返している攻撃型原潜への搭載が想定されます。日本への核持ち込みの危険が再び迫っている下で、核密約の廃棄は急務です。同時に、核兵器禁止条約に署名する政府をつくり、「核の傘」からの脱却と、核兵器廃絶の流れをリードする政府をつくることが求められます。(竹下岳)

日系人強制収容を公式謝罪 米加州議会「過ち繰り返さぬ」

日経新聞 2020/2/21 6:27

【ラスベガス＝共同】米西部カリフォルニア州議会下院本会議は20日、第2次大戦中の強制収容など不当な扱いにより日系人の公民権と自由を守れなかったことを謝罪する決議案を可決した。1942年にルーズベルト大統領が署名した「大統領令 9066号」を根拠に、同州など西海岸中心に日系人約12万人が住み慣れた家から追い立てられ、砂漠や荒地などの強制収容所に入れられた。



第2次大戦中のカリフォルニア州の日系人強制収容所(1942年7月)＝ロイター
強制収容を巡っては88年にレーガン大統領が「市民の自由法

(強制収容補償法)」に署名し、米政府が過ちを認め謝罪した。9066 号署名から 78 年を迎える中、カリフォルニア州議会として公式の謝罪となった。

決議提案の中心となったアル・ムラツチ議員(民主党)は 20 日、トランプ政権による米国第一主義や不寛容な移民政策を念頭に「中南米からの移民の子どもが施設に入れられ、イスラム教徒が入国禁止の標的にされている。同じ歴史を繰り返さぬよう教訓から学ぶべきだ」と訴えた。

決議可決後、議場にいた当時、強制収容された日系人や家族らに、議員らから拍手が送られた。

米軍作戦費の負担、応じない方針 政府検討、巨額要求想定 の駐留費

2020/2/21 18:35 (JST)2/21 18:47 (JST)updated 共同通信社

政府は夏にも本格化する在日米軍駐留経費交渉に向け、米側の巨額要求を想定した対処方針の検討に着手した。米軍施設費を負う現行水準でも他国より多く負担している実情を強調。米軍戦略爆撃機の運用費など日本防衛の作戦費負担を求められた場合、日米特別協定の対象外として応じない方向だ。妥協案として日米共同演習費の負担を増やす別合意を交わす案も浮上している。複数の政府関係者が 21 日、明らかにした。

トランプ米大統領は韓国や欧州に防衛費の負担増を迫り、日米安全保障条約への不満も公言する。巨額要求が現実となれば、同盟の岐路となりそうだ。

地元無視、夜間に異例の米軍射撃訓練 67 発 知事抗議へ

朝日新聞デジタル前田朱莉亜 寿柳聡 2020 年 2 月 22 日 9 時 44 分



広瀬律子・九州防衛局長に、午後 8 時以降の射撃訓練などに抗議する尾野副知事=21 日午前 9 時 36 分、福岡市博多区、前田朱莉亜撮影

陸上自衛隊日出生台演習場(大分県由布市など)で 12 日から実施されていた在沖繩米海兵隊の実弾射撃訓練が 21 日、終了した。地元からの午後 8 時以降の射撃自粛要請は再三無視され、事前に伝えられていた日数を上回る射撃訓練も行われた。異例の事態に、広瀬勝貞知事は河野太郎防衛相に抗議する方針を固めた。

県によると、午後 8 時以降の射撃は 14 日と 16 日～19 日にあり、総射撃数は 67 発にのぼった。県は連日、米軍との調整役である九州防衛局に抗議したが、夜間射撃は続いた。さらに、事前に伝えられた 8 日間の射撃訓練が終了した翌日の 20 日も、小火器射撃訓練が実施された。

同演習場での実弾射撃訓練をめぐる県は 2007 年、砲撃と小火器射撃を同時に行わないことや、小火器射撃は専用射撃場を使用することなどを定めた確認書を同局と締結。「訓練日数が増

えることはない」と判断し、小火器訓練の受け入れを決めた経緯がある。

尾野賢治副知事は 21 日、同局を訪れ、「国の責任において今回の事態に至った経緯を調査報告いただき、二度とこうしたことのないよう対処いただきたい」などとする要請文を、広瀬律子局長に手渡した。広瀬局長は「公表していた日数を超えて訓練を実施したことについては申し訳ない」と謝罪した。

また、今回の訓練では、日米が…
残り:714 文字/全文:1249 文字

しんぶん赤旗 2020 年 2 月 20 日(木)

米軍機訓練 全面中止を 党沖縄県委 部品落下 防衛局に抗議



(写真) 申し入れ書を沖縄防衛局の山田管理部次長に手渡す(左から)しまぶく、たまき、セナガの各氏ら=19日、沖縄県嘉手納町

米軍嘉手納基地(沖縄県嘉手納町など)で訓練中の米海軍FA 18戦闘攻撃機の部品が落下した事故(12日)を受け、日本共産党沖縄県委員会は19日、沖縄防衛局(嘉手納町)で抗議し、米軍機の訓練の全面中止などを要請しました。

事故機は米軍岩国基地(山口県岩国市)配備のもので、米軍の全外来機の飛来禁止も要求しました。

セナガ美佐雄党県議が、昼夜を問わず米軍機が上空を飛び回る現状を非難。応じた同防衛局の山田力・管理部次長は「(米軍機の訓練は)日米安保条約の目的達成のため」「安全確保はもとより、住民の方々の生活への最大限の配慮が大前提」と、従来の説明を繰り返すだけでした。

セナガ氏は、再発防止を米軍に申し入れるだけでは事故は減らないと反論。しまぶく恵祐党県議予定候補は「あつてはならないことが起こってしまっている。米軍に強く抗議を」と迫りました。要請には、たまき武光党県議も参加しました。

提出した申し入れ文書では、▽事故原因の徹底究明と調査結果の速やかな公表▽事件・事故発生時の通報手順の順守を米軍に徹底させること▽日米地位協定の抜本的改定一なども求めています。

しんぶん赤旗 2020 年 2 月 21 日(金)

陸自基地工事中止を 沖縄・石垣 市民連絡会が要請



(写真) 工事中止などを求める要請書を手渡す(左から)金城、嶺井の両共同代表ら=20日、沖縄県石垣市

沖縄県石垣市の陸上自衛隊ミサイル基地建設に反対する「石

深さ70m超の地盤強度 防衛省が判断した辺野古の	B27地点 換算値	コーン貫入試験 から求めたN値	軟弱
	B27地点 実測値	採取した試料から 簡易な強度試験	軟弱
	B27地点 換算値	コーン貫入試験 から求めた非排水 せん断強さ	軟弱
	顕推値	別地点の試料の 室内試験結果 から顕推	非常に 固い

沖縄県名護市辺野古(へのこ)の米軍新基地建設を巡り、海面下七十メートルより深い地点に軟弱地盤があることを示すデータが見つかった問題で、防衛省が実施した別の試験でも「軟弱」をうかがわせるデータが検出されたことが分かった。「七十メートルより深い地盤は非常に固い」とする防衛省の想定に反するデータが明らかになるのは今回で三度目。建設に不利なデータを排除して工事を強引に進める防衛省の姿勢がいつそう鮮明になった。(中沢誠)

防衛省は新たに判明したデータについて「地層構成を確認する参考にした」とし設計に反映していない。

新たな「軟弱」データは粘土層が海面下九十メートルまで達している「B27」地点の試験結果から算出された。円すい形の機器を地中に突き刺し、土の抵抗力を測る「コーン貫入試験」によるもので、国の基準でも「データの信頼度が高い」とされている。土の抵抗力から「非排水せん断強さ」という強度を算出できる。

コーン貫入試験は、受注業者が二〇一七年にB27地点を含め、埋め立て予定地の十五カ所で実施。そのデータによると、B27地点では、学会が定める六段階の強度区分のうち、深さ七十～八十メートルの地盤は二番目や三番目に軟らかい値を推移。防衛省が想定した「非常に固い」の基準値に届くのは九十メートル近くになってからだった。

だが、防衛省はこのデータを設計に反映せず、有識者から工事の助言を得る技術検討会にも報告していなかった。防衛省は、B27地点から百五十～七百五十メートル離れた三地点で採取した試料の室内試験データから、海面七十メートル以深は「非常に固い」と結論づけていた。

防衛省整備計画局は別地点のデータを採用した理由を「一般的にコーン貫入試験から求めた『非排水せん断強さ』を設計に使うことはあるが、我々は採取した試料を用いた室内試験から設計に使う強度を確認した」と説明する。

防衛省はこれまで「B27地点で強度試験はやっていない」と説明してきたが、今月になってB27地点で強度試験をした実測データの存在が判明。防衛省は「簡易的な試験」との理由で設計に反映していない。

B27地点ではこれら二つのデータの他、別の試験でも「軟弱」なデータが検出されていたが、防衛省はこれも採用していない。



垣島に軍事基地をつくらせない市民連絡会」は20日、市内の環境省石垣自然保護官事務所を訪ね、同基地建設の工事が特別天然記念物のカンムリワシの生息を脅かしているとして、工事中止を防衛省に求めるなどの対策を講じるよう要請しました。

防衛省が工事を強行する平得大俣(ひらえおおまた)地域は、カンムリワシの生息域。昨年4月にはカンムリワシの営巣木が確認され、工事が1カ月間だけ中断しました。

同市民連絡会の要請書は、今年もカンムリワシの繁殖期を迎えて大変懸念される状況だと強調し、環境省の現況調査の実施、繁殖期にあたる3～10月の工事中止などを求めています。

要請書を受け取った同事務所職員は、石垣島全体のカンムリワシの生息環境が悪化していることや保全の難しさを認めました。

市民連絡会の嶺井善共同代表は工事の騒音が響き渡り、カンムリワシを目にすることが例年より少なくなっていることを説明。金城哲浩共同代表は「自衛隊配備に賛成・反対関係なく、環境を守るために言うべきことは言うべきではないか」と訴えました。

しんぶん赤旗 2020年2月19日(水)

米空母艦載機訓練の移転候補地 馬毛島に辺野古予算 買収前に設計を委託 衆院予算委 田村貴昭議員が追及



(写真) 質問する田村貴昭議員＝18日、衆院予算委

米空母艦載機離着陸訓練(FCLP)の移転候補地とされている馬毛島(鹿児島県西之表市)をめぐる、政府が土地の売買契約締結前の2018年度に、地元で隠して約35億円の基本設計を委託していたことが明らかになりました。日本共産党の田村貴昭議員が18日の衆院予算委員会で指摘し、防衛省が認めました。

政府は19年11月、馬毛島の地権者の「タストーン・エアポート社」(東京都)から約160億円で土地を買収することで合意しました。

田村氏は、馬毛島の土地買収費用が19、20年度予算に計上されていないと指摘。河野太郎防衛相は「予算の流用により必要な財源を手当てした」と答弁し、買収費用を19年度予算の辺野古新基地建設事業費から支出したとしました。

田村氏は、政府が馬毛島買収について自衛隊施設整備のためと説明していると指摘。「自衛隊基地を造るのになぜ米軍関連経費を使えるのか」と批判し、18年度にも馬毛島のために流用が行われていたと追及しました。

防衛省の中村吉利地方協力局長は、馬毛島に関する設計と各種調査のため、18年度に約34億6700万円を辺野古新基地事業費から流用していたことを明らかにしました。

基本設計は、27・9億円と7・2億円の2件の契約で、昨年3月に業者に委託済みでした。売買契約締結前に設計を始めていたことについて、地元自治体には説明がありませんでした。

田村氏は「地元自治体は何の説明もなく驚いていた。これがまかりとおるならば、国会審議も議決も経ずに流用で何でもできることになる。こうした財政支出は断じて認められない」と批判しました。

辺野古「軟弱」 検出3度 防衛省、採用せず 70メートル超地盤

◆不利な数値 すべて一蹴

政府が埋め立てを続ける沖縄・辺野古(へのこ)の米軍新基地建設で、またしても海底地盤が「軟弱」とするデータが見つかった。最も深い地点で防衛省が実施した三つの試験は、いずれも同省が想定する強度に反していたことになる。防衛省が設計に使ったのは別地点のデータで、建設推進の障害となる不利なデータは、すべて一蹴されていた。

「数値に意味はない」。海底の粘土層が最も深い辺野古沖のB27地点。今回明らかになった「軟弱」データについて、防衛省の担当者はそう言い切った。

埋め立て予定地に軟弱地盤が広がっていることが明らかになった当初、粘土層の底までが軟弱とみられていた。追加調査で粘土層が海面下九十メートルの深さまで達していることが分ると、防衛省は「軟弱層は七十メートルまで。さらに深い地盤は非常に固い」という判断を持ち出してきた。

根拠としたのは、最深部のB27地点から最長七百五十メートルも離れた三地点の強度データだった。これに対し受注業者がB27地点の試験から導いた三種類の強度データは、いずれも「軟弱」を示していた。

最初に発覚した軟弱データは、強度を判断する指標として国内で最もよく使われる「N値」。結果は深さ九十メートル付近の地盤でも、防衛省が想定した「非常に固い」とする基準値を大きく下回っていた。

昨年三月、本紙報道でN値の軟弱データが明るみに出ると、防衛省は「粘土層でのN値は信頼性が低い」と主張。「B27地点では強度試験をやっていない」として、別地点のデータを採用したと説明した。

ところが、今月になって防衛省の説明が虚偽だったと判明する。実際はB27地点でも試料を採取して強度を実測。専門家が「最悪の場合、護岸が崩壊する恐れがある」と指摘するほど、軟弱を示していた。

今回発覚した三番目の軟弱データは、当初の調査で軟弱地盤の可能性が指摘されたことを受け、防衛省が追加発注した「コーン貫入試験」で検出された。土の抵抗値から強度を算出できるコーン貫入試験は、国土交通省の基準に「信頼性の高い力学特性を知ることができる」と記されている。信頼性が高いはずのデータだが、防衛省は設計に使わなかった。(中沢誠)



◆設計に用いる強度

<地盤工学に詳しい鎌尾彰司・日本大准教授の話> コーン貫入試験の主な目的は、地盤の強さの把握。軟弱な地盤での計測に適しており、土の抵抗値から計算した「非排水せん断強さ」とい

う土の強度を示す値は、設計にも用いられている。設計の判断から除外する理由はない。

海外派遣自衛官の過失処罰も 河野防衛相が検討指示

時事通信 2020年02月21日 18時21分

河野太郎防衛相は21日の記者会見で、自衛官が海外派遣された際、現地での公務中の過失罪に対して刑法上の処罰規定がない問題について、対応の検討を指示したと明らかにした。自衛隊の海外での活動が増えており、河野氏は「現状のままでいいのか」という問題提起がある」と説明。自衛隊法や刑法の改正が必要となる可能性があり、河野氏は法務省とも協議する考えだ。

自衛官が海外で罪を犯した場合、派遣先との地位協定などに基づき、日本の刑法の国外犯規定で裁かれる。ただ、公務中の過失罪は国外犯規定がない。仮に自衛官が公務中に事故を起こし、負傷者が出るなどしても、刑事罰ではなく防衛省の懲戒処分しか適用されない。

海外駐留自衛官「法の空白」解消を検討 過失犯規定なし 河野防衛相

毎日新聞 2020年2月21日 19時39分(最終更新 2月21日 19時40分)



衆院安全保障委員会で海上自衛隊の

中東派遣について野党議員の質問に答える河野太郎防衛相(右)。左は茂木敏充外相＝国会内で2020年1月17日午前10時51分、川田雅浩撮影

河野太郎防衛相は21日の記者会見で、海外に派遣した自衛隊員が公務中に交通事故などを起こした際に、過失犯の処罰規定がないため刑事罰の対象とならない「法の空白」が生じている問題について、「このままでいいのか検討する準備を始める」と述べた。

自衛隊は近年、他国との共同訓練や能力構築支援、災害時の緊急援助など、海外での活動が増えている。多くの場合は、相手国の了解を得て、公務中は日本が裁判権を管轄し、公務外であれば相手国の管轄としている。海賊対処部隊が拠点とするアフリカ東部ジブチとの地位協定では、公務中か否かを問わず日本の管轄としている。

ただ、日本の刑法には、国外での殺人や窃盗などの故意犯を処罰できる国外犯規定があるが、業務上過失致死など過失犯に関する規定はない。

「法の空白」を解消するには、自衛隊法を改正して処罰対象となる罪を加える方法などがあるが、法務省や外務省など関係省庁との調整が必要だ。一方、自衛隊内には「社会の状況が異なる外国で刑事罰の対象が広がり過ぎると、訓練や活動が萎縮するのでは」との懸念もある。【田辺佑介】

しんぶん赤旗 2020年2月22日(土)

中東派兵の撤回必ず 法律家・総がかり実行委が集会



(写真) 報告を聞く集会参加者＝20

日、東京都内

安倍晋三政権が強行した自衛隊の中東沖派兵の中止と閣議決定の撤回を求める集会が20日夜、東京都内で開かれました。改憲問題対策法律家6団体連絡会、総がかり行動実行委員会が共催しました。

東京新聞論説兼編集委員の半田滋氏、東海大学教授の永山茂樹氏が報告しました。

半田氏は、自衛隊の活動海域が米国主導の「有志連合」の活動海域を補完する形となっていること、高級幹部の配置も異例の態勢となっていることを紹介。安保法制により米軍をはじめ他国軍への支援を含めた訓練が自衛隊法の「教育・訓練」を拡大解釈する形で行われており、「今回の中東派遣もその延長線上」だと強調しました。自衛隊の派兵は中東におけるアメリカの新たな戦争への準備だと告発しました。

永山氏は、安倍政権が防衛省設置法を根拠としているのは「設置法の拡張・類推解釈だ」と批判するとともに、国会への報告や事実隠蔽(いんべい)の問題も指摘。派遣された自衛隊に攻撃があったとき、改憲派が9条改悪に悪用する危険があると述べ、改憲阻止の運動をさらに前進させる必要性を訴えました。

日本共産党の赤嶺政賢衆院議員、社民党の福島瑞穂参院議員が連帯あいさつ。共産党の山添拓参院議員が紹介されました。

WEB 特集 ソーリは何しに中東へ？

NHK2020年2月20日12時41分



その日、安倍総理大臣の姿は中東にあった。

アメリカによるイラン司令官殺害、イランのミサイル攻撃、ウクライナ機撃墜と、混迷の度を深める中、周囲の慎重意見を押し切る形での中東訪問。なぜ、あのタイミングで行くことを決断したのか。

そして、得られた成果は何だったのか？

(政治部記者 花岡伸行)

ビーチと黒服

陽光に包まれた1月。

オマーンの首都・マスカットは暖かく、ビーチには半袖の観光客の姿も見える。



取材の合間にホテルの外に出ると、鮮やかな緑の芝生の先に、

長く続くビーチと青々としたオマーン湾が広がっていた。ぼんやりその風景を見ていると、ホテルから、ビーチに似つかわしくない黒ずくめの集団がやってきた。



SPに囲まれた安倍総理大臣一行だ。気付いた人たちがスマホで撮影する。

安倍総理大臣は革靴のまま、ビーチに出て長い間歩いた。



オマーン湾を直接その目で見ておかねば、と思ったのか、それとも、ただの気分転換だったのか。確かなのは、もうすぐ、あの海に自衛隊の護衛艦がやってくるということだ。

暗殺 ミサイル 高まる緊張

今回の同行取材の準備を進めていた年明けすぐ、衝撃的なニュースが飛び込んできた。

「アメリカがイラン革命防衛隊司令官を殺害」

すぐさま、イランが報復を宣言したというニュースを聞いて、大きな不安に襲われた。

1月8日の朝、イランがイラクの米軍駐留基地をミサイル攻撃したというニュースが世界を駆け巡った。



「また、中止になるかもしれない」そんな思いがよぎった。「また」というのは12月のインド訪問が、現地の治安悪化を理由に直前に延期されていたからだ。

訪問は延期！？

しばらくして、他社が「中東訪問延期」の1報を打ったと連絡が入る。この物騒なタイミングだけに少なからずホッとした自分を戒めつつ、取材にあたった。



しかし、取材先の反応は「延期を決定したなどとは聞いていない」というものだった。

後日分かったのは、事務方の一部から、安全の確保に不安があると慎重な声があがっていたが、安倍総理の考えは変わっていないということだった。

一方、トランプ大統領はイランによるミサイル攻撃の前、ツイッターで武力行使をちらつかせ、一触即発の事態も起こりうる状況と言

えた。

攻撃から数時間後、イランでウクライナの旅客機が墜落したというニュースが入ってきた。イランは技術的なトラブルと主張していたが、あまりに奇妙なタイミングだ。

「アメリカは軍事力を行使したくない」

翌9日のトランプ大統領の演説は意外に抑制的なものだった。



さらに翌日の10日、総理の中東歴訪が正式に発表された。

なぜ中東歴訪に強いこだわりを見せたのか？

この日の取材メモを見返すと、ある政府高官は2つの理由を挙げている。

「安全上のリスクがあることは確か。ただ、原油の9割を中東に依存している日本には、この地域の海上交通は生命線。危機の直後だからこそ、現地に対話と呼びかける意義もインパクトも大きい」
「自衛隊派遣は、イランにはロウハニ大統領の来日時に丁寧に説明している。対立するサウジとUAEにも派遣前に説明をして、バランスを取る必要がある」

去年6月、総理がイランを日本の総理大臣として41年ぶりに訪問していたさなかに、日本の海運会社が運航するタンカーが攻撃を受けたのは記憶に新しい。



しかし、自衛隊の中東地域での活動が哨戒機は1月下旬から、護衛艦は2月下旬からに迫っていた。やはり石油の安定供給確保と自衛隊派遣が、中東訪問の決断を後押ししたのだろうか。

「回り道」して中東へ

そんな中、発表された日程表を見て、「あれ？」と思った。

事前取材では、出発時間は昼ごろだったはずだが、午前9時半に早まっている。一方、到着時間には変わりはない。

ほどなく、取材先の1人が種明かしをしてくれた。

「回り道だよ。万一のことを考えてペルシャ湾付近を迂回していくから、出発が早まったんだ」

リスクがあることを政府も認識しているということか。

出発当日の1月11日。

政府専用機に乗り込んだ直後にドバイ支局にいる同期から衝撃的な連絡が入った。



「オマーン国王が亡くなった」

オマーンは最後の訪問国。

病気の国王との会談は予定されていなかったが、国王が死去したとなれば国の一大事。そんなタイミングで行っても要人と会談できるのか…。

不安をよそに、専用機は羽田空港を離陸した。



去年から運用が始まった新しい政府専用機は、機内でWi-Fiが使える。離陸後、ニュース速報が入った。

「イラン軍 ウクライナ機の撃墜認める」

やはり、そうだったか。

しかし、飛行機に乗って早々、こんな大ニュースが立て続けに飛び込んでくるとは、この外国出張が一筋縄ではいかないことを暗示しているのかもしれない。

飛行中の安全を祈りながら眠りについた。

ヤマ場は“あの有名人”との会談

政府専用機は何事もなく飛行を続け、薄い黄土色をした中東の大地が目飛び込んできた。

日本時間午後11時半すぎ、専用機はサウジアラビアの首都リヤドのキング・ハーリド国際空港に着陸した。



まずは無事に中東の地を踏めたことに安堵する。

翌12日、総理はサルマン国王との首脳会談に臨んだ。



しかし、国王は84歳の高齢。34歳にして、内政と外交を取りしきるムハンマド皇太子との会談こそが、中東歴訪最大の山場だった。皇太子は、脱石油依存政策を急速に進める改革者の一方、ジャーナリスト殺害事件への関与が取り沙汰されるなど、毀誉褒貶(きよほうへん)の激しい人物だ。イランの最高指導者、ハメネイ師を新たなヒトラーと呼ぶなど、イランへの強硬姿勢で知られる。



地域の大国サウジアラビアの湾岸諸国への影響力は大きく、会談で皇太子から、緊張緩和につながる言葉を引き出せるかが、最大の焦点だった。

皇太子との会談は、北西部のウラで行われた。奇岩に囲まれた砂漠地帯で、幻想的な雰囲気が漂う。



この地に招かれた外国の首脳は安倍総理大臣が初めてで、しかも、わざわざ皇太子の別荘の近くに伝統的なテントを設営するという熱の入れようだ。



リヤドから飛行機で2時間ほどかけて移動し、現地時間午後8時半からスタートした会談は、1時間にわたった。

“どてら”のサプライズ

会談が終わり、同席した岡田官房副長官が、ブリーフィングを行った。

総理がイランを念頭に自制的な対応を要望すると、皇太子は、「この地域の緊張は世界に悪影響を及ぼすもので、当事国間の対話が必要不可欠だ。サウジアラビアも取り組みを強めていく」と応じたという。



イランに強硬姿勢一辺倒だったあの皇太子から、「対話」という言葉を引き出せたという。自衛隊派遣についても「完全に支持する」との満額回答だったとか。岡田氏は「絨毯に腰を下ろして語り合う2人は、本当に打ち解けて親密な様子でした」と興奮気味に語った。

記者団からは総理が着ていた民族衣装について質問が出た。

「日本でいう、“どてら”のような感じのものでしょうね」

どてら？



確かにどてらだ。

「ファルワ」と呼ばれるこの民族衣装は、皇太子からのサプライズ・プレゼントだという。会談場所や民族衣装といい、親密さを強調する演出はメディアの目を強く意識してのことか。

笑いすぎはダメ？

翌日、総理はサウジアラビア初の世界遺産を見学した。

サウジアラビアでは、これまでビジネスなどを除き外国人の入国が厳しく制限されていたが、皇太子の脱石油依存政策の一環で、外国人向け観光ビザが去年9月から解禁された。



その観光の目玉にしようとしているのが、この「マダイン・サーレハ」だ。

見学後、総理はテレビカメラの前で見学の感想と昨夜の会談について短く話した。



歴訪中、取材に応じたのはこの1回。現地での露出を減らしたのは、イランへのせめてもの配慮だろうか。

そして、次の訪問国、UAE＝アラブ首長国連邦に向かう。

首都アブダビは、派手な高層ビルが林立し、さながら近未来都市のようだ。



UAEは、サウジアラビアと同様、イランと対立関係にあり、アメリカ主導の有志連合にも参加している。

アメリカから攻撃を受ければ、イランはUAEのドバイへの攻撃を検討するという報道もあり、この時期、緊張がにわかに高まっていた。会談相手は、こちらもイランへの強硬姿勢で鳴らすムハンマド・アブダビ皇太子。



しかし、ここでも、サウジアラビアと同じことが起きた。

皇太子は「関係国と歩調を合わせて、外交努力を尽くしていく」と、抑制的な反応を見せた。自衛隊の派遣には「具体的な協力と支援を惜しまない」と、歓迎の意向を示した。

サウジアラビアといい、これまでとは違うイランへの融和的とも言える態度はどういうことだろうか。



ともあれ、UAEの日程が終わり、人心地ついたころ、合流したドバイ支局の同期が思いがけないことを言った。

「きのうサウジの皇太子と会った時、安倍総理は民族衣装を着て、満面の笑みだったでしょ？イランの時は、少し表情硬かったよね」



「日本はサウジ側についてとイランは思うかもしれないなあ」

言われた当初は、そこまでの話かな、と感じた。

しかし、これが「徴用」や、輸出管理で関係悪化が続く日本と韓国に置き換えたらかどうかと考え直した。

「テントに民族衣装とか、いかにも皇太子らしいよ。そういう小技で自分のペースに巻き込むんだよ」

そんな話を聞いて、わざわざリヤドから2時間かけて月夜の砂漠で会談した皇太子の狙いが、今更ながら分かった気がした。

会談予定なかった新国王

歴訪最後の訪問国オマーン。

国王死去という大事件が起きていたことはすでに触れた。当初、オマーンではアスアド国王特別代理らとの会談は予定されていたが、新国王に就いたのは、会談予定になかったハイサム遺産文化相。調整が難航しているのか、新たな会談予定はなかなか発表されず、確定したのは前日だった。

14日、UAEからオマーンに移動。首都マスカットの町並みは住宅の白壁が青い空に映え、美しい。



到着早々、総理は宮殿で、ハイサム新国王への弔問と懇談を9分間行った。



短時間ではあったが、ひとまず新国王と会えないという事態は回避された。

続いてアスアド国王特別代理との会談も行われた。



オマーンはこの地域にあって中立的な立場を守り、イランとも良好な関係を維持している。そのため、主な議題は自衛隊の補給のための港についてだったが、オマーン側から「協力したい」という言質を得て、中東歴訪の一連の日程は終了した。

得られた成果は？

今回の中東歴訪では、イランへの強硬姿勢を崩してこなかったサウジアラビアとUAEから、対話に前向きな反応を引き出した。そして自衛隊派遣の地ならしでは、サウジアラビアは「完全な支持」を、UAEは「具体的な協力と支援」を、オマーンは「評価と協力」を表明した。これらは確かに成果だ。

しかし、なぜサウジアラビアとUAEは、イランへの態度を軟化させたのか。

帰国後、歴訪に同行した関係者はこう解説した。

「サウジアラビアの皇太子はトランプ大統領と近く、大統領がイランに自制的な対応をしたのを見て、今は同じように対応した方が得だと計算したはずだ。そこに総理の訪問があったので、発信したのでは」



そして、訪問順も重要だったと言う。

「オマーンは、国王が亡くなって3日目の喪の最終日に行ったから、新国王とも会うことが出来た。訪問順が逆だったら、オマーンは国王が亡くなった直後で、誰も会えなかったかもしれない。UAEもサウジがイランに何を言うか分からない状況では、軟化しなかったかもしれない。針に糸を通すようなタイミングだった」

ただ、依然として懸念は残る。

自衛隊が収集した情報は、米軍などとも共有される。平時なら問題はないかもしれない。しかし再びアメリカや湾岸諸国とイランとの緊張が高まり、不測の事態が起きた時、イランは今と同じように自衛隊の活動を許容するだろうか。



一方のアメリカからは、自衛隊がより大きな役割を果たすよう要求されはしないか。

そう考えると、針に糸を通すような局面は、これからやってくるのかもしれない。



政治部記者 花岡 伸行

2006年入局。秋田局を経て11年に政治部。その後、函館局を経て再び政治部に。19年から官邸クラブで安全保障などを担当。

内閣支持率じわり低下、危機感募る政府・与党

読売新聞 2020/02/17 23:56

安倍内閣の支持率がじわりと低下し、政府・与党が危機感を募らせている。国内での新型コロナウイルスの感染拡大への対応や、首相の国会発言などが要因とみられている。野党は追及姿勢を強めている。

「我々はさらに緊張感を持って対応していきたい。努力することで(下落を)挽回することが出来る」

自民党の二階幹事長は17日の記者会見でこう述べ、政府・与党が連携して、直面する多くの課題に取り組む必要性を強調した。

読売新聞社が14～16日に実施した全国世論調査によると、安倍内閣の支持率は47%で、1月の前回調査(52%)から5ポイント下がった。新型コロナウイルスを巡る政府の対応を「評価しない」との回答も52%に上った。

政府は、診療や相談体制を拡充する方針を打ち出し、首相が前面に出て対応に当たるなど巻き返りに躍起だ。岸田政調会長は17日の記者会見で「一つ一つの対策をしっかりと行わなければならない」と語った。対応を誤れば政権には打撃となりかねないだけに、自民党内からも「政府は『たいしたことではない』と高をくくっていたのではないか」(中堅)と批判の声も上がる。

首相が国会で野党に対し挑発的な発言を繰り返したことも支持率低下の原因とみられている。菅官房長官は17日の記者会見で、「結果を謙虚に受け止めて、今後も国民の皆さんの声にしっかりと耳を傾けながら取り組んでいきたい」と述べた。

一方、立憲民主党の福山幹事長は同日、国会内で記者団に「桜を見る会(問題)のみならず、他の不祥事案件も含めて説明責任を全く果たさない態度に対し、国民があきれ、怒り出したということだ」と述べた。

さらに揺らいだ首相答弁の信頼性 野党「作り話では」

朝日新聞デジタル三輪さち子 2020年2月18日 21時44分



衆院予算委で、立憲民主党の辻元清美氏の質問に答弁する安倍晋三首相=2020年2月17日午前11時21分、岩下毅撮影

「桜を見る会」前日の夕食会をめぐる安倍晋三首相の国会答弁の信頼性が18日、さらに揺らいだ。答弁が会場のホテルに否定されており、自民党議員による首相事務所への聞き取り調査でも、問題となった一部の文言が確認できなかった。野党は書面で答えるよう首相に求めるが、政府・与党は応じない方針だ。

野党議員が17日の衆院予算委員会で、2013、14、16年に夕食会が開かれた「ANAインターコンチネンタルホテル東京」に問い合わせた内容をもとに追及。首相はホテルの領収書の「宛名は空欄」とするが、ホテル側は空欄での発行は「ない」、「明細書はホテルから受け取っていない」との答弁もあったが、発行しなかったことは「ない」だったと指摘した。

一方、首相は、自らの事務所がホテル側から聞き取った内容は「(野党議員には)あくまで一般論で答えた。個別の案件については営業の秘密に関わるため、回答には含まれていない」だったと答弁した。

だが、17日夜、ホテル側は朝日新聞の取材に対し、「『個別の案件については営業の秘密にかかわるため、回答に含まれない』と申し上げた事実はございません」と返答。例外があるかのような答弁の正当性が問われる事態となった。

立憲民主党など野党4党は18日、首相側がホテルに照会した結果を書面で回答するよう与党側に要求。与野党は折り合わず、立憲などは午前の同委を欠席した。

自民党は野党の審議復帰に向けた対応として、ホテルに照会を行った首相の事務所に聞き取り調査を実施。午後同委理事会で結果を野党側に伝えた。示されたのは「一般論で答えたものであり、個別の案件については回答に含まれていない」というもの。首相が答弁で触れる一方、ホテルが否定した「営業の秘密にかかわる」とのくだりは存在していなかった。

野党は同委の審議に復帰。「営業の秘密」が含まれていないことから、質疑では「首相の作り話ではないか」と指摘した。この日は首相出席が予定されていなかったため、菅義偉官房長官が「全体として同じことではないか」といった答弁を続けた。

首相官邸で記者団に問いかけられた首相は「すでに国会で答弁した通りだ」と述べるにとどめた。(三輪さち子)

ホテルの書面ないと「首相は負け」 元裁判官が見る答弁

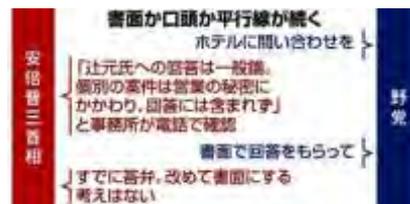
朝日新聞デジタル 2020年2月18日 15時59分



「桜を見る会」夕食会首相答弁とホテル見解の食い違い

「桜を見る会」の前日に開かれた夕食会をめぐる、安倍晋三首相は17日の衆院予算委員会で野党から、会場となったホテルへの照会結果を書面で示すよう求められた。野党がメールで回答されたホテルの見解を書面として突きつける一方、首相は電話で聞いたとする内容を口頭で答えて否定したからだ。首相の答弁姿勢について、元民事裁判官の森野俊彦弁護士が朝日新聞の取材に電話で応じた。

〈元福岡高裁部総括判事の森野弁護士の話〉 ホテル側から辻元清美氏への書面での回答が示された。首相であろうが自民党総裁であろうが、口頭で反論するだけでは、辻元氏の照会の信用性を覆せない。辻元氏とホテル側のやりとりについて、安倍晋三首相が改めてホテル側に書面で回答をもらい反論する必要がある。それが一般的な法の世界での事実認定のルールだ。



首相は(事務所がホテル側から)電話で聞き取ったと答弁し、辻元氏への回答を「あくまで一般論」と退けたが、主張の仕方として不十分だ。裁判で事実認定を争う状況だったら、首相は負ける。

うやむやにしようとする首相の姿勢は、森友・加計(か)学園問題でも同じだった。裁判で勝ち負けを争って、首相が政治的な不利益を被ることもないので、今回も水掛け論に終始させよう、という態度がありありと見える。

ANA ホテル「申し上げた事実はない」 首相答弁を否定

朝日新聞デジタル相原亮 2020年2月17日 23時18分



衆院予算委で、立憲民主党の辻元清美氏の質問に答弁する安倍晋三首相=2020年2月17日午前11時21分、岩下毅撮影

「桜を見る会」の前日に開かれた夕食会をめぐる安倍晋三首相の答弁に関して、「ANA インターコンチネンタルホテル東京」の広報担当者が17日夜、朝日新聞の質問に回答した。野党が示したANAホテルの見解について、首相は同日の衆院予算委員会でホテルへの照会結果として「個別の案件については営業の秘密にかかわるため、回答に含まれない」と答弁し、夕食会が見解の対象外とする見方を示したが、ANA ホテルはこの部分を「申し上げた事実はございません」と否定した。

朝日新聞の取材にメールで答えた。野党が示した「証拠」に対する首相の反論を、当事者であるホテル側が否定したことで、首相答弁の正当性が大きく揺らいだ。

同委では、立憲民主党の辻元清…
残り:326文字/全文:623文字

「ANA ホテルもう使わない」自民恨み節 野党「敬服」

朝日新聞デジタル 2020年2月18日 11時39分



ANA インターコンチネンタルホテル東京

「桜を見る会」前日の夕食会をめぐって安倍晋三首相の国会答弁と会場のホテル側の説明が食い違っている問題で、首相答弁内容の一部を否定した ANA インターコンチネンタルホテル東京（東京・赤坂）の姿勢に対し、与野党幹部らが様々な反応を見せている。野党からホテルの対応を評価する声が出る一方、政府・自民党からは恨み節も漏れる。

野党統一会派の小川淳也氏（無所属）は18日、自らのツイッターに「付度（そんたく）まん延症候群のような日本列島にあって、ANA インターコンチネンタルホテル東京の存在は特別にキラリと光る。真実を毅然（きぜん）といい放つ姿勢に敬服」と投稿。共産党の田村智子政策委員長は「ANA ホテルの矜持（きょうじ）を、官僚も自民党も正面から受け止めてほしい」、同党の宮本徹衆院議員も「誰もが総理を守るために口裏を合わせてくれるわけではないのです」とつぶやいた。

立憲民主党の安住淳国会対策委員長は記者団に対し、「第三者のANAホテルが答えを出してくれた。『総理、あなたが言っているのはどうなんですか』ということに答えないと（国会の）質疑はできない」と語った。多くの野党は首相が書面で回答を寄せないことに反発し、この日の衆院予算委員会を欠席した。

これに対し、菅義偉官房長官は18日の記者会見で「総理が国会で答弁した通り」と強調。野党が要求する書面での回答も「国会で答弁することは議事録に残る」として、後ろ向きな姿勢を示した。自民の二階俊博幹事長は会見で「野党の対応に私が論評することはありません。新たな議論を呼ぶようなことに私が乗るわけにはいかない。野党は野党です」と述べるにとどめ、評価を避けた。

ただ、首相側近は「なんで（ANA ホテルは）回答を出したんだろう」と困惑し、自民党幹部の一人は「もうANAホテルを使うのはやめよう」。同党ベテランは「ANAホテルは外資系だからかな。（対応が）スッキリしている」と述べ、付度のない対応だと感想を漏らした。

与党、衆院予算委審議強行 野党欠席「営業秘密」首相答弁に猛反発

毎日新聞 2020年2月18日 11時32分（最終更新 2月18日 11時45分）



「桜を見る会」前夜祭を巡る明細書などの問題でホテル側の主張と前日の安倍晋三首相の答弁の違いについての政府、自民党の対応に対し野党議員が抗議のため欠席したまま開会した衆院予算委員会＝国会内で2020年2月18日午前10時、川田雅浩撮影

「桜を見る会」前日に安倍晋三首相後援会が主催した前夜祭をめぐり、会場だったホテルが17日の首相答弁の一部を否定したことに、立憲民主党などの野党は猛反発した。野党は首相側に書面での回答を要求して18日午前の衆院予算委員会を欠席。与党は主要野党不在のまま予算委の審議を強行した。

立憲の安住淳国対委員長は、国会内で記者団に対し「ホテル側が営業の秘密だから回答できない、という首相の話はうそだとはっきりした。こうなれば首相が、今まで言ってきた中身を書面で立証しなければならない」と批判。首相側から回答があるまで審議に応じない構えだ。

審議に先立つ衆院予算委理事会で、野党が委員会としてホテル側に問い合わせるように提案したが、与党側は「民間企業に対しては慎重であるべきだ」と拒否した。自民、公明両党と日本維新の会は審議に出席した。

菅義偉官房長官は18日午前の記者会見で、「首相の事務所がホテルに確認し、首相が国会で答弁した。議事録に残るので、責任を持って答弁されていると思う」と強調した。ただ、首相答弁とホテル側の主張の食い違いについては「承知していない」とした。

17日の衆院予算委では、過去に前夜祭会場になったANAインターコンチネンタルホテル東京（東京都港区）が「明細書を主催者に発行しないケースはない」と回答したことに基づき、野党が追及した。これに対し首相は「ホテルに確認したところ（野党に対する）回答は一般論で、個別の案件は営業の秘密に関わるため含まれない」と反論した。

だが17日夜、ホテル側は毎日新聞の取材に対して「『個別の案件は営業の秘密に関わる』と申し上げた事実はない」「主催者に明細書を提示しないケースはなく、例外はない」と電子メールで回答。首相の答弁を一部否定した。【野間口陽】

首相の「前夜祭」答弁に野党猛反発「書面で立証を」野党欠席のまま予算委審議始まる

毎日新聞 2020年2月18日 09時57分（最終更新 2月18日 11時43分）



「桜を見る会」前夜祭を巡る明細書などの問題でホテル側の主張と前日の安倍晋三首相の答弁の違いについての政府、自民党の対応に対し野党議員が抗議のため欠席したまま開会した衆院予算委員会＝国会内で2020年2月18日午前10時、川田雅浩撮影

立憲民主党などの野党は18日、「桜を見る会」前日に安倍晋三首相の後援会が主催した「前夜祭」をめぐり、会場になったホテル側の説明と17日の首相答弁が食い違っていることに猛反発した。立憲の安住淳国対委員長は、国会内で記者団に「ホテル側が営業の秘密だから回答できない、という首相の話はうそだとはっきりした。こうなれば首相が、今まで言ってきた中身を書面で立証しなければならない」と指摘。首相側から回答があるまで、野党は衆院予算委員会の審議に応じない構えだ。

一方、与党は立憲などの野党欠席のまま、18日午前の子算委で審議を始めた。菅義偉官房長官は記者会見で「首相が昨日、国会で答弁した通りだ」と述べるにとどめた。

17日の衆院予算委では、過去に前夜祭の会場となったANAインターコンチネンタルホテル東京(東京都港区)が「明細書を主催者に発行しないケースはない」などと回答したことを基に、野党が追及。これに対し、首相は「ホテルに確認したところ(野党への)回答は一般論で、個別の案件は営業の秘密に関わるため含まれない」と反論した。

しかし17日夜、ホテル側は毎日新聞の取材に対して「『個別の案件は営業の秘密に関わる』と申し上げた事実はない」「主催者に明細書を提示しないケースはなく、例外はない」と電子メールで回答。首相の答弁を一部否定した。【野間口陽】

桜「政治枠」招待者、功績チェックせず 政府関係者証言

朝日新聞デジタル 2020年2月22日 5時00分



桜を見る会の招待者をめぐる首相

答弁と証言の食い違い

「桜を見る会」で安倍晋三首相の事務所が推薦するなどした「政治枠」の招待者について、首相は国会で「内閣府で最終的にチェックしている」と答弁してきたが、事実上なされていなかったと複数の政府関係者が朝日新聞の取材に証言した。功績・功労の有無などの確認は推薦する側の責任だと認識していた。首相答弁の整合性が問われる。

政府は招待の趣旨を「首相が各界で功績・功労のあった方々を招き、慰労し、懇談する内閣の公的行事」(菅義偉官房長官)と説明。昨年の招待者約1万5千人のうち「政治枠」の推薦内訳は、首相と妻の昭恵氏が約1千人、麻生太郎副総理と菅氏らが約1千人、自民党関係者が約6千人などとされる。内閣官房内閣総務官室が取りまとめ、内閣府人事課が各省庁の推薦と合わせ、「招待者名簿」を作成する。

首相の地元事務所は1~2月、「内閣府主催『桜を見る会』参加申し込み」と題した用紙を後援会関係者らに配布。用紙には、氏名や住所、職業・役職などの記入欄はあるが、「功績・功労」の記入欄はない。さらに「コピーしてご利用ください」との記述があり、際限なく参加者を募れる仕組みがうかがえる。

国会などで「公的行事の私物化」との批判を浴びた首相は、招待者について「事務所でふさわしいと考えているものが、(招待)基準に合っているかどうかは、内閣府で最終的にチェックしている」と反論してきた。

「内閣府はチェックしていない」

ところが、会の事務の実情を知る複数の政府関係者は、功績・功労の有無など招待に適している人物かどうか、複数回参加していないかなどの確認は「推薦側がすべきもの」と口をそろえた。取

材に応じた一人は「内閣府ではきちんとしたチェックなんかしていない」と証言。名簿作成に中心的に携わる職員は、内閣府人事課では2人だけだといい、「名前などにざっと目を通す程度しかできない。きちんとしたダブリチェックなんかもしないから、前年の名簿がなくても何の支障もない」と実態を明かす。

別の政府関係者は、「総務官室…

残り:356文字/全文:1185文字

桜招待「事務所に言えば行ける感じ」首相の私物化露呈

朝日新聞デジタル上沢博之、野平悠一、檜崎貴司 2020年2月22日 5時00分



地元・山口県からの参加者らと記念撮影

をする安倍晋三首相夫妻—2018年4月21日午前7時59分、東京都内の新宿御苑、「桜を見る会」ツアー参加者が撮影(画像の一部を加工しています)



安倍晋三首相の推薦であれば、事実上ノーチェック——。首相主催の「桜を見る会」の招待者をめぐり、複数の政府関係者が朝日新聞の取材に対し、政府内でのチェックが機能していなかったと証言した。「内閣府で最終的にチェックしている」とする首相答弁と食い違うことになる。また、朝日新聞が複数の政府関係者や首相の地元である山口県下関市で取材したところ、「桜を見る会」の招待作業の実態が浮き彫りになった。参加者が大幅に増えた背景には、税金を使った会の事実上の「私物化」がある。とどまらぬ疑惑は、政権の体質も表している。

「知り合いが桜を見る会に行き、『桜、きれいかった』とか聞いたから、一回行かにかいかんと思って参加することにした。安倍事務所側に申し込んだら行けた」

市内で会社を経営する男性は、2019年春の会に招待された経緯をこう打ち明けた。周囲には、趣味の同好会グループの仲間を誘われて参加した人もいて、「私も含めて功績があって招待されたのではない」と言い切る。「安倍事務所に言えば枠があって、行きたいと言えば行ける感じだった。友達同士のグループで旅行気分やね」

朝日新聞は2月上旬、下関市内の複数の安倍首相支援者らに取材した。多くが「箒口令(かんこうれい)が敷かれている」と口

を閉ざす中、22人が取材に応じた。

会への参加の流れは、安倍首相…

残り:2386文字/全文:2944文字

内閣府「桜」資料出すも名簿なし 野党「あまりに不自然」

2020/2/20 19:09 (JST)2/20 19:21 (JST)updated 共同通信社

内閣府は20日の参院予算委員会理事懇談会に、首相主催の「桜を見る会」の2019年開催分の保管資料を提出した。実施要領や飲食物提供業務の入札結果など約千枚に及んだが、招待者名簿は廃棄済みとして含まれていなかった。立憲民主党の蓮舫参院幹事長は「あまりに不自然だ」と反発した。

提出されたのは、桜を見る会の開催要領や会場の設営、提供される飲食物の納入に関する資料や報告書。野党側が保管資料一式を提出するよう求めている。

保存期間はそれぞれ異なるが、招待者名簿のみが1年未満のため廃棄されていたとの説明だったという。

記録ないのに一言一句前年と同じ？ 驚き 桃の木 山椒の木ですよ！ 「桜」質疑詳報

毎日新聞 2020年2月20日 10時31分(最終更新 2月20日 11時02分)



衆院予算委員会で質問する共産・宮本徹氏＝東京

京都千代田区の国会内で2020年1月28日、川田雅浩撮影

「驚き 桃の木 山椒(さんしよ)の木ですよ！」。共産党の宮本徹衆院議員は19日の衆院予算委員会で、内閣府幹部の答弁を聞き、こう叫んだ。

宮本氏は、内閣府が各省庁に送付する「桜を見る会」の推薦依頼の文書について「1年未満で廃棄されるのに、数字を含め一言一句ほとんど同じ文書が作られている」と指摘。不自然さを追及した。内閣府は「各省庁に確認」などとして作成するとしたが、具体的な方法は「記録が残っていない」として明らかにしなかった。主なやり取りは以下の通り。

宮本氏 昨年11月に質問した際に、人事課の桜を見る会のファイルについて、2018年も19年と同様のタイミングで廃棄したと説明された。このファイルには、推薦依頼文書や招待区分の意味を記した文書などが入っていた。役所というのは前例主義、文書主義で仕事をしている。招待区分の番号や推薦依頼の文書も当然引き継がれていると思う。19年の桜を見る会の推薦依頼。各省庁宛てに、子細にどれぐらいの人をどう推薦してほしいのかというのを内閣府の人事課から発出されている。18年と19年、見てもらえば分かるが、ほぼ同じ。18年の文書がないのに、どうやって19年の文書ができあがったのか。全部一言一句、頭の中に記憶しているのか。それとも、本当は廃棄していないのか。どちらかだ。

大塚幸寛・内閣府官房長 推薦依頼の作業に当たっ…

残り1358文字(全文1936文字)

しんぶん赤旗 2020年2月21日(金)

「桜」公文書廃棄 虚偽が濃厚 宮本議員が追及 「廃棄履歴も調査を」 19日、衆院委



(写真)質問する宮本徹議員＝19日、

衆院予算委

安倍晋三首相主催の「桜を見る会」の私物化疑惑をただす野党に対し、政府は同会の招待者名簿などの廃棄を隠れみのにして詳細について答えず、調査も拒んでいます。日本共産党の宮本徹議員は19日の衆院予算委員会で、招待者名簿などの廃棄について虚偽だった可能性が高いことを追及しました。

8カ月隠ぺい

宮本氏は、内閣府が「桜を見る会」の招待者の内訳資料の存在を把握しながら、1月21日に国会に提出するまで隠していた問題を追及。宮本氏が昨年5月9日の資料要求で「桜を見る会」の参加者が増えた要因について説明を求めたにもかかわらず、資料提供をしなかったとして次のようにただしました。

宮本 資料を8カ月にわたって隠ぺいしてきた。許されない話だ。

内閣府の大塚幸寛官房長 しっかりとした資料ではないと考えていた。

宮本 (内訳資料は)誰がどう見たって、総理大臣等の枠が増えていると説明できる資料だ。

菅義偉官房長官 概略はわかったと思う。

宮本 概略がわかるなら出すというのが本来、行政府がとるべき態度だ。

宮本氏は、官僚が官邸に「付度(そんたく)」して資料を隠したとして「でたらめに参加人数を増やしていった安倍首相と官房長官の責任も大きい」と批判しました。

説明にも矛盾

さらに、宮本氏は、招待者名簿などを廃棄したという説明にも矛盾があることを指摘しました。

内閣府は、「桜を見る会」の招待者名簿等を5月9日ごろに廃棄したと説明していますが、同ファイル内には各省庁宛てに詳細な枠を示した推薦依頼文書もあります。2018年と19年に内閣府が各省に送った推薦依頼文書の文面はまったく同じです。宮本氏は「推薦依頼の文書なし、ひな型の文書なしで、どうやって同じもの(推薦依頼文書)ができるのか」と述べ、次のようにただしました。

宮本 全部、一言一句記憶しているか、本当は廃棄していないか、のどちらかだ。

大塚官房長 まずノウハウがある。また、各省と(推薦依頼文書の)確認が必要であればできる。

宮本 驚きだ。他の省庁に昨年分(の推薦依頼文書)を出してもらって作った。本当にそんなことやっていると思うか。

菅官房長官 官房長が答えた通りだ。

宮本氏は、発出元の内閣府が推薦依頼文書を廃棄したから、発出先の各省に教えてくれと問い合わせるはずがないとして、問い合わせたというなら各省とのやりとりの記録を出すよう要求。大塚官房長は「現時点では記録が残っていない」などと答えました。

宮本氏は、「おかしいでしょう。菅官房長官、今のやりとり聞いて、目を覚ましてほしい」と強調。「私が知っている方がおかしいと思う方、手を挙げてください」と与党議員に呼びかけましたが、誰も手を挙げませんでした。

宮本氏は「このやりとりを聞いたら、普通の政治家が思う感覚です」として、「廃棄自体がウソだったのではないか。廃棄ログ(履歴)も含めて調べてほしい」と求めました。

野党、首相答弁の矛盾追及「桜を見る会」夕食会巡り

日経新聞 2020/2/19 23:00



衆院予算委(19日午後)=共同

立憲民主党などの共同会派と共産党は19日の衆院予算委員会で、首相主催の「桜を見る会」前日の夕食会をめぐる17日の安倍晋三首相の答弁内容と、立民へのホテル側の回答が矛盾しているとして追及を続けた。共同会派で無所属の山井和則氏は「虚偽答弁ではないか」と批判した。

菅義偉官房長官は「首相が答弁した内容はホテル側に確認をとって答えたものだ」と答えた。首相は19日、立民などの指摘について問われ「国会ですでに答弁したとおりだ」と述べた。首相官邸で記者団に語った。

夕食会を巡っては立民の辻元清美氏が17日の衆院予算委で、会場だったANAインターコンチネンタルホテル東京から見積書や請求明細書を主催者に発行しないケースはないなどとする回答をメールで受け取ったと主張した。首相のこれまでの答弁と食い違いと指摘する。同ホテルは2013、14、16年の夕食会の会場だった。

ホテル側の回答と首相答弁	
質問 主催者に発行しないケースはないか	回答 発行はしていない
質問 宛名空欄では発行しないか	回答 ホテルは宛名空欄として発行した。内訳もあつた
質問 主催者から送られてきたメール	回答 ホテルとの契約上、主催者から宛名が送られてきた
質問 「政治家から対応受けたこと」は、ないか	回答 宛名欄は営業の秘密に属するため開示を求めないとのことだ

領収書の発行についても、ホテルは辻元氏に「宛名空欄では発行しない」と回答した。首相は領収書の宛名が空白だったり、「上様」だったりした可能性に言及し、代金も「参加者個人がホテルに支払った」と答弁している。

首相は辻元氏の指摘を踏まえ、首相の事務所がホテル側に電話で確認したうえで「(立民には)あくまで一般論で答えたもので、個別の案件は営業の秘密に関わるため、回答には含まれていないとのことだった」と答弁していた。

立民などはこの答弁のなかで「営業の秘密に関わるため」との部

分はホテル側の回答がなく、首相が付け加えたのではないかと問題視する。

共同会派で無所属の小川淳也氏は19日の衆院予算委で、17日の首相答弁に関し「ホテル側から『営業の秘密に関わる』との発言があったか」と質問した。山井氏も「真実は一つだ。ホテルが言っていないことを言うのは虚偽答弁ではないか。虚偽なら大きな責任になる」と強調した。

菅氏は首相と首相の事務所に改めて確認したと明らかにしたうえで「17日の首相の答弁内容はすべてホテル側に確認をとったうえで答えたものだ。首相が答弁したことが正しい」と答えた。

与党側は18日に改めて首相秘書から事実関係を聴取した。秘書はホテル側が当時「あくまで一般論で答えたもので、個別の案件は回答に含まれていない」と説明していたと話した。

立民などは自民党内からANAインターコンチネンタルホテル東京について「もう利用しない」などの声が出ているとされる問題も批判する。18日にホテル関係者が自民党本部を訪れたとされることでも、山井氏は「暗黙の圧力ではないか」と述べた。

自民党の森山裕国会対策委員長は記者団に「圧力と受け止められないよう気をつけることが大事だ」と語った。

ANAホテル領収書 桜夕食会の宛名は「上様」 首相答弁と一致

産経新聞 2020.2.21 17:55

「桜を見る会」前日に安倍晋三首相の後援会が主催した夕食会に関し、会場となったANAインターコンチネンタルホテル東京(旧全日空ホテル)が発行したとする領収書を参加者が実際に受け取っていたことが21日、分かった。宛名は「上様」と記され、首相の国会答弁と一致している。

産経新聞は、参加者が保管していた領収書を確認した。ANAホテルが会場となったのは平成25、26、28年の夕食会。確認したのは26(2014)年の領収書で、桜を見る会前日の「14・4・11」との日付が記されている。宛名欄には「上様」、金額は「5000円」で、「夕食懇談会として」となっている。

係名や「通し番号」が書かれ、支払い済みを示す赤色のスタンプも押されている。参加者は取材に「会場で会費を支払い、首相の事務所職員からホテルの領収書として渡された」と話している。

野党議員は17日の衆院予算委員会で「宛名が空欄のまま発行することはない」などとするホテルの見解を示し、首相の答弁と矛盾すると追及。首相は「宛名は空欄」と説明してきたが、17日は「上様」の可能性に言及した。ホテル側も取材に「上様で発行することはあった」と回答した。

今回確認した領収書について、ANAホテル広報担当者は「お客様のプライバシーを尊重し、また日本の法律に従い、守秘義務を順守いたしております。つきましては、ホテルのプライバシーポリシーに準じ、お問い合わせをいただいた内容につきましては一切、情報開示することはできかねます」と回答した。

<点検「桜を見る会」> 「白塗り」容認に論理矛盾

東京新聞 2020年2月22日 朝刊

内閣府が国会向けに部局名を隠して提出した推薦者名簿(上)と本紙に開示した名簿



「桜を見る会」の公文書管理を巡っては、政府が名簿資料の一部を「白塗り」で隠して国会に提出したことも問題になった。野党は「改ざんだ。白塗りでは記載があったことも分からない」と批判する。

問題の資料は、内閣府人事課が昨年十一月二十二日、参院予算委員会の理事に提出した推薦者名簿の一部。原本には「内閣官房内閣総務官室総理大臣官邸事務所」「閣総」と部局名が記載されていたが、国会提出資料については、人事課長らが提出前日に電子データ上で消去した。本紙の情報公開請求などによって今年一月に発覚した。

内閣府は「誤解を招かないように修正した」と釈明する。内閣総務官室の依頼だったが、あくまでも推薦元は人事課のため、記載したままだと誤った情報として伝わるとの理屈だ。

だが、内閣総務官室が主に扱うのは首相や与党など「政治枠」の推薦者だ。当時、政府側はこの推薦者名簿を既に廃棄したと国会で答弁していたため、つじつま合わせの「白塗り」だった疑いはぬぐえない。

政府は「極めて不適切」（菅義偉（すがよしひで）官房長官）として、今年一月に人事課長を厳重注意処分にしたが、違法性までは認めなかった。公文書管理を担当する北村誠吾地方創生担当相は、今月十日の衆院予算委員会で「別の文書を新たに作成した」と主張した。

二十一日に開かれた衆院予算委中央公聴会でもこの問題が取り上げられた。公述人として出席したNPO法人「情報公開クリアリングハウス」の三木由希子理事長は、北村氏の説明について「新たな公文書とすると、情報公開請求をして黒塗りになったものが新たな公文書になる。論理矛盾している」と批判した。

（妹尾聡太）

<点検「桜を見る会」>「反社」の定義ゆがめる

東京新聞 2020年2月23日 朝刊



「桜を見る会」に反社会的勢力が出席していたかどうか話題となったことをきっかけに、政府が閣議決定をして用語の定義をゆがめる事態にも発展した。

菅義偉（すがよしひで）官房長官は昨年十一月下旬の記者会見で、反社会的勢力とみられる人物の出席について「個々の招待者の参加は承知していない」と確認を拒否。用語について「定義が一義的に定まっているわけではない」と言い切った。

社会通念上、反社会的勢力は、主に暴力団の組織や組員などを指す用語として認識されている。政府も、用語の意味を定めてこなかったわけではない。

二〇〇七年六月、当時総務相だった菅氏を含む全閣僚で構成する「犯罪対策閣僚会議」が、幹事会の申し合わせとして企業の被害防止の指針をまとめた際、反社会的勢力は「暴力、威力と詐欺的手法を駆使して経済的利益を追求する集団または個人」のことだとしていた。

だが政府は、桜を見る会を巡る菅氏の発言を受け、昨年十二月十日には反社会的勢力について「形態が多様で、時々々の社会情勢に応じて変化し得るもので、あらかじめ限定的かつ統一的に定義することは困難である」とする答弁書を閣議決定した。政府として定義ができない以上、桜を見る会では反社会的勢力の出席を完全に避けることもできなかったことになる。

野党は、反社会的勢力の定義をあいまいにすれば、暴力団などに対する企業の対策に悪影響を及ぼすと批判している。（中根政人）

「自民がホテルに圧力」と抗議 立民・安住国対委員長

2020/2/19 12:48 (JST)共同通信社



会談に臨む自民・森山(左)、立憲民主・安

住の両党国対委員長＝19日午前、国会

立憲民主党の安住淳国対委員長は19日、自民党の森山裕国対委員長と国会内で会談し、安倍晋三首相の後援会が開いた「桜を見る会」前日の夕食会場となったホテルの関係者が謝罪に訪れたとの森山氏の発言について「圧力と取られかねない」と抗議した。

森山氏は18日、ホテルが野党議員の問い合わせに首相答弁と食い違う回答をしたことに関し、記者団に「ホテルのしかるべき方が『大変ご迷惑を掛けている』と自民党本部に来たと聞いている」と語った。

自民党幹部からは「もうあそこは使わない」との発言も出て、一部で報道された。安住氏は「看過しがたい。権力のおごりではないか」と指摘した。

菅氏、首相の虚偽答弁を否定 野党反発、ANA ホテルと矛盾

2020/2/19 12:05 (JST)2/19 12:17 (JST)updated 共同通信社



衆院予算委で答弁する菅官房長官＝19日午前

菅義偉官房長官は19日の衆院予算委員会で、「桜を見る会」前日に安倍晋三首相後援会が主催した夕食会に関する17日の首相答弁を巡り、虚偽との野党の批判は当たらないと否定した。予算委までに首相と首相事務所に確認したとして「17日に答弁した内容は全てホテル側に確認を取った上で答えた。首相が答弁したことが正しい」と述べた。野党はホテル側から独自に得た回答と矛盾しているとして、首相には虚偽答弁を続けた責任があると反

発を強めた。

立憲民主党などをつくる会派で無所属の山井和則氏は「真実
は一つだ。首相答弁が虚偽なら、大きな責任になる」と非難した。

しんぶん赤旗 2020年2月23日(日)

「公開前提」を削除 安倍政権後、「桜」文書から 内閣府資料

安倍政権になってから、「桜を見る会」の推薦依頼文書から“公
開を前提”とする注意書きが削除されていたことが20日に、
内閣府が国会に提出した資料からわかりました。内閣府が各省に
宛てた「桜を見る会」の推薦依頼文書の記載事項から判明したも
の。安倍政権が、「桜を見る会」の招待者名簿を隠すために、意
図的に削除した疑いがあります。

招待者名簿をめぐるのは、日本共産党の山添拓参院議員が1
月30日の参院予算委員会で開示請求の対象となった事例がある
ことを指摘。内閣府が推薦依頼をした際の記述を確認するよう要
求していました。

野党の要求に応じて内閣府が国会に提出した資料によると、20
08年から13年までの推薦依頼文書では、「桜を見る会」の招待者
名簿が氏名などの個人情報を除いて「一部を開示した」として、
「今後は氏名や役職も含めて名簿全体を公開するということも考え
られる」と公開を前提に推薦依頼をしていました。

ところが、14年から16年の推薦依頼文書では、「今後は氏名や
役職も含めて名簿全体を公開するということも考えられる」との文
言が削除され、開示請求についても、「情報公開請求の対象とされ
た」と表現が後退。17年から19年にいたっては、開示請求に関
する記載すらなくなりました。

安倍晋三首相は、山添氏の追及に「開示請求の対象とされるこ
とと、名簿全体を公開されることは違う」と強弁。答弁を取り繕って、
招待者を隠そうと躍起になりました。

招待者名簿が開示請求の対象であるなら、保存期間を1年以上
として、公文書管理法にもとづいて行政文書ファイル管理簿に記
載する必要があります。ところが、安倍政権は18年以降、招待者
名簿の保存期間を「1年未満」に変更し、廃棄してきました。このこ
とからも、安倍政権が公文書管理法の趣旨をねじ曲げて、「桜を
見る会」の招待者を隠そうとしてきたことは明白です。

検察官の定年延長、正式決裁なし 解釈変更の協議文書—法務省

時事通信 2020年02月21日19時11分

法務省は21日の衆院予算委員会理事会で、検察官の定年延
長を可能とした法解釈変更に関する人事院との協議文書に関し、
正式な決裁手続きは取っていないと説明した。森雅子法相は20
日の同委で「必要な決裁は取っている」と答弁していたが、修正し
た。

21日の同委理事会で、法務省の担当者は協議文書について
「正式な決裁は取っていない」と述べた上で、口頭での決裁だっ
たと釈明した。

野党、森法相の虚偽疑惑を迫及 「口頭では決裁と言わない」

2020/2/22 11:35 (JST)2/22 11:47 (JST)updated 共同通信社

野党は 22 日、法務省が黒川弘務東京高検検事長の定年延長

を巡る法解釈変更の経緯を記した文書に関し「口頭による決裁を
経た」と21日夜に発表したことについて「口頭決裁は存在しない」
と反発した。森雅子法相が国会で虚偽答弁をした疑いがあるとみ
て徹底追及する方針だ。

立憲民主党などの会派で無所属の小川淳也氏は「口頭では決
裁と言わない」と指摘。法務省が森氏の国会答弁との整合性を図
るため、21日夜に発表したとみている。国民民主党の原口一博国
対委員長は「虚偽の可能性が高い」とした。

共産党の穀田恵二国対委員長は「口頭でいいなら、正式な決
裁とは一体何なのか」と問題視した。

しんぶん赤旗 2020年2月22日(土)

定年延長 正式決裁なし 検察人事 法相、虚偽答弁か

法務省は21日の衆院予算委員会理事会で、検察官の定年延
長を可能とした法解釈変更に関する人事院との協議文書に関し、
「口頭で決裁を取った。文書はない」として、正式な決裁手続きは
取っていないと認めました。森雅子法相は20日の同委で「必要な
決裁は取っている」と答弁していましたが虚偽答弁だった可能性
が強まりました。

そもそも正式な決裁手続きがなかったということは、法務省として
正式な「法解釈変更」の意思決定がなされていないということです。

安倍晋三首相に近いとされる人物を特別扱いする定年延長の
ための法解釈変更が、手続きとしても全くでたらめだったことが明
らかになり、政治の正統性が改めて根底から問われる事態です。

人事院、決裁経ず解釈変更 協議文書は日付不記載—検事長 定年延長

時事通信 2020年02月20日19時44分



衆院予算委員会で答弁する人事院の松尾恵美子
給与局長＝20日午後、国会内

人事院の松尾恵美子給与局長は20日の衆院予算委員会
で、黒川弘務東京高検検事長の定年延長をめくり、国家公務員法の
定年延長規定を検察官にも適用可能とした法務省の法解釈の変
更を認める際、部内で決裁を取らずに了承したと述べた。関連す
る法務省と人事院の協議文書には作成した日付が記載されてい
ないことも明らかになった。

法務省と人事院は20日の予算委理事会に、定年延長規定の
検察官への適用をめくり協議したことを記した文書を提出。この中
で法務省は、定年延長制度について検察官にも「適用があると解
される」との見解を示し、人事院は「特に異論は申し上げない」と
応じている。

ただ、どちらの文書にも作成日が明記されていない。委員会の
質疑で、野党共同会派の小川淳也氏が理由をただすと、森雅子
法相は明確に答えず、松尾氏は「法務省に直接書面を渡しており、
記載する必要がなかった」と語った。

小川氏はさらに、これらの文書に関し、それぞれ部内で決裁手

続きを済ませたかを質問。森氏は「必要な決裁を取っている」と答えたが、松尾氏は「取っていない」と述べた。小川氏は「決裁を取らずに法令解釈をしたなんて聞いたことがない」と厳しく批判した。

検察官定年延長で答弁修正 人事院、首相答弁と整合か

2020/2/19 20:39 (JST)共同通信社



人事院の松尾恵美子給与局長(中央)の答弁を巡り紛糾する衆院予算委=19日午後

人事院の松尾恵美子給与局長は19日の衆院予算委員会で、

黒川弘務東京高検検事長の定年延長に関連し、自身の国会答弁を撤回した。国家公務員法の定年延長規定が検察官には適用外とした1981年の政府答弁の解釈を「現在まで引き継いでいる」とした12日の答弁を野党に追及され、修正に追い込まれた。野党は定年延長を巡る法解釈変更を明言した安倍晋三首相による13日の答弁と整合を図ったと批判した。

立憲民主党の山尾志桜里氏への答弁。

法務省、深夜につじつま合わせか 検事長定年延長、説明矛盾

2020/2/22 00:49 (JST)2/22 10:13 (JST)updated 共同通信社

黒川弘務東京高検検事長の定年延長に関する森雅子法相の国会答弁の信頼性が21日、大きく揺らいだ。森氏は20日の衆院予算委員会で、法務省が法解釈変更の経緯を示した文書について「部内で必要な決裁を取っている」と答弁。しかし21日の予算委理事会で法務省と人事院は、正式な決裁は取っていないと明らかにし、説明の矛盾が露呈した。

法務省は21日深夜、文書に関し「口頭による決裁を経た」と突然発表し、森氏の答弁との整合性を取った。野党は口頭決裁は存在しないと主張しており、法務省の対応を批判するのは必至だ。

人事院局長、異例の答弁修正 検事長定年延長で審議紛糾—衆院予算委

時事通信 2020年02月19日20時05分



衆院予算委員会で、人事院給与局長の答弁に紛糾し、退室する主要野党議員(手前)=19日午後、国会内

黒川弘務東京高検検事長の定年延長をめぐる、人事院の松尾恵美子給与局長は19日の衆院予算委員会で、異例の答弁修正を行った。検察官には国家公務員法の定年延長規定が適用されないとした政府見解を「現在まで引き継いでいる」としてきたが、一転して引き継いだのは法務省から相談を受けるまでと変更。野党は反発し、審議はたびたび紛糾した。

立憲民主党の山尾志桜里氏は、安倍内閣が従来の政府見解を変更し、定年延長に関する規定は検察官にも適用されると決めたのはいつかとただした。

森雅子法相は、1月17～21日に内閣法制局と、同22～24日に人事院とそれぞれ協議し、双方から「異論はない」との回答を得たため、同29日に黒川氏の定年延長を閣議に諮ったと説明した。

ところが、2月12日の衆院予算委では、定年延長規定が検察官には適用されないとした1981年の政府見解について、松尾氏は「現在まで特に議論はなく、解釈は引き継いでいる」と明言しており、矛盾が生じた。

山尾氏がこの点をただすと、松尾氏は「『現在』という言葉の使い方が不正確だった」と述べ、12日の答弁を撤回。反発した野党が退席し、審議は一時中断した。

再開後、松尾氏は「現在まで」の部分を「1月22日に法務省から相談があるまでは」に修正。質疑後、山尾氏は記者団に「解釈変更した上での人事でない」と違法になる。無理筋のストーリーを作るから矛盾が生じる」と厳しく批判した。

法務省と法相答弁に齟齬と野党 検事長の定年延長に関連し

2020/2/21 13:30 (JST)2/21 13:43 (JST)updated 共同通信社

法務省は21日の衆院予算委員会理事会で、黒川弘務東京高検検事長の定年延長に関連し、20日に理事会に示した法解釈変更の経緯を示す文書に日付の記載がなかったとの指摘を受け「1月22日人事院へ交付」と追記した文書を提出した。野党は「後付け」で日付を入れたとして反発。再度開かれた理事会で、法務省と人事院は文書に関し、正式な決裁を取っていないと説明した。森雅子法相は2月20日に「部内で必要な決裁を取っている」と答弁しており、野党は齟齬があると批判した。

立憲民主党の大串博志幹事長代理が記者団に理事会の内容を説明した。

政府、検事長定年延長妥当の文書 野党、日付なく真偽不明と反発

2020/2/20 22:09 (JST)共同通信社



衆院予算委で答弁のため挙手する森法相=20日午前

法務省は20日午後の衆院予算委員会理事会で、黒川弘務東京高検検事長の定年延長に関連し、法解釈変更の経緯を示す文書を提出した。黒川氏の定年延長を可能とした国家公務員法の勤務延長規定と、検事総長以外の検察官の定年を63歳と規定した検察庁法の関係について「検察官にも国家公務員法の規定が適用されると解するのが自然だ」と主張した。

ただ文書作成日の記載がなく、野党は「考えられない」と真偽を疑問視して反発、追及を継続する意向だ。人事院幹部は予算委で内部決裁を経ずに解釈変更を容認したと表明した。

黒川検事長の定年延長 解釈変更文書、日付後付け 法務省、決裁取らずと説明

東京新聞 2020年2月21日 夕刊

法務省は二十一日の衆院予算委員会理事会で、黒川弘務東京高検検事長の定年延長に関連し、二十日に理事会に示した法解釈変更の経緯を示す文書に日付の記載がなかったとの指摘を

受け「一月二十二日人事院へ交付」と追記した文書を提出した。野党は「後付け」で文書に日付を入ただけで、証拠がないとして反発。さらに説明するよう要求した。

人事院が提出していた法務省への返答文書についても、法務省の注釈として「一月二十四日受領」と追記された文書が理事会に示された。

立憲民主党の大串博志幹事長代理は記者団に「国会答弁に合わせて注釈を付けただけで、証明するものがないと明らかになった。さらに怪しい」と批判した。

政府は一月二十四日に解釈を変更したと主張しているが、国会答弁と矛盾点があるとして野党が追及している。

◇

法務省と人事院は二十一日の衆院予算委員会理事会で、検察官の定年延長を巡る法解釈変更の経緯として示した文書に関し、正式な決裁を取っていないと説明した。森雅子法相は二十日に「決裁を取っている」と答弁していた。

首相答弁 信頼性揺らぐ 事前解釈変更、証拠なし 検事長定年延長

東京新聞 2020年2月22日 朝刊



黒川弘務東京高検検事長の定年延長を巡り、政府が「後付け」で国家公務員法の解釈を変更した疑いが強まった。現状では閣議決定前に法解釈を変えた証拠を示せていないからだ。森雅子法相らの説明はすでに破綻状態に追い込まれ、今度は解釈変更を明らかにした安倍晋三首相の答弁の信頼性が揺らいだ。(清水俊介、大野暢子)

立憲民主党の安住淳国対委員長は二十一日、政府が閣議決定前に解釈を変えたと証明する日付入りの文書を示すよう引き続き求める考えを記者団に強調。政府が応じなければ「後から取って付けた法律違反ということになる」と述べ、黒川氏の定年延長は違法と批判を強める考えを示した。

政府が二十日と二十一日にかけて衆院予算委員会の理事会に提出した文書は、法務省、内閣法制局、人事院がそれぞれ作成。法務省と人事院の文書は二十日に提出したが、文書作成日が記されていないと野党に批判され、「1月22日」「1月24日」と追記して二十一日に再提出した。一月三十一日の閣議決定前に法解釈を変えたと主張するためだ。

だが、文書には解釈を見直したと理解できる記載はない。検察

官は国家公務員法の定年延長制の適用外とした一九八一年の政府見解に触れず、変更すべき旧解釈を示していない。法務省が定年延長は八五年から検察官に適用可能だったとの見解を示し、内閣法制局、人事院が順に了承したことを記しているだけだ。

この見解に基づき、政府は定年延長の閣議決定から二週間、法解釈変更に触れなかった。対応を変えるきっかけは、立憲民主党の山尾志桜里氏が二月十日の衆院予算委で八一年見解の存在を指摘したことだ。定年延長は検察官に「適用不可」「適用可能」という相反する政府見解が併存する事態になった。

これを受け、首相は十三日の衆院本会議で、法解釈の変更に言及。その後、政府の説明は首相答弁とつじつまを合わせるために迷走した。法務省と人事院は二十一日の予算委理事会で、提出した文書は正式な決裁を経っていないと説明。二十一日夜には、法務省が「口頭による決裁を経た」と発表した。森法相は前日の審議で「決裁を取っている」と明言しており、野党は整合性を追及する構えだ。

法解釈変更記載なし 検事長定年延長 閣議決定前の政府文書

東京新聞 2020年2月22日 朝刊

政府が黒川弘務東京高検検事長の定年を延長する閣議決定に先立ち、国家公務員法の解釈を変更した経緯を示す証拠として国会に提出した文書に、法解釈を見直す記載のないことが分かった。検察官は定年延長制の対象外とした一九八一年の政府見解にも触れていない。解釈変更は定年延長の閣議決定後だった疑いが強まった。

政府は二十日と二十一日にかけて、定年延長を決める以前の検討状況を記録した文書計三通を衆院予算委員会の理事会に提出。法務省が一月に内閣法制局、人事院にそれぞれ交付した文書は「定年延長制度の検察官への適用について」と題し、八五年の改正国家公務員法の施行後は、定年延長制が「検察官にも適用されると解するのが自然である」と結論づけた。

内閣法制局の「応接録」と題した文書には、一月十七～二十一日にかけて法務省から照会を受け「意見がない旨回答した」と了承したことを明記した。人事院は翌二十二日に法務省の文書を受け取り、二日後に「特に異論を申し上げない」と文書で回答した。

三通の文書には、法解釈の「変更」「見直し」といった表現はなく、解釈を改めたと理解できる記載もない。政府は定年延長は八五年当時から可能だったと解釈し、黒川氏の定年延長を決めたことになる。

安倍晋三首相は閣議決定の二週間後の二月十三日に政府として初めて法解釈変更に関及。政府はその三日前に野党から八一年見解との整合性をただされ、答弁が行き詰まっていた。(清水俊介)

玉木氏、口頭決裁「あり得ない」 官僚出身、検事長の定年延長巡り

2020/2/22 17:57 (JST)2/22 18:09 (JST)updated 共同通信社

国民民主党の玉木雄一郎代表は22日の記者会見で、黒川弘務東京高検検事長の定年延長を巡る法解釈変更の経緯を記した文書に関し、法務省が「口頭による決裁を経た」と発表したこと

を強く批判した。玉木氏は元財務官僚。「今まで駄目だったものを真反対に解釈変更する際、文書で決裁を取らないことは霞が関の歴史上、あり得ない」と述べた。

立憲民主党の福山哲郎幹事長も取材に「国民が納得するわけがない。法治国家の体をなしていない」と疑問を呈した。

玉木氏は「どう考えても後付けの説明だ。やっている本人たちも訳が分からなくなっているのではないか」と指摘した。

検事長の定年延長「口頭で決裁」 日付書き加えた法務省

朝日新聞デジタル今野忍 2020年2月22日 9時11分



法制審議会であいさつする森雅子法相=東京・霞が関

東京高検検事長の定年延長をめぐる、延長を可能とした解釈変更をめぐる法務省と人事院の協議に関する文書について、法務省は21日の衆院予算委員会理事会で「正式な決裁はしていない。口頭で決裁した」と報告した。

森雅子法相は20日の同委で文書について「必要な決裁は取っている」と答弁しており、野党は「虚偽答弁だ」と反発している。

20日に同委理事会に提出された文書をめぐっては、野党統一会派の小川淳也氏が20日の同委で「内部決裁を取っているか」と質問。森氏は「必要な範囲で決裁を受けたと認識している」と答えた一方で、人事院の松尾恵美子給与局長は「人事院会議で決定したというわけではないが、参事官の了承は得ている。決裁は取っていない」と答弁し、食い違いをみせていた。

これを受け、法務省は21日、…

残り:229文字/全文:559文字

検事長定年延長 岸田氏「国民にしっかり説明を」 NHK 番組で発言

毎日新聞 2020年2月23日 15時08分(最終更新 2月23日 16時12分)



自民党の岸田文雄政調会長=長谷川直亮撮影

自民党の岸田文雄政調会長は23日のNHK番組で、黒川弘務東京高検検事長の定年延長問題に対する政府の説明について「国民は微妙に説明が変わってきている部分があると感じていると思う。それをしっかり説明しないとならない」と注文を付けた。

政府は今年1月、検事総長以外の定年を63歳と定めた検察庁法にも国家公務員法の延長規定を適用できると解釈を変更したと説明し、その後、法務省の見解文書を提出したものの、文書に日付がなく、野党から「後付け」などと批判を浴びている。岸田氏はこうした政府側の説明の変遷を挙げ「検察官への信頼は何より大事だ。信頼を確かにするためにしっかりと説明してもらわないとならない」と述べた。番組ではまた、立憲民主党の逢坂誠二政調会長が「法律も国会も無視し、人事院の独立性を大きく毀損(きそん)させ

た。民主主義を壊す暴挙だ」などと批判した。【飼手勇介】

「どうなっているの」 衆院予算委の政府答弁、与党からも指摘相次ぐ

毎日新聞 2020年2月20日 20時11分(最終更新 2月20日 21時04分)



政府、自民党の対応に対し立憲民主党、国民民主党などの議員らが抗議のため欠席したまま質疑が行われた衆院予算委員会。右奥は答弁する加藤勝信厚生労働相=国会内で2020年2月18日午前11時51分、川田雅浩撮影

衆院予算委員会で与野党の激しい論戦が繰り広げられる中、与党からも20日、政府の答弁姿勢に対する指摘が相次いだ。

自民党の岸田文雄政調会長は同日、自らが率いる岸田派の会合で、野党の質問について「相手に対する敬意が全く感じられない」と指摘した上で、政府にも「敬意のもとにしっかりと答弁する。国会全体の品位について我々は今一度考えるべきではないか」と求めた。今国会で、首相は野党議員に「意味のない質問だよ」とやじを飛ばすなど不規則発言が目立つ。岸田氏はこうした答弁姿勢も含め、国会のあり方に注文をつけたとみられる。

東京高検検事長の定年延長を巡っても、自民党の石破茂元幹事長は石破派会合で「森(雅子)法相がずっと(予算委で)説明されているが、我々はどうやって有権者に説明するのか」と疑問視し「国会さえ乗り切ればそれでいいと思うのは、主権者に対する説明責任を果たすことでは決して十分ではない」と指摘した。

公明党の北側一雄副代表も記者会見で、この問題で人事院の松尾恵美子給与局長が答弁を修正したことに言及し「どうなっているの、と思う。ちゃんと正確に答弁しろ、なぜあんな答弁したんだ、と思う」と不満をあらわにした。【飼手勇介、立野将弘】

しんぶん赤旗 2020年2月21日(金)

異常な解釈変更許されない「職責の特殊性」を無視 検事長定年延長問題 藤野氏が追及 衆院予算委

東京高検検事長の定年延長問題をめぐり、政府が検察庁法により検察官は定年延長を「許されない」としてきた解釈を変更し、国家公務員法の定年に関する規定を使って定年延長を認めたのは、安倍首相が桜を見る会をめぐる刑事告発され、元副大臣も収賄罪で刑事訴追されるなかでの異常なやり方です。日本共産党の藤野保史議員は20日の衆院予算委員会で、検察庁法が現行憲法の司法権独立を鮮明にするために立法されたことを示し、「三権分立に関わる問題だ」「異常な解釈変更は許されない」と迫りました。



(写真)質問する藤野保史議員=20日、衆院予算委

藤野氏は、戦前の治安維持法による弾圧など人権侵害が相次いだ痛苦の歴史をふまえて憲法は司法権の独立を規定し、その仕組みをつくるために検察庁法が制定された経緯を、政府の過去の国会答弁などをあげて詳しく提示しました。検察官は刑事事

件で唯一公訴を提起する機関で公益の代表者とも言われる「職責の特殊性」があるからこそ、定年制度などは一般の国家公務員とは「おのずから扱いを別にすべき」とされてきたことも紹介し、「一般公務員の定年制度は適用しない、これが確固とした解釈だ」と強調。国公法の適用を認める解釈変更の異常さを批判しました。

森雅子法相は「検察官は司法権の行使と密接不可分で特殊性を持っている」と明言。一方で「行政機関の一員という身分もある」と国公法を適用して定年延長する解釈変更を正当化しました。

藤野氏は「職責の特殊性が変わらないならば、定年制も変えてはいけないのだ」と森法相の答弁の矛盾を指摘。異常な法解釈変更について「徹底的に真相究明していく」と表明しました。

東京高検検事長の定年延長 市民団体が抗議デモ

NHK2月20日 5時06分



東京高等検察庁の黒川弘務検事長の定年が延長されたことをめぐり、19日夜、市民グループが国会前で抗議デモを行いました。



19日夜6時半から国会議事堂の周辺で行われた抗議デモには、主催した市民グループの発表でおよそ1800人が集まりました。黒川検事長の定年は国家公務員法に基づいて延長されましたが、昭和56年の国会審議で人事院の担当者が「検察官にはすでに定年が定められており、国家公務員法上の定年制は適用されない」とした答弁との整合性が国会で問われました。

これに対し安倍総理大臣は、今月13日の衆議院本会議で「当時、検察庁法により適用除外されていると理解していたが、検察官も国家公務員であり、勤務延長に国家公務員法の規定が適用されると解釈することとした」と述べています。

デモに参加した人たちは国会議事堂に向けて「定年延長反対」などとシュプレヒコールを上げました。



参加した62歳の男性は「法解釈を1つの内閣が勝手に変えてしまうのは、法治国家のやり方ではない。検察人事の私物化は許されず、白紙に戻すしかない」と話していました。

また71歳の女性は「検事長を検事総長に据えることをねらった定

年延長はやってはいけないことだ。官邸に都合の悪い事件は闇に葬るという意味だと思う」と話していました。

「法の支配 根底から揺るがす」憲法学者ら検事長定年延長批判

NHK2020年2月21日 20時49分



東京高等検察庁の検事長の定年延長をめぐり、憲法学者などのグループが21日、都内で会見し「政権の都合で従来の法解釈を自由に変更してかまわないということでは、法の支配が根底から揺るがされる」とする抗議声明を発表しました。

東京高検の黒川検事長の定年は国家公務員法に基づいて延長されましたが、森法務大臣は国家公務員法に定年制が導入された当時とは、検察官の定年延長が可能とは解釈されていなかったものの、今回の政府の法解釈で可能になったという認識を示しています。

これについて、憲法学者や政治学者などで作る「立憲デモクラシーの会」が21日、都内で記者会見し抗議声明を発表しました。

声明では「権力の中核にある者の犯罪をも捜査の対象とする検察官の人事のルールは、国会の審議・決定を経ずして、単なる閣議決定で決められるべき事柄ではない」としたうえで、「ときの政権の都合で、従来の法解釈を自由に変更してかまわないということでは、政権の行動を枠にはめるべき法の支配が根底から揺るがされる」としています。

定年延長をめぐっては、人事院の給与局長が今月12日に、「検察官には国家公務員法の規定の適用は除外されていると理解し、同じ解釈を続けている」などと述べた答弁を、19日、「言い間違えた」などとして修正しています。

これについて、グループの共同代表で法政大学の山口二郎教授は、21日の会見で「法の安定的な解釈運用や公平な行政の実施に誇りを持っている行政官を、いわば力づくで屈服させたようなもので、ある種の暴力を感じる」と批判しました。

また、東京外国語大学の西谷修名誉教授は「あらゆる職務義務や倫理に反しても、政府がやっていることを正しいことにしなくてはいけないというのが、今の日本の政治状況だ」と話していました。

法務省「国家公務員法の規定が適用されると解するのが自然」

一方、東京高等検察庁の黒川検事長の定年延長をめぐって、法務省は「検察官の定年による退職は広くとらえれば、国家公務員法の『定年による退職』に包含される。検察官にも国家公務員法の規定が適用されると解するのが自然だ」などとする文書を国会に提出しています。

しんぶん赤旗 2020年2月22日(土)

検察定年延長 法の支配が揺らぐ 立憲デモクラシーの会声明

立憲主義の回復を目指す幅広い研究者でつくる立憲デモクラシーの会が21日、国会内で記者会見し、安倍内閣が法解釈を変えて東京高検検事長の定年を延長した問題について声明を発表

しました。

声明は、安倍政権が国家公務員法を根拠に東京高検の黒川弘務検事長の定年延長を可能としたのは、これまで検察庁法で認められていなかった検察官の定年延長を「解釈の変更」で可能とし、閣議決定したことによるものだと指摘。権力者の犯罪も捜査の対象とする検察官の人事のルールは「国政上の最重要事項の一つ」であり、「国会の審議・決定を経ずして、単なる閣議決定で決められるべき事柄ではない」と批判。「従来の法解釈を自由に変更してかまわないということでは、政権の行動に枠をはめるべき法の支配の根底が揺るがされる」と批判しています。

声明は、国家公務員法を根拠としても、延長が可能な場合を限定しており「閣議決定は人事院規則および国家公務員法に違反している」と主張。「法をないがしろにする現政権の態度があらわになった」と批判します。

会見で、石川健治東京大学教授は「(安倍政権によって)法秩序の連続性の崩壊が行われた。この政権の一貫した姿勢が表れている」と立憲主義破壊を批判しました。山口二郎法政大学教授は「法のねじ曲げはまかり通る。日本は法の支配の国ではない。前近代的専制国家に墮落したと言わざるを得ない」と主張しました。

会見には他に、長谷部恭男早稲田大学教授、高見勝利上智大学名誉教授、西谷修東京外国語大学名誉教授が出席しました。

定年延長問題 検察内部からも説明求める声「信頼疑われる」

NHK2020年2月21日 20時34分



東京高等検察庁の検事長の定年延長をめぐる全国の検察幹部が一同に集まる会議では現職の幹部から「検察への信頼が疑われる」などとして国民に経緯を説明すべきだという意見が出ました。法務省では21日まで2日間、稲田伸夫検事総長のほか東京高検の黒川弘務検事長など全国の高等検察庁の検事長や地方検察庁トップの検事正が一堂に集まる会議が開かれました。

会議は初日の冒頭を除いて非公開で行われましたが、関係者によりますと出席した検事正の1人が「不偏不党でやってきた検察への信頼が疑われる」などとして今回の定年延長について、法務・検察としての見解を問うとともに「国民に対して丁寧に説明すべきだ」という趣旨の発言をしたということです。

これに対して法務省の辻裕教事務次官は「定年延長は必要性があった」などと答えたということです。

この会議では通常、捜査や公判の課題などが話し合われますが、参加者した幹部から議題以外についての意見が出るのは異例です。

検察官定年、65歳に 法務省、自民に引き上げ案提示

時事通信 2020年02月22日 00時51分

法務省は21日、検事総長を除く検察官の定年を現行の63歳から65歳に段階的に引き上げる検察庁法改正案を、自民党の法務

部会などの合同会議に示した。政府は同法案を含む国家公務員定年延長関連法案を3月上旬にも閣議決定し、今国会に提出する方針だ。

検察庁法改正案は検察官の定年を2022年度に64歳、24年度に65歳とする内容。検事総長は現行の65歳のまま据え置き、検察官全体の定年年齢は一律となる。同法は他の国家公務員とは別に検察官の定年を定めている。

検察官定年、65歳に引き上げへ 自民に異論なし、野党反務

2020/2/21 22:44 (JST)2/21 22:51 (JST)updated 共同通信社

政府が検察官の定年を2024年度に65歳へ引き上げる方針であることが21日、分かった。検察庁法は、検事総長以外の検察官の定年を63歳と規定する。22年度から2年ごとに1歳ずつ上げ、検事総長は現行の65歳のままとする。

一般職の国家公務員の定年を引き上げる法案と共に3月上旬にも閣議決定し、今国会に提出する。一般職の国家公務員は22年度から2年ごとに1歳ずつ引き上げ、30年度に65歳とする。

政府は21日、自民党の内閣部会などの合同会議で関連法案を示した。検察官については、反対意見は出なかったという。

東京高検検事長の定年半年間延長に野党は反務を強めている。

自民女性議連が刑法要件見直しへ 性暴力裁判で無罪判決相次ぎ

NHK2020年2月21日 16時08分



性暴力をめぐる裁判で無罪判決が相次いだことから、自民党の女性議員グループは、有罪となる刑法の要件が厳しすぎるとして、見直しに向けて検討を始めました。

自民党の有志の女性議員で作る議員連盟は21日、性犯罪の被害者や専門家を招いて勉強会を開き、森法務大臣も出席しました。この中で共同代表を務める稲田幹事長代行は、去年、性暴力をめぐる裁判で無罪判決が相次いだことに触れ、「今の刑法は非常に厳しい要件になっており、不当な判決が出やすくなっているのではないかと。いろいろな観点から見直しを検討したい」と述べました。

また出席した議員などからは「現在は13歳未満となっている、被害者の同意の有無を問わずに犯罪が成立する年齢を引き上げるべきだ」という意見や、「時効の撤廃や延長を行う必要がある」といった指摘が出されました。

これに対し森大臣は「自分が大臣の間に、スピード感を持って、見直しの作業を進めたい」と述べたということです。

議員連盟では性暴力で有罪となる刑法の要件について、問題点を洗い出すなど、法律の見直しに向けて具体的な検討を急ぎ、早ければ来週にも森大臣に提言することとしています。

夫婦別姓は、導入されるか？

NHK2020年2月20日 17時15分



夫婦が希望すれば、結婚前の姓を名乗れる「選択的夫婦別姓」。長年、制度の導入が検討されてきたが、保守層の反対などで実現には至っていない。一方で、変化の兆しも出てきた。名字の在り方が変わるのか、議論の行方を探った。

(政治部・古垣弘人)

続きを読む

“ヤジ”で注目

「だったら結婚しなくていい」



先月 22 日の衆議院本会議で質問に立った国民民主党の玉木代表が、選択的夫婦別姓の導入を求めた際に、自民党の議員が飛ばしたとされるヤジだ。



野党側からは、「憲法で保障されている結婚の自由を否定し、時代に逆行する驚くべきヤジだ」といった批判が出るなど、この一件で、選択的夫婦別姓が、改めて注目を集めた。

予算委員会でも論戦が交わされるなど、議論が活発になっている。

「制度を導入して！」

今月 14 日には、制度の導入を求める市民団体が国会内で勉強会を開き、与野党の有志の議員およそ 40 人が参加。



結婚前の姓を名乗るため、婚姻届を出さない「事実婚」を選択した男女が声を上げた。

「思い入れのある名字を変更したくない」

「名字が変わると、キャリアが途切れることになる」



一方、「事実婚」のままだと、不都合なことも多いと訴えた。

「親がいまだに正式な夫婦と認めてくれない」

「延命治療などパートナーに対する重要な意思決定ができない可能性があり不安だ」

「不妊治療の助成が受けられない。法律婚の仲間に入れないのは苦しい」

「事実婚をしたくてしているわけではない。法律婚ができないから事実婚をしている」



そして、市民団体は、与野党の議員に対し、制度の導入に向けた法整備を要望した。

「容認」の声は増加

制度の導入を認める声は、広がりつつある。

内閣府が3年前に行った世論調査(2017年11月～12月男女5000人対象)で、選択的夫婦別姓の導入に必要な法改正を容認する人は42.5%。反対する人の29.3%を、およそ13ポイント上回った。



過去の調査とは調査対象が変わったため、単純に比較できないが、容認する人の割合は1996年の調査開始以来、最も高くなった。

また、夫婦や親子の姓が異なる場合、家族のきずなに「影響がない」と答えた人は64.3%。きずなが「弱まると思う」は31.5%だった。



抵抗感がある人も

ただ、別姓を容認するという人も、自分自身がすぐに別姓を名乗るかという、そうでもないようだ。

前述の調査で「選択的夫婦別姓の導入を容認する」と答えた人のうち、婚姻前の姓を名乗ることを希望する人は19.8%にとどまっている。希望しない人は47.4%で、その半分以下だった。



また、夫婦の姓が違くと、子どもにとって「好ましくない影響があると思う」と答えた人は62.6%で、「ないと思う」の32.4%のおよそ2倍となっている。



法務省 導入検討も実現せず

こうした世論を踏まえ、政府内では、選択的夫婦別姓の導入が検討されてきた。

法務大臣の諮問機関である法制審議会は、1996年に選択的夫婦別姓の導入を提言。これを受け、法務省はこの年と2010年に法案を準備し、国会への提出を目指した。



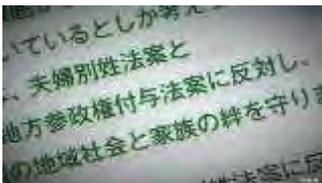
しかし、いずれも提出は見送られた。

伝統的な家族観を重んじる「保守層」などから反対意見が出されたためだ。

慎重な自民党

その「保守層」から支持を受ける自民党。

党内では、「家族のきずなが薄れるおそれがある」などという意見が根強く、これまで選択的夫婦別姓の導入には慎重な立場だった。特に、自民党が野党だった2010年の参議院選挙の公約には、夫婦別姓に「反対」と明記していた。



また、去年の参議院選挙の公約では、夫婦別姓に直接言及しなかった。

公示前日に日本記者クラブが主催した各党の党首らによる討論会では、選択的夫婦別姓に賛成なら挙手するよう求められたのに対し、安倍総理大臣だけが手を挙げなかった。



今月の衆議院予算委員会でも、安倍総理大臣は、「国民の中には夫婦の氏異なることにより、子への悪影響が生じることを懸念する方が相当数いるものと認識している。引き続き、国民各層の意見を幅広く聞くとともに、国会における議論の動向を注視しながら慎重に対応を検討したい」と述べている。

「家族が壊れる」

ではなぜ自民党内では、選択的夫婦別姓に反対する意見が根強いのか。

保守派として知られ、2009年に選択的夫婦別姓の導入に反対する請願を国会に出した山谷えり子・元国家公安委員長は、制度を導入すれば、伝統的な家族観が壊れるおそれがあると強調した。



「選択的と言えども、別姓を認めるとなると、家族のファミリーネームの廃止を意味し、家族のいろんな文化やきずなが壊れていくのではないかなと思う。ファミリーが個人個人に分断されていってしまうこととニアリーイコール(ほとんど同じ)になっていくんだと思う。家族観が変わってくる」

そして夫婦別姓を導入すれば、家族をめぐるさまざまな課題が出てくる可能性があるかと指摘した。



「別姓を認めると、結婚している夫婦なのか、事実婚なのか、恋人どうしなのかよく分からなくなる。結婚の価値がおとめられ、離婚のハードルも低くなるかもしれない。子どもの姓をどうするのかという問題も出てくる。お墓の問題、子どもの福祉、戸籍制度の在り方の視点からも難しい問題をはらんでいる」

変化の兆しも

しかしそんな自民党内にも、変化の兆しが見え始めた。

冒頭で取り上げた、制度導入を求める市民団体の勉強会には、立憲民主党の枝野代表など野党の党首らのほか、野田聖子 元総務大臣など4人の自民党の議員も参加し、「自民党内にも賛成する意見は多い」と訴えた。



第一子が誕生した小泉環境大臣も先月、選択的夫婦別姓について、「1人1人の価値観に基づき、生きやすい社会をつくりたい。日本では、選択肢を増やすことにすら抵抗があるが、選択肢があることは、私が考える社会像としては望ましい方向性だ」と述べ、導入に前向きな考えを示した。



さらに、保守派として知られる稲田幹事長代行も今月、選択的夫婦別姓について、「少子化が進む中で、家名を継ぐために、別姓を認めてほしいという人も出てきている。タブー視されてきた問題も議論することが重要ではないか」と述べた。



稲田氏が共同代表を務める、党の有志の女性議員で作る議員連盟では、来月上旬に制度の導入を求める市民団体を招き、要望を受けることにしている。

「通称使用拡大で対応を」

こうした動きに対し、山谷氏は、あくまで旧姓の通称使用の拡大で対応していくのが現実的な解決策ではないかと指摘した。



『ファミリーネームは必要なく、氏は個人に所属する』という考え方

を持つ人が時代の流れの中で出てきているのだらうと思うが、通称使用の拡大の工夫をさらにできる余地があるのに、今すぐに『えいや』とやってしまうと、社会の基礎単位の家族が難しい状態になっていくと思う。『通称を使用したい』という人たちが増えていることも事実なので、通称使用の拡大を現実的な解決策としてやっていくことがいいのではないかな

伝統か多様性か

夫婦が同じ姓を名乗る制度は、明治時代の1898年に施行された民法で、「夫婦は家を同じくすることにより、同じ氏を称する」とされたことに始まり、100年以上、続いている。

一方で、価値観の多様化や一人っ子の増加で、結婚前の姓をそのまま使い続けたいと望む人も増えている。夫婦同姓を法律で義務づけている国について、法務省は、国会で、「把握しているかぎり、わが国以外にはない」と答弁したこともある。

伝統的な家族観を維持していくのか。それとも多様性を認めていくのか。

2015年12月、最高裁判所は、夫婦別姓を認めない民法の規定について、憲法に違反しないとする初めての判断を示す一方、「制度の在り方は国会で論じられ、判断されるべきだ」と指摘した。多くの政党が選択的夫婦別姓の導入を掲げる中、自民党内で、守るべきとの声が根強い「伝統」と、起き始めた「変化」。議論の行方を注視していきたい。

共産・志位氏「連合政権へ大きな一歩」立憲への立場説明で

時事通信 2020年02月20日19時08分

共産党の志位和夫委員長は20日の記者会見で、天皇制などに関する党の立場を立憲民主党の枝野幸男代表に説明することで合意したことに関し、「(共産党に対する)不安や懸念の解消につながり、野党連合政権をつくっていく上で大きな一歩になる」との認識を示した。

志位氏は、社会主義と共産主義の実現について「急いでいない。国民の合意で進んでいくのがわれわれのプログラムだ」と強調。立憲などには、日米安全保障条約廃棄や自衛隊解消など4点について、連合政権には持ち込まないと伝える考えを示した。

共産・志位氏「野党連合政権へ大きな一歩」立民・枝野氏と会談

産経新聞 2020.2.20 20:58

共産党の志位和夫委員長は20日の記者会見で、立憲民主党の枝野幸男代表と19日に都内のホテルで会談し、共産党が綱領に掲げる日米安全保障条約の廃棄や自衛隊の解消、皇室制度への考え方、社会主義・共産主義に対する現在の考え方について説明したことを明らかにした。

共産党は立民や国民民主党など国会内外で連携する野党に連合政権の実現を呼びかけているが、日米安保条約廃棄などの不一致点がある。志位氏は会談で、不一致点について野党共闘に持ち込まない意向を伝えたという。志位氏は会談について「野党連合政権を作っていく上で大きな一歩だ」と評価した。今後、国民民主などにも説明していく方針だ。

会談は、志位氏が「野党連合政権への一歩を進める上での不一致点の問題をまず説明したい」と呼びかけ、枝野氏が「ぜひ、お

聞きたい」と応じ、実現した。立民の福山哲郎幹事長、共産の小池晃書記局長も同席した。

「首相答弁 整合性取れていない」枝野代表と志位委員長が会談 NHK2020年2月19日23時22分



立憲民主党の枝野代表と共産党の志位委員長が会談し「桜を見る会」の前日夜に開かれた懇親会をめぐる安倍総理大臣の国会答弁は、整合性が取れていないなどとして、今後も連携して追及する考えで一致しました。

立憲民主党の枝野代表と共産党の志位委員長は19日夜、都内のホテルで会談し、両党の幹事長と書記局長も同席しました。

この中で両氏は、「桜を見る会」の前日夜に開かれた懇親会や、東京高等検察庁の検事長の定年延長をめぐる安倍総理大臣や森法務大臣らの国会答弁は整合性が取れていないとして、今後も連携して追及する考えで一致しました。

また、新型コロナウイルスの感染拡大について水際対策やクルーズ船への対応をめぐる政府の問題点をただすとともに、さらなる情報の開示や財政措置を講じることなどを働きかける方針を確認しました。

枝野氏は会談のあと記者団に対し、「安倍政権はもはや政権としての体をなしていない。ほかの野党を含め、連携をしながら追及したい」と述べました。

志位氏は「安倍総理大臣や森法務大臣、人事院と安倍政権全体の答弁が破綻しているという認識で一致した」と述べました。

しんぶん赤旗 2020年2月20日(木)

新型肺炎「桜」追及 野党連携 共産 志位 立民 枝野氏 3点で合意 野党連合政権に向け 政策的不一致点の説明も



(写真)記者の質問にこたえる(左から)小池晃書記局長、志位和夫委員長、枝野幸男代表、福山哲郎幹事長＝19日、東京都千代田区

日本共産党の志位和夫委員長と立憲民主党の枝野幸男代表は19日夜、東京都内で会談し、直面する国政課題と野党連携などについて協議しました。日本共産党から小池晃書記局長、立憲民主党から福山哲郎幹事長が同席しました。両党党首会談は昨年12月15日以来。

会談では、(1)新型コロナウイルス対策について水際対策、クルーズ船の対応を含め、政府の問題点を今後も厳しくただしつつ、国民の命と健康を守るため感染拡大の防止、情報開示、すみやかに抜本的な財政措置の強化を政府に求めていく(2)「桜を見る会」、黒川弘務東京高検検事長の定年延長の問題については首

相と政府の答弁は完全に破綻をしており、徹底的にこの問題で追及の手を緩めない(3)野党連携についてはより今後とも強めていくこと、お互いのコミュニケーションを継続していくの3点で合意しました。

会談後の記者会見で志位委員長は次のように述べました。

「以上3点を合意しました。

そのうえで、私から野党連合政権に向けて歩みをすすめるためにも、政策的な一致点を広げるとともに、不一致点についてどう対応するか、4点を公式に各党に説明に行きたいと提案しました。

一つは、日米安保条約の問題、二つ目は自衛隊の問題、三つ目は天皇の制度の問題、最後は、社会主義・共産主義の問題です。

これらについて、わが党は独自の政策的・政治的立場を持っており、それを主張していきますが、共闘に持ち込まないと明らかにしており、そのことを公式に説明にうかがいたいということを提案いたしました。枝野代表からは、お受けいただけるとご返事がありました」

志位氏の発言をうけて枝野氏は「志位委員長からお話がありましたとおり、合意した3点について一致し、他の野党のみなさんを含めてしっかりと連携しながらやっていきたい」と表明。「志位委員長から、共産党さんのお立場、志位委員長の思いをいろいろうかがわせていただきました。まずは、相違点と受けとめられている点についてご説明を丁寧になさっていただけるといいので、しっかりとお聞かせいただきたいと思います」と述べました。

しんぶん赤旗 2020年2月22日(土)

野党連合政権 政策的不一致点の懸念解消へ努力 BS番組収録 志位委員長が表明

日本共産党の志位和夫委員長は21日、BS朝日番組の収録で、野党連合政権づくりの合意にむけて、日本共産党と各野党との間にある政治的・政策的な不一致点の4点((1)日米安保条約の問題(2)自衛隊の問題(3)天皇の制度の問題(4)社会主義・共産主義の問題)について、連合政権としてどう対応するかについての日本共産党の立場を公式に説明し、各党の不安や懸念を解消するために努力したいと表明しました。

19日に行われた志位氏と立憲民主党の枝野幸男代表との党首会談で、志位氏が不一致点についてどう対応するか公式の説明をしたいと提案し、枝野氏は「お聞かせいただきたいと思います」と返答しています。

この点について志位氏は、各党との話し合いを「また一歩すすめていけるのではないかと語り、「各野党のみなさん、国民のみなさんのなかに、共産党が参画する政権について懸念もあるだろうし、心配もあるでしょうから、『心配ないですよ』という話をしたい」と述べました。

その上で、「今後説明していくなかで、『不一致点をこう処理できますよ』と安心していただけたら、今度は一致点をさらにどう豊かにするか、という議論になる」と話し、野党連合政権の実現にむけて、議論をすすめる決意を語りました。

衆院選へ共通政策づくり議論加速 4野党、市民連合と確認

2020/2/19 19:19 (JST)共同通信社



「市民連合」との会合であいさ

つする立憲民主党の福山幹事長(左列奥)=19日午後、東京都千代田区

立憲民主など野党4党の幹事長、書記局長らは19日、安全保障関連法廃止を訴えるグループ「市民連合」と東京都内で会合を開き、次期衆院選に向けて共通政策づくりの議論を加速させる方針を確認した。会合開催は昨年11月以来。

立民の福山哲郎幹事長は「安倍政権に代わる選択肢を提示する責任がある。行動に移し、うねりをつくる段階に来ている」と強調。4党が競合しない小選挙区については、協力して選挙準備を始めることも提案した。会合後、記者団には「選挙はいつあるかわからない。速度を上げなければいけない」と語った。

参加したのは立民、国民、共産、社民の4党。

しんぶん赤旗 2020年2月20日(木)

新しい政権つくる決意を 野党と市民連合 意見交換会



(写真)市民連合と野党の意見

交換会=19日、東京都千代田区

安保法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合と、日本共産党、立憲民主党、国民民主党、社民党、衆院会派「社会保障を立て直す国民会議」の4野党1会派の書記局長・幹事長は19日、東京都千代田区の星陵会館で意見交換し、次期衆院選に向け選挙協力と政権構想に向けた具体化を開始することを議論しました。市民連合はれいわ新選組にも参加を呼びかけたものの、日程調整がつかず欠席と報告されました。

市民連合から、山口二郎法政大学教授が安倍首相による「桜を見る会」私物化問題と新型肺炎の対応をあげて「安倍政権の能力と誠実さの欠如が日本の危機を広げている」と指摘。総選挙に向けて小選挙区候補者の一本化の方向性を示すとともに、「新しい政権をともにつくる決意を明確にしてほしい。そこがスタートラインだ」と提起。広渡清吾東大名誉教授は総選挙に向け「議論の段階ではなく、具体的な準備の時期だ」と強調し、「安倍政権を継続させることが日本の民主主義を破壊するという危機感をどれだけ共有するかが重要だ」と述べました。

日本共産党の小池晃書記局長は、山口氏の発言はその通りだと述べ、「新しい政権をともにつくる合意を明確にすることが決定的に重要だ」と強調。安倍首相によるその連続によってつくられた政治不信が低投票率の原因だと指摘し、「野党の姿勢が問われている。政治を変える本気度が伝わる共闘に発展させることが求められている」と述べました。そのうえで「政権合意で腹が固まれば、最大限の選挙協力ができる。しかしあいまいにこしたままでは

前になかなか進めない」と表明しました。

立憲民主党の福山哲郎幹事長は「安倍政権打倒」で市民が声をあげる場を市民と野党がつくり、昨年の参院選での13項目の共通政策の「ブラッシュアップ(磨き上げ)」が必要だといい、野党側の問題として「どう政権構想なり政策構想を共有化するか」が課題だと述べました。国民民主党の平野博文幹事長の代理の小宮山泰子総務副会長は安倍政権打倒に向け「野党の側が問われている。小池書記局長の言う通りだ」と発言。社民党の吉川元幹事長と、社保の玄葉光一郎幹事長の代理の重徳和彦政調会長がそれぞれ政権交代の決意を語りました。

山口氏は13項目のブラッシュアップをしていきたいと表明し、「野党と危機感を共有できた。選挙協力や政権構想に向けて具体的に動き出すことで合意できた」と述べました。

れいわ、首都圏に7人擁立発表 次期衆院選

産経新聞 2020.2.17 16:41

れいわ新選組の山本太郎代表は17日、党本部で記者会見し、次期衆院選の第1次公認候補のうち東京、千葉、埼玉の3都県の7人を発表した。山本氏は「消費税率5%の旗を立てられるなら野党共闘に参加する。そうでない場合は独自でやる以外ない」と述べ、立憲民主党などが「5%」を共通政策として採用しない限り、野党分裂となっても擁立を貫く方針を強調した。

7人の内訳は元職2人、新人5人で、元職はいずれも旧民主党などで活動歴がある。7選挙区のうち2選挙区では立民、国民の現職と競合する。

れいわは今回の7人を含む13人を第1次公認候補と位置付けており、残る6人は順次、各選挙区で記者会見して発表するという。内訳は北海道、近畿、中国、九州が各1人、東海が2人で、北海道は2人に増える可能性があるとしている。

山本氏は記者会見で、野党合流の破談に関して「民主党の復活にわくわくする人がどれくらいいるか。50%の投票を捨てた(棄権した)人々をもう一度、投票所に来てもらうことを考えるなら、魅力的で誰もがピンとくる政策を掲げる以外にない」と語り、消費税率5%の意義を強調した。

◇

この日、発表された候補者は以下の通り。

【東京】北村造(2区、新) 辻村千尋(8区、新) 渡辺照子(10区、新) 榎渕万里(22区、元) 【埼玉】田島剛(2区、新) 【千葉】太田和美(8区、元) 三井義文(9区、新)

＝敬称略

籠池被告が保釈 判決と検察批判―「森友」事件

時事通信 2020年02月21日 21時46分



保釈され、報道陣の取材に応じる籠池泰典被告(右)

と、迎えに訪れた諄子被告＝21日午後、大阪市都島区

学校法人森友学園をめぐる国、大阪府、大阪市の補助金計約1億7000万円を詐取したとして、詐欺罪などで実刑判決を受けた前理事長籠池泰典被告(67)について、大阪高裁(岩倉広修裁

判長)は21日、保釈決定に対する検察側の抗告を棄却した。保釈保証金1200万円は納付済みで、籠池被告は同日夜、保釈された。

午後8時ごろ、大阪拘置所から姿を現した籠池被告は黒のスーツにダウンジャケット姿。「国策捜査、国策留置、国策勾留というまさにその筋書きに沿ったものだ」と判決を批判した。一部無罪とされた妻諄子被告(63)について「無実の者を立件した検察は謝罪する必要がある」と非難した。

森友学園、籠池被告を保釈 「もちろん控訴する」

日経新聞 2020/2/21 21:07

小学校建設を巡り国や大阪府、大阪市の補助金計約1億7千万円をだまし取ったとして詐欺などの罪で懲役5年の実刑判決を受け、大阪拘置所に収容された学校法人「森友学園」の前理事長、籠池泰典被告(67)が21日、保釈された。拘置所前で報道陣の取材に応じ「ほっとした。もちろん控訴し、最高裁まで闘う」と述べた。被告は19日の大阪地裁判決後に拘置所に収容された。被告側の申請を受け大阪地裁は20日、保釈を認める決定をしたが、大阪地検が不服とし抗告。大阪高裁(岩倉広修裁判長)は21日、抗告を棄却し、再び保釈が認められた。

地裁判決は、国の補助金詐取に関し、泰典被告と妻の諄子被告(63)らが出席した会議で虚偽の契約書作成が了承されたとし、泰典被告が犯行の中心的な立場にあったと指摘。泰典被告を懲役5年、諄子被告は一部無罪とした上で懲役3年、執行猶予5年とした。〔共同〕

野党が新型肺炎で国会休戦論 与党「遅延戦術」と批判

時事通信 2020年02月21日 18時40分

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、野党から21日、国会の休戦論が上がった。クルーズ船で感染した厚生労働省職員が橋本岳副大臣らと接触したとして「国会が感染源になってはならない」と主張。これに対し、月内の2020年度予算案の衆院通過を目指す与党は「遅延戦術だ」と批判した。

立憲民主党の安住淳国対委員長は21日、自民党の森山裕国対委員長と会談。加藤勝信厚労相や橋本氏らの感染の有無を早急に検査するよう要求した。安住氏は記者団に「陽性になったら国会審議を続けることは許されない」とし、国民民主党の原口一博国対委員長は「国会の一時休会も議論しなければならない」と語った。

自民党幹部は「審議先延ばしが目的なら稚拙だ」と指摘。公明党幹部は「国会が仕事を放棄したと言われる」と述べた。菅義偉官房長官は記者会見で「橋本氏らは濃厚接触者に該当しない」と、検査に消極的な考えを示した。

イベント開催「主催者検討を」 新型肺炎、一律自粛は求めず 厚労省

時事通信 2020年02月20日 20時48分



記者会見し、イベント開催の必要性を改めて検討するよ

う呼び掛ける加藤勝信厚生労働相＝20日午後、厚労省

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、加藤勝信厚生労働相は20日、国内で予定されている大規模イベントなどについて、開催の必要性を改めて検討するよう主催者に求めた。一律の自粛要請はせず、あくまで主催者の判断とした上で、イベントを開く場合は感染拡大の防止策を講じるよう要請した。

厚労省は、個々人の距離が十分に取れない屋内に一定時間とどまることは、感染リスクを高めると指摘。開催の可否を検討する際は、感染の広がりや会場の状況などを踏まえるよう呼び掛けた。

イベント開催の自粛は求めなかったが、感染拡大など国内の状況が変わった場合は改めて方針を示す。開催する場合は、手洗いの推奨やアルコール消毒薬の設置、風邪の症状がある人に参加しないよう依頼するなど、具体的な対策を取るよう求めた。

新型コロナウイルス対策 与党“予備費活用” 野党“予算案組み替え”

NHK2020年2月23日 12時16分



新型コロナウイルスの感染拡大を受け、NHKの「日曜討論」で、与党側は予備費の活用や新年度予算案を成立させて経済対策を行う必要があると強調しました。一方、野党側は対策が不十分だとして予算案の組み替えを求める考えを示しました。

自民党の岸田政務調査会長は「今年度の予備費が2700億円ほどあり、医療体制と経済対策の充実の両面で対策を打ち出していないといけない。新しい経済対策を実行することも重要で、裏付けとなる新年度予算案を成立させることが大事だ。学校や職場などで感染が確認された場合、どう対応するのか、政府が情報提供し、基本的な考え方を示しておくことが大事ではないか」と述べました。

公明党の石田政務調査会長は「政府の対応は事態が沈静化したあとに検証すべきで、今やらないといけないのは感染拡大と重症化の予防だ。予算委員会でもアメリカのCDC＝疾病対策センターにならった組織が必要だと申し上げたが、全国的な組織が必要だ」と述べました。

立憲民主党の逢坂政務調査会長は「感染者の状況について、どこで、誰と接触してどうなったかがトレースできない段階に入っており、診療体制を相当、拡充しなければならぬ。政府の予算措置は非常に小ぶりで認識が過小という印象だ。野党は共同で予算案の組み替えを提案したい」と述べました。

国民民主党の泉政務調査会長は「クルーズ船や当初の水際の対応は残念ながら成功とは言えない状況だ。新年度予算案に新型コロナウイルス対策の予算も盛り込んでいただきたい。われわれは予算案の組み替えを提案していくので、真摯(しんし)に臨んでほしい」と述べました。

日本維新の会の浅田政務調査会長は「クルーズ船への最善の対応は日本への入港を拒否することだった。旗国主義に基づいてイギリスの法律に従い、そこに自衛隊が救出に行くのが最善のシナリオだった」と述べました。共産党の田村政策委員長は「専門家を集めた会議で、安倍総理大臣は最初の3分間で退席し、大臣の

欠席も相次いだ。姿勢が問われており、即刻、改めていただきたい。問題があったと認め検証することが必要だ」と述べました。

自民党大会、異例の延期 新型肺炎直撃、阪神大震災以来

時事通信 2020年02月21日 17時22分

自民党は21日、来月8日に予定していた党大会の延期を決めた。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐ観点から自粛が望ましいと判断した。党大会延期は異例で、阪神大震災が発生した1995年以来。

新たな日程は未定で、事態の推移を見ながら慎重に判断する。党幹部は「収まれば可及的速やかに開く」と説明した。党大会は3000人規模で東京都内のホテルで開く計画だった。95年は1月に予定していた大会が3月に延びた。

党大会で採択予定だった2020年運動方針案は21日の総務会です承された。3月中に党大会に代わる両院議員総会を開いて正式決定することも決まった。

3月15日に予定される故中曽根康弘元首相の内閣・自民党合同葬も先送りを検討する。党幹部は「延期せざるを得ない」と指摘。菅義偉官房長官は記者会見で「参加者の規模などを勘案しつつ感染症予防の観点から現在検討中だ」と述べた。

自民、党大会を延期 新型肺炎で自粛

時事通信 2020年02月21日 15時29分



自民党大会運営委員会に臨む二階俊博幹事長(中央)ら＝21日午前、国会内

自民党は21日午前、新型コロナウイルスの感染拡大を受け、3月8日に予定していた党大会の延期を決めた。大規模集会は当面自粛が望ましいと判断した。期限は定めず、党幹部は「状況が落ち着けば、可及的速やかに党大会を開く」と述べた。

党大会の準備に当たる運営委員会(委員長・二階俊博幹事長)で延期方針を確認し、直後の総務会です承された。党大会は東京都内のホテルで3000人規模で開き、2020年運動方針を採択する予定だった。党大会前日に予定していた全国幹事長会議も取りやめる。同党は近く両院議員総会を開き、運動方針を決定する。

自民党大会の延期は異例で、直前に阪神大震災が発生した1995年以来。同年は当初1月に予定していたのを3月に延ばした。

維新、3月の党大会中止 社民は今週末開催

時事通信 2020年02月20日 18時53分

日本維新の会の松井一郎代表(大阪市長)は20日の記者会見で、3月22日の党大会を中止すると明らかにした。新型コロナウイルスの感染拡大が理由。松井氏は「特定多数が集まる形になる。中止と判断した」と述べた。

一方、社民党は22、23両日で党大会を開催し、全国から約200人が出席する。吉川元幹事長は記者会見で「できる限り時間の短縮を図りながら必要な議論は行う」と話した。

立憲「共産との合意を」 国民「支援決定が先」 野党一本化にズレ 衆院補選・静岡4区

毎日新聞 2020年2月21日 15時12分(最終更新 2月21日 15時12分)



立憲民主党静岡県連の常任幹事会であいさつする佐々木隆博代表(中央)＝静岡市駿河区で 2020年2月19日、古川幸奈撮影

自民党の望月義夫衆院議員の死去に伴う4月の衆院静岡4区補欠選挙について、立憲民主党県連代表の佐々木隆博衆院議員は19日、党常任幹事会後の記者会見で、野党統一候補の決定にはまず国民民主党と共産党の合意が必要との認識を示した。国民民主党県連は、立憲民主が野党統一候補として元東京都議の新人、田中健氏(42)の支援を組織決定することが最優先との立場で、認識の違いが浮き彫りになった。

佐々木代表は記者会見で、1月下旬に統一候補の条件として「他党の了解が得られること」を国民側に示し、共産党と話し合うよう求めたと説明した。「国民からできるだけ早くちゃんとした返事をもらいたい。何も報告がない中で動きようがない」と述べた。

国民県連は3月7日の県連大会までに、野党統一候補として田中氏の推薦決定を目指すとしている。立憲の枝野幸男代表は「既に候補者の名前を挙げている各党が調整し、一本化した方を応援したい」との認識を示しているが、佐々木代表は国民と共産の協議が決裂した場合、独自候補擁立の選択肢も残っているとした。

静岡4区補選には田中氏の他に、自民党県議の新人、深沢陽一氏(43)▽共産党中央委員の元職、島津幸広氏(63)▽NHKから国民を守る党党首の新人、立花孝志氏(52)――が立候補を表明している。【古川幸奈】

社民党首に福島氏再登板 合流慎重派、問われる指導力

時事通信 2020年02月22日 17時46分



社民党定期党大会で新党首に選出された福島瑞穂氏＝22日午後、東京都千代田区

社民党の定期党大会が22日、東京都内で開かれ、新たな党首に福島瑞穂氏(64)が選出された。2003～13年に党首を務めており、再登板となる。任期は2年。福島氏は立憲民主党との合流に慎重な立場。党勢が長期に低迷する中、指導力が問われる。

党大会では又市征治党首の任期満了に伴う党首選が行われ、福島氏が無投票で選ばれた。福島氏は記者団に対し、「社民党を躍進させ、国民のために働いていきたい」と意気込みを語った。立憲との合流に関しては「党員の意見をしっかり聞いていく」と述べるにとどめた。

社民党首に福島瑞穂氏 無投票で党内対立回避

2020/2/23 00:41 (JST)共同通信社



社民党の党大会で新党首に選出された

福島瑞穂氏(中央)＝22日午後、東京都千代田区

社民党は22日、東京都内で党大会を開いた。又市征治党首(75)の任期満了に伴う党首選が公示され、福島瑞穂副党首(64)が無投票で新党首に選出された。党内には立憲民主党との合流を巡って賛否両論があり、党内対立の表面化を避けるため、福島氏に一本化した形だ。

又市氏は党大会で、合流について「深掘りして議論を継続してほしい。一致結束して党として当たりたい」と要請した。

執行部は当初、党大会で合流の是非を決める方針だったが、地方から「拙速だ」などの異論が出て判断を先送りした。党大会では合流に関し「全党のさらなる積極的な議論をお願いする」との議案を提起した。



社民党の福島瑞穂副党首

社民党、福島瑞穂氏が党首復帰 立憲への合流は慎重姿勢

朝日新聞デジタル 今野忍 2020年2月22日 18時34分



党大会で新党首に選出された福島

瑞穂氏(中央)＝2020年2月22日午後3時35分、東京都千代田区永田町、今野忍撮影

社民党は22日、東京都内で党大会を開き、新党首に福島瑞穂参院議員(64)を選出した。福島氏は2003年から13年まで党首を務め、今回7年ぶりの復帰となった。福島氏は立憲民主党が呼びかけている政党合流に慎重姿勢で、党首の交代が野党結集の動きに影響する可能性もある。

党大会2日目の23日に正式に就任する。又市征治党首の任期満了に伴い、党大会で代議員による党首選を実施し、福島氏以外に立候補がなかった。又市氏や吉田忠智元党首も立候補を模索したが、党内対立を回避するため、知名度の高い福島氏への一本化で一致した。

福島氏は新党首に選出された後、記者団に「社民党が大事で、政治を変えなければならないという思いから立候補した」と話した。立憲との合流協議については「地方の皆さんの声をしっかり聞いていく」と語った。

又市氏や吉田氏らは、立憲との…
残り:249文字/全文:603文字

社民、立憲との合流協議継続 党大会 慎重派・福島新党首「い

つとは言えない」

毎日新聞 2020年2月23日 18時41分(最終更新 2月23日 18時42分)



社民党の福島瑞穂氏＝川田雅浩撮影

社民党は23日、東京都内で党大会を開き、立憲民主党から呼びかけられた合流協議を継続するとして方針を採択し、2日間の日程を終えた。幹事長レベルで協議を続ける方針だ。ただ、又市征治前党首は合流に前向きだったが、福島瑞穂新党首は消極的で、立憲との協議に影響を与える可能性がある。

前日の党大会で福島党首が選出されたのに続き、この日は吉田忠智元党首(参院比例代表)が幹事長に選任された。又市氏は党顧問に就任した。

福島氏は記者会見で「党大会を通じ、党員がいかに社民党を大事に思っているかを痛感した。雇用問題などに取り組み、党を大きく躍進させていきたい」と党勢拡大に意欲を見せた。一方、地方議員らに反対意見が多い立憲との合流は「党は党員のものなので、党員の声をしっかり聞いていきたい。(結論を出す)時期がいつとは言えない」と慎重論を繰り返した。

立憲などの統一会派の重鎮は「福島氏は合流反対の強硬派だ。これで合流はなくなった」との見方を示した。【浜中慎哉】

社民、立民と合流協議継続を確認 党大会で

日経新聞 2020/2/23 18:00

社民党は23日、東京都内で開いた党大会で、立憲民主党との合流協議継続を盛り込んだ議案を採択した。福島瑞穂党首は記者会見で「議案は通ったが、新党首として地方の声をしっかり聞いていく」と述べ、慎重に党内議論を進める考えを強調した。党大会では地方組織から合流反対論が多く出された。

幹事長に吉田忠智氏、副党首に吉川元氏が就く役員体制も承認された。合流に前向きだった又市征治前党首は顧問に退く。

福島氏は会見で、立民との協議について「幹事長レベルで党員が不安に思っていることを詰めていく」と説明。低迷する党勢の回復に関しては「各地で集会をやり、一緒に運動する仲間を増やしたい」と語った。

党大会では、地方の参加者から「打倒安倍政権の方向性は立民と同じだ。合流はやむを得ない」「きっぱりと諦めるべきだ」などの賛否両論が出た。又市氏は「勇ましい言葉は出るが、国政政党として本当に存続できるのか」と重ねて危機感を訴えた。

党大会は22日から2日間の日程で開かれた。

【共同】

社民党首に福島氏再登板 党大会、合流反対論相次ぐ

日経新聞 2020/2/22 17:19

社民党は22日、都内で党大会を開いた。又市征治党首の任期満了に伴う党首選が公示され、福島瑞穂副党首が無投票で選出された。福島氏は参院当選4回。2003～13年に党首を務めた。



社民党党首に選出された福島氏(22日、都内)

党内は立憲民主党との合流で賛否が割れている。又市氏は「深掘りして議論を継続してほしい」と求めた。地方組織からは「党単独での存続を目指すべきだ」など反対意見が相次いだ。吉川元・幹事長が「党を残したいという希望のみでは存続は難しい」などと説明すると、会場内からヤジが飛び、騒然となる場面もあった。



福島氏を党首に選出した社民党大会

(22日、都内)

福島氏は党首選出後、記者団に「社民党が大事だと党員も思っている」と指摘。合流協議に関しては「党員の意見を聞いていきたい」と述べた。

福島氏、慎重に合流議論 社民、立民と協議は継続

産経新聞 2020.2.23 16:42

社民党は23日、東京都内で開いた党大会で、立憲民主党との合流協議継続を盛り込んだ議案を採択した。福島瑞穂党首は記者会見で「議案は通ったが、新党首として地方の声をしっかり聞いていく」と述べ、慎重に党内議論を進める考えを強調した。党大会では地方組織から合流反対論が多く出された。

幹事長に吉田忠智氏、副党首に吉川元(はじめ)氏が就く役員体制も承認された。合流に前向きだった又市征治前党首は顧問に退く。

福島氏は会見で、立民との協議について「幹事長レベルで党員が不安に思っていることを詰めていく」と説明。低迷する党勢の回復に関しては「各地で集会をやり、一緒に運動する仲間を増やしたい」と語った。

社民 福島党首 立民との合流は慎重に判断する考え

NHK2020年2月23日 15時23分



立憲民主党との合流について、社民党は党大会で党内議論を継続するとして議案を採択し、福島党首は、地方組織の意見を尊重して慎重に判断する考えを示しました。

社民党は22日から都内で党大会を開いていて、最終日の23日は、立憲民主党との合流をめぐる意見が交わされました。

地方組織の代表からは「合流した場合、党の理念や政策は堅持できるのか」とか「立憲民主党とは安全保障政策が異なるのではないのか」といった合流に慎重な意見が相次ぎました。

そして、立憲民主党と政策の扱いなどを協議しながら党内議論を

継続し、最終的には臨時の党大会を開いて、その是非を判断するとして議案を採択しました。

このあと、福島党首のもとで新執行部が発足し、幹事長に吉田元党首が、政策審議会長兼国会対策委員長に吉川前幹事長が就任しました。

福島氏は記者会見で、立憲民主党との合流について、「地方組織の話をとにかくしっかり聞きたい。党は党员のものであり、話を聞いて知恵を出したい」と述べ、地方組織の意見を尊重して慎重に判断する考えを示しました。

JNN2月22日18時25分

社民党大会、福島みずほ氏 再び党首に選出

社民党は22日、党大会を開き、参議院議員の福島みずほ副党首が再び党首に選ばれました。

「新党首に福島みずほさんが選出されました」

党大会では又市党首の任期満了に伴う党首選が行われ、福島氏が無投票で新党首に選ばれました。福島氏は2003年から13年まで党首を務め、今回、再登板となります。

社民党は立憲民主党との合流について、この党大会で方針を決める予定でしたが、地方組織から慎重論が出て、判断を先送りしました。

「地方、党员、あるいは党外の、みなさんの意見をしっかり聞いていきたいと考えています」(社民党党首に選出された 福島みずほ副党首)

福島氏は合流についてこのように述べるにとどめました。党内は合流に賛否両論ですが、執行部は今後、幹事長クラスで協議を本格化させる方針です。

合流協議「粘り強く」 玉木氏、れいわに秋波—国民民主大会

時事通信 2020年02月22日17時41分



定期党大会で氣勢を上げる国民民主の玉木雄一郎代表(中央右)ら=22日午後、東京都千代田区

国民民主党は22日、定期党大会を党本部で開き、先送りされた立憲民主党との合流について「協議を粘り強く継続していく」とする2020年度活動方針を採択した。玉木雄一郎代表は消費税減税に言及し、これを掲げるれいわ新選組との連携に期待感をにじませた。

大会で玉木氏は次期衆院選に向け「国民民主の理念、基本政策を堅持しつつ最大限の協力を野党間で行う」と強調。選挙をにらんで執行部人事を行う考えを示した。また、「近い将来、必ずや政権の一翼を担おう」と述べ、党勢低迷からの脱却や党内の結束を訴えた。

国民民主、衆院選へ全資源投入 党大会、提案路線アピール

2020/2/22 17:25 (JST)2/22 17:29 (JST)updated 共同通信社



国民民主の党大会で氣勢を上げる玉木代表(前列左から3人目)ら=22日午後、東京・永田町の党本部

国民民主党は22日、党大会を党本部で開き、次期衆院選に向けて「党が有する全ての資源を投入して勝利し、新しい政治をスタートさせる」と掲げた2020年度活動方針を採択した。政権批判だけでなく、経済政策などで提案路線をとる「改革中道政党」をアピールし、党勢拡大の活路を見いだしたい考えだ。玉木雄一郎代表は演説し「近い将来、必ずや政権の一翼を担おう」と訴えた。

玉木氏は大会後の記者会見で、日本経済について「リーマン・ショック級の危機の入り口にある」として、所得税や消費税を対象に10兆円規模の減税策を検討する考えを表明した。

国民民主が党大会 「次期衆院選に勝利を」

2020/2/22 13:25 (JST 共同通信社)



国民民主の党大会に臨む玉木代表=22日午後、東京・永田町の党本部

国民民主党は22日、党大会を党本部で開いた。次期衆院選に向け「党が有する全ての資源を投入して勝利し、2020年を新しい政治をスタートさせる年としなければならない」と掲げた活動方針を採択する。大会に先立つ全代議員会議で玉木雄一郎代表は「国民のために何ができるかとの視点で、力を合わせ、心を合わせることができる大会としたい」と述べた。

活動方針には、立憲民主党との合流が当面見送りとなったことを踏まえ「合流に向けて協議を粘り強く継続する」と盛り込んだ。

党大会は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、出席対象者を当初の約500人から約100人に縮小した。

国民、立憲との合流協議を「粘り強く継続」 党大会で方針採択

毎日新聞 2020年2月22日19時00分(最終更新2月22日19時01分)



衆院本会議で代表質問をする国民民主の玉木雄一郎代表=国会内で2020年1月22日午後2時54分、川田雅浩撮影

国民民主党は22日、党本部で党大会を開き、2020年度活動方針を採択した。立憲民主党との合流について「協議を粘り強く継続する」との方針を盛り込んだ。ただ、協議は1月に事実上破談になっており、立憲が再開に応じるかは不明だ。

玉木雄一郎代表は大会後の記者会見で「党の理念、基本政策を堅持しつつ、最大限の協力を野党間で行っていく」と表明した。次期衆院選を見据えて執行部を刷新するほか、代表直属の組織を新設し、10兆円規模の家計分野の減税を検討する考えも示した。

党大会は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、規模を縮小して開催した。【東久保逸夫】

「家計第一」10兆円減税訴え 国民民主が党大会 春に人事刷新

産経新聞 2020.2.22 17:16

国民民主党は22日、東京都内で定期党大会を開き、次期衆院選に向けた今年度の活動方針を承認した。大会後、記者会見した玉木雄一郎代表は「家計第一」の経済政策として「10兆円規模の家計減税」を柱に据える考えを表明。さらに4月以降、党役員人事を刷新する方針を示した。

玉木氏は減税について「やり方の1つは所得税減税、もう1つは消費税減税だ」と指摘。代表直属の「ポリシーユニット」を設け、税目など詳細の検討を始めるとした。「時限を区切ってもいいが、10兆円規模の消費税減税なら税率で4～5%になる」とも語った。

党人事については「(令和2年度)予算が成立し、国会論戦も新しい段階に入れば考えたい。全体をよく見ながら、より一体感の出る態勢を築き、衆院選に備えたい」と語った。

大会で玉木氏は、破談となった立憲民主党との政党合流について「粘り強く協議を継続していく」と表明。さらに「大切なのは選挙で1人でも多くが勝利できる環境作りだ。そのために何がベストか、あらゆる選択肢を模索する」と強調した。

党大会は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、当初予定のホテルから党本部に会場を移し、規模も縮小して行われた。

国民が党大会 玉木代表「安倍政権 限界が近づいている」

NHK2020年2月22日 16時46分



国民民主党の党大会が開かれ、玉木代表は「安倍政権は長期政権の緩みが際立ち、限界が近づいている」と批判したうえで、理念と基本政策を堅持しながら、ほかの野党と最大限の協力を図り、政権奪取を目指す決意を強調しました。

国民民主党は22日、党本部で党大会を開き、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、出席者を国会議員と地方組織の代表などに絞り、来賓のあいさつはビデオメッセージで紹介するといった対応がとられました。

玉木代表はスピーチの中で安倍政権について、「おごりや長期政権の緩みが際立っている。政策的にも行き詰まりつつあり、限界が近づいている」と批判しました。

そのうえで、「安倍政権に代わる信頼できる政権の受け皿を作り上げなければならない。衆議院選挙に向けて、野党の大きなかたまりを作り、理念、基本政策を堅持しながら最大限の協力を図る。近い将来、必ずや政権の一翼を担う」と述べ、ほかの野党と連携し、政権奪取を目指す決意を強調しました。

また、「党の運営体制を含めた執行部の再構築を図る」と述べ、党の活性化に向けて、今後、役員人事を行う考えを示しました。

このあと、党大会では「穏健保守からリベラルまでを包摂する改革中道政党として、単に批判や反対にとどまらず、現実的な提案によって国民生活を一步でも前に進める」という党の立場を改めて盛り込んだ活動方針を決定しました。

JNN2月22日17時14分

国民民主党 党大会、野党結集が暗礁 難しいかじ取り

立憲民主党との合流協議が事実上破談となり、延期された国民民主党の党大会が開かれました。合流推進派と反対派の中で執行部は難しいかじ取りを迫られています。市澤記者の報告です。

「政権奪取に向けて、力を合わせて頑張ろう！」

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、規模を縮小して開かれた国民民主党の党大会。玉木代表は次の衆院選を見据え「全ての資源を投入する」と強調し、新型コロナウイルス対策としての予算の組み替え動議や10兆円規模の減税など政策をアピールしました。

また執行部を「再構築」するとして、代表直属の「ポリシーユニット」を新設するなど、党内での存在感の強化にも躍起になっています。

「より一体感の出る体制を築き、きたるべき衆議院選挙に備えていきたい」(国民民主党 玉木雄一郎代表)

ただ肝心の野党勢力結集に向けた立憲民主党との合流協議は暗礁に乗り上げたままです。22日発表した活動方針では「粘り強く協議を継続していく」としましたが、合流を推進した中堅・若手は不満を募らせ、党内が事実上二分されている状況は変わっていません。

ある中堅議員は「コロナウイルス問題が広がりを見せるなか、政局的な動きはできない」と沈黙を保っていて、野党再編に向けた動きは一時の勢いは見られません。

立憲民主党内からは「党同士の合流はもうないだろう」との冷やかな声も聞かれます。玉木氏の掲げる路線がさらに支持を得られるのか、これから問われることとなります。

唐揚げ・中華…、ハンスト中にきた写真 県民投票1年

朝日新聞デジタル聞き手・伊藤和行 2020年2月21日 23時00分



沖縄県宜野湾市役所前でハンガーストライキを続ける元山仁士郎さん=2019年1月17日



米軍普天間飛行場(沖縄県宜野湾市)の移設計画に伴う名護市辺野古の埋め立てをめぐる、「反対」が7割を超えた県民投票から24日で1年。それでも国が工事を続ける現状について、県民投票実現に向けた運動の中心だった大学院生、元山仁士郎さん(28)に聞いた。

——元山さんは現在、東京に住んでいます。県民投票後、本土の世論に変化を感じますか。

この1年、北海道から鹿児島まで60回ほど講演し、沖縄に関心を持ち行動してくれる人がいることは確認できている。県民投票をやって沖縄県外の関心は少しは高まっている。ただ、自分の言葉

が本当に伝わっているのか、との気持ちは正直ある。伝えたところで何をしてくれるのか、というも。

県民投票は、県民投票条例制定の直接請求に必要な有効署名9万2848筆を集め、実現しました。途中、宜野湾など5市長が「実施せず」と表明。元山さんのハンガーストライキを挟み、実施されました。

でも、自分も東京で過ごしていると(県民投票を)忘れそうになる時がある。やっぱり沖縄を遠く感じてしまう。

——県民投票後も工事が続く現状をどう考えていますか。

沖縄の民意は重んじられず、政治が行われている。秋田県への(陸上配備型迎撃ミサイルシステム)イージス・アショア配備は、地元の反対を理由の一つとして(政府内で)見直し論も出るが、沖縄では県民投票の結果や軟弱地盤の問題もあるのに工事が進められる。この政治のあり方に、ものすごく違和感を覚える。

——1年前の投票日。東京のテレビ局から「政府が結果を無視して工事を進めたらどうする」と問われ「あなたたちはどうしますか」と問い返しました。

これ以上、沖縄の人たちが何をしたいのか、沖縄にこれ以上、何を期待するんだという率直な思いがあった。沖縄にいつまでやらせるのか、と。

沖縄の民意が反映されない政治状況の大部分は、県外の人たちがそういう議員を選んでいるから、というのが大きな理由の一つ。県外の一人一人がそこを顧みる必要があるのでは。

——英国のEU離脱に関する国民投票など、住民投票は分断を招くという指摘もあります。

そもそも県民投票をやらざるを得ない状況にした国側が批判されるべきだ。その上で、基地問題をめぐり沖縄では見えない分断はすでに存在していて、それを表面化させたというのはあるかもしれないが、話し合うことで乗り越えられる。

——なぜ政府は沖縄の民意を顧みず、工事を強行すると思いますか。

本土で反対運動が盛り上がれば政治的に影響があるが、沖縄だと大したことないと考えているのではないかと。選挙は民主主義の要素の一つで、もう一つが住民投票。都道府県単位の意見が反映されないのは、日本の民主主義自体に欠陥があると思う。民主主義は本当にこの国にあるのか。

——県民投票の意義は何だったと思いますか。

辺野古の埋め立てというワン 이슈(論点)について「反対」が7割を超えたという明確な数字が示された。今後、他の基地の問題をめぐっても(反対はこれくらいあるという)基準になる。

——5市長が実施しない考えを示した時、ハンガーストライキをしました。

市長たちが拒否を表明してから、やるべきことはやったが、変わらなかった。自分の投票権が奪われるという民主主義の根幹に関わる事態になり、もうこれは体をはるしかない、と。

——ネット上での批判もあったが、結果的に全県実施が実現しました。

(自分のツイッターに食事をしたくなるような)唐揚げや中華料理の写真を送りつけられ、そのマインドってなんなんだろうと考えた。右翼の街宣車も来た。しかし動くことで応えてくれる県民が大勢いて、政治家も動かざるを得なかった。違う考えを持つ人たちが、対

峙(たいじ)はしているが、どこかわかり合える部分があるんじゃないか、沖縄の政治は捨てたもんじゃないというのは実感した。(聞き手・伊藤和行)

つくる会教科書、異例の不合格「欠陥」405カ所指摘

朝日新聞デジタル宮崎亮 2020年2月21日 21時42分



記者会見する「新しい歴史教科書を

つくる会」の高池勝彦会長(中央)と藤岡信勝副会長(右)=2020年2月21日、東京都千代田区の文部科学省、宮崎亮撮影

「新しい歴史教科書をつくる会」系の自由社が発行する中学歴史の教科書が、文部科学省の検定で不合格となったことがわかった。つくる会が21日に会見で明らかにした。過去に合格した教科書が不合格となるのは極めて異例という。

教科書は「新しい歴史教科書」。文科省によると、2008、10、14年度の検定に合格していた。つくる会によると、昨年11月、文科省から405カ所の「欠陥箇所」が指摘された。175カ所について反論書を提出したが、全て認められず、昨年12月に不合格が確定。「理解しがたい・誤解するおそれ」との指摘が7割以上を占めたという。藤岡信勝副会長は会見で「検定は結論ありきの異常なもの」と批判した。

文科省は、3月中旬以降となる検定結果の公表前につくる会が不合格を明かしたことに對し、「省の規則に明確に違反しており、何らかの指導と事情聴取をする」(同省教科書課)と話している。

教科書検定では、以前はいったん不合格となっても指摘された点を修正し、再申請すればほぼ合格していた。16年3月、欠陥箇所が1ページあたり1.2カ所以上であると再申請できない「一発不合格」の新制度ができた。今回は、この制度が小中高の全教科書を通じて初めて適用されたという。(宮崎亮)

つくる会の教科書不合格 中学歴史、検定非公開破る

日経新聞 2020/2/21 19:02

2021年度から中学校で使う教科書の検定を巡り、新しい歴史教科書をつくる会は21日、同会メンバーらが執筆する自由社の歴史教科書が不合格になったと明らかにした。検定は3月下旬ごろまでをめぐり、文部科学省が非公開で実施。文科省は不合格を認めた上で、検定結果を事前に明かすことを禁じる細則に「明確に違反する」と説明し、自由社に事情聴取を行うとした。違反した場合の罰則はない。

文科省内で記者会見したつくる会の藤岡信勝副会長は「結論ありきの不正な検定で、これを正すために公表するのは公益にかかわる」と主張した。メンバーらが執筆する中学歴史教科書は、前身の扶桑社版も含めると01年以降、過去5回の検定に合格していた。教科書検定では、文科省側の検定意見を受け、教科書会社側が修正するというやりとりを繰り返すのが通例だが、検定意見が1ページ当たり1.2件以上の教科書は、こうしたやりとりなしで不合格になるとの規定がある。つくる会によると今回、自由社の歴史教科書

は314ページ中405件の検定意見が付き、不合格になったという。つくる会は会見で、検定意見の内容について「教育的配慮による工夫を無視するなど、不適切な指摘が多数目につく。前回の検定で合格した記述が欠陥とされたケースもある」と訴えた。文科省は「全体の検定結果の公表まで、詳細はコメントできない」としている。

文科省によると、20年度における中学歴史教科書の需要数計約114万部のうち、自由社教科書の需要数は368部で、全体の0.1%未満。〔共同〕

被爆後のカラー映像公開、広島 原爆資料館、英国の博物館で収集

2020/2/22 19:18 (JST)共同通信社



1945年11月ごろ撮影された、旧軍の管区司令部跡の写真(英国国立公文書館所蔵)

広島市の原爆資料館(同市中区)は22日、被爆後の広島の様子を撮影したカラー映像の一般公開を新たに始めた。同館が昨年、英国の博物館で収集したもので、同時期のカラー映像は珍しい。落葉裕信学芸員は「被爆後の様子を表す際によく言われる『赤茶けた町』といった光景をより実感してもらえるのではないかと話している。公開期間は7月下旬まで。

公開されたのは、原爆投下から約2~6カ月後の1945年10月~翌46年2月ごろに市内を上空や地上から撮影した映像のほか、47年12月に昭和天皇が広島を訪問した際の映像など5点を同館が6分弱に編集したもの。

元裁判長「住民に原発止める力」 中部電・芦浜計画巡り

2020/2/22 18:45 (JST)2/22 18:57 (JST)updated 共同通信社



講演する福井地裁の元裁判長樋口英明氏=22日午後、三重県桑名市

約37年にわたり地域を二分した激論の末、中部電力が三重県に示した「芦浜原発」計画を断念して丸20年となった22日、2014年に関西電力大飯原発3、4号機(福井県おおい町)の再稼働を認めない判決を出した福井地裁の元裁判長樋口英明氏(67)が三重県桑名市で講演し「原発を止める本当の力を持っているのは住民だ」と語った。

樋口氏は「福島第1原発事故で原発の危険性が分かった。私たちの世代で止めないといけない」と強調。原発を止める権限は首相や地元自治体の首長などにあるが、これらを動かすには住民の力が必要だとし、「芦浜のように一致団結すれば大きな力になる」と訴えた。

と訴えた。

ビキニ水爆実験で被ばく 第五福竜丸の元乗組員 死去

NHK2020年2月21日 19時24分



66年前、太平洋のビキニ環礁でのアメリカの水爆実験で被ばくした静岡県焼津市のマグロ漁船「第五福竜丸」の乗組員だった池田正穂さんが、20日、胃がんのため亡くなりました。87歳でした。池田正穂さんは、昭和29年3月1日、静岡県焼津市の遠洋マグロ漁船「第五福竜丸」の機関士として南太平洋で操業中、アメリカが太平洋・マーシャル諸島のビキニ環礁で行った水爆実験で、放射性物質を含んだ「死の灰」を浴びて被ばくしました。被ばく直後は、あまりみずからの体験を話していませんでしたが、60年近くたってから、若い世代に語り継ぐ活動に取り組むようになりました。

去年公開されたアメリカの映画監督が制作したドキュメンタリー映画で、同じ元乗組員たちとともに証言をしていて、去年2月、「兄のような存在」と慕っていた元乗組員、見崎進さんが92歳で亡くなったときは弔問に訪れていました。

親族によりますと、池田さんは食道や肝臓などのがんの治療で入院を繰り返していましたが、去年12月から再び体調を崩し、20日、胃がんのため、藤枝市内の病院で亡くなりました。

遺族・知人「核のない世界になってほしい」

20日亡くなった池田正穂さんの次男の弘志さんは「きのうの朝、父が『ここまで生きてこられた。どうもありがとう』とはっきりした口調で話したのが最期の会話でした。被ばくした経験から北朝鮮の核実験などがあると『絶対にいけない』と言っていた。父が望むように核のない世界になってほしいと思います」と話していました。

池田さんから元乗組員と親交があり、核兵器に反対する取り組みを続けている粕谷たか子さんは、焼津市内の葬儀場に弔問に訪れ、「今までよく頑張ってくださいました。ありがとうございました、と声をかけました。たくましく明るく、本当に強い海の男でした。残念ですが、映像や残された資料から池田さんの体験を知ることのできるため、これからの世代も平和の大切さを忘れずに受け止めてほしい」と話していました。

しんぶん赤旗 2020年2月22日(土)

原発被害者切り捨てノー 首相官邸前 反原連抗議



(写真)「安倍晋三は原発やめろ」と迫る参加者=21日、国会正門前

参加者=21日、国会正門前

首都圏反原発連合(反原連)は21日、首相官邸前抗議を行いました。参加者は、東京電力福島第1原発事故の被害者切り捨て

を進める安倍政権や東電への怒りの声をあげるとともに、原発をなくすまで各地で声をあげつづける決意を交流しました。

さいたま市の男性は、地域の労働組合が賃金など労働条件とともに、原発ゼロ・化石燃料からの脱却を掲げ、地域での宣伝などに取り組んでいると紹介。「地域での取り組みと力を合わせながら、官邸前、国会前で声をあげつづけよう」と呼びかけました。

神奈川県湯河原町から妻とともに参加し続けている男性もマイクを握り、「安倍首相が原発をやめないのは原発メーカーや関連企業、電力会社の利益のためだ」と批判。「安倍首相は、国民の声を聞かない。でも決してあきらめず、必ず原発を止めよう」と呼びかけました。

日本共産党の吉良よし子参院議員は「うそをつかせないよう行政を監視するとともに、原発ゼロを実現して希望ある未来を示す国会にするために全力を尽くしたい」と表明しました。

<福島2020> (3) 原子力災害伝承館@双葉町 まだ帰れないそれが現実

東京新聞 2020年2月22日 夕刊

住民の消えた街並み、津波の爪痕が残ったままの風景に建設が進む原子力災害伝承館の姿があった＝福島県双葉町で



枯れ果てたススキが夕焼けに染まる福島県双葉町中野地区。津波被害で鉄骨だけとなった建物が今も点在する荒野に、異質に映る巨大施設の建設が進む。

総事業費五十五億円をかけ、震災の記録や福島第一原発事故の教訓を伝える「東日本大震災・原子力災害伝承館」。立ち入りが許される午後五時まで工事車両がせわしく走る。

原発事故で唯一、全域避難が続く双葉町。三月四日に中野地区などが初めて、避難指示を解除される。夏に完成予定の伝承館は、周辺に整備される復興祈念公園とともに、新たな町のシンボルと位置付けられる。

内堀雅雄知事は「五輪を視野に入れながら、オープン準備を進めたい」と話すが、華やかな完成図の中に町民の姿はない。避難指示は解除されても、まだ居住はできないためだ。

「伝承館は町のほんの一部。施設を見て『復興』と思われたら残念だ」

双葉町から新潟県柏崎市へ移り住み、避難先で震災体験を伝えている渡辺浩二さん(50)は、町の歩む姿にもどかしさを感じる。

町内で居住できるのは二〇二二年春ごろの見込み。「俺たちはまだまだふるさとに帰れない。それが現実だ」(写真と文・岩本旭人)

<福島2020> (2) ビクトリーブーケ@浪江町 希望の花で世界に恩返し

東京新聞 2020年2月21日 夕刊

花を通して浪江ににぎわいを、福島の元気な姿を世界に伝えたいと願う川村博さん(左)。その手には思いの詰まったトルコギキョウが咲き誇っていた＝福島県浪江町で



「夢が現実になるかもしれないね」。大輪のトルコギキョウを手にも、福島県浪江町で花き栽培を営む川村博さん(64)が笑顔を浮かべる。

昨年末、東京五輪・パラリンピックでメダリストに贈るビクトリーブーケに、東北三県の花が使われることが決まった。福島は緑色のトルコギキョウ。川村さんが育てる花の一つだ。

二〇一一年の福島第一原発事故で、浪江町は全域避難を迫られた。「町の安全を証明したい」。立ち入りが認められた二年後、介護・福祉の世界から農家に転じ、野菜作りを経て花き栽培を始めた。丹精込めて育てたトルコギキョウは花の大きさや色合いが高い評価を受け、全国から教を請う若い農家が訪れるまでになった。

「世界の舞台、オリンピックに出せるような立派な花を育てよう」。役場や市場の関係者に熱弁したのは六年前。たとえ話が現実になりつつある。川村さんの花が五輪で使われるかは未定だが、「震災で世界から励ましを受けた恩返しのためで育てている。浪江は元気だよ、と伝えたい」。

トルコギキョウの花言葉は、希望。花を通じて、古里の再生を目指す。(写真と文・岩本旭人)

<福島2020> (1) Jヴィレッジ@檜葉町 ピッチに戻った緑と歓声

東京新聞 2020年2月20日 夕刊

聖火の出発地「Jヴィレッジ」。緑の芝と青空の下に選手たちが戻ってきた＝福島県檜葉町で



海風に乗って緑のピッチに大きな声が響く。青空の下でボールを蹴る小学生たち。今月上旬、福島県檜葉町と広野町にまたがるトレーニングセンター「Jヴィレッジ」で開かれたサッカー大会。

「いいパスだ。それいいけ」。観客に交ざり、Jヴィレッジ運営会社の上田栄治副社長(66)も声を出す。「やっと、純粋にサッカーを楽しむようになった」

福島第一原発から南へ二十キロ。二〇一一年、日本サッカーの

聖地は原発事故の対応拠点となり、天然芝に砂利がまかれ、作業車が走った。元サッカー日本女子代表監督の上田さんは一三年から副社長に就任。なでしこたちが合宿で汗を流したピッチには、プレハブが立ち並んでいた。

対応拠点の役割を終え、一八年七月、再始動を祝う記念試合が行われた。キックオフは東日本大震災の発生時間と同じ午後二時四十六分。時計の針は再び動きだした。

福島のシンボルとして、復興五輪の象徴として、三月二十六日に東京五輪の聖火リレーがJヴィレッジからスタートする。「大役だな」。上田さんが表情を引き締めた。

◇ ◇

震災と原発事故から九年。国は「復興五輪」の名の下に被災地の再生を世界にアピールする。五輪を通して福島の「光と影」を見つめた。（写真と文・岩本旭人）

“陸軍が掘った穴 複数存在” 本土決戦に備えた基地か 長野

NHK2020年2月22日 7時09分

こととして戦後 75 年となる中、太平洋戦争中の長野県内の状況などを調査している長野市のグループが 21 日、市内で集会を開き、長野市内に陸軍が掘ったとみられる穴が複数あることや、終戦間際に海軍の通信隊が駐屯していた可能性があることを報告しました。

長野市安茂里で行われた集会には地元の郷土史家などでつくる調査グループや、地域の住民など合わせて 30 人余りが参加しました。

集会では調査グループのメンバーの土屋光男さんが「戦時中に掘られたとみられる4つの穴の跡が終戦から 74 年となる去年、安茂里でみつかった」と報告しました。

調査グループによりますと、旧安茂里村の村長が戦時中に書いた日記や当時の住民の証言から、これらの穴は陸軍参謀総長の直轄部隊が掘った可能性があるということです。

また、当時の村長の日記などには海軍通信隊の部隊長だった「藪田美輝中佐」という人物が終戦間際の安茂里を訪れていたことを示す記載があり、海軍通信隊が駐屯し、作戦行動を行っていた可能性もあるとしています。

土屋さんは「本土決戦に備えて建設が進められた『松代大本営』と関係する基地などを作ろうとしていたのではないかと思います。戦時中に長野市内で何があったのか引き続き調べていきたいです」と話していました。

巨人の知、次世代に継承へ 団藤氏資料を龍谷大が保存

日経新聞 2020/2/21 11:30

東大法学部長や最高裁判事などの要職を歴任した刑事法の第一人者、故団藤重光氏（1913～2012 年）の膨大な書籍や記録などの遺品を寄贈された龍谷大がデジタル化などによる保存に取り組んでいる。書簡やメモなども含めると 10 万点規模に及び、没後 8 年近くになるが手付かずの資料も。次世代への継承に向け、数少ないスタッフで難事業を進めている。



故団藤重光氏の保存記録のデジタル化を

進める福島至教授（右）ら（1 月、京都市伏見区の龍谷大）=共同
京都市伏見区の龍谷大キャンパス。地下 1 階の部屋には天井まで延びる 18 の電動式書架が連なり、団藤氏が手元に残した記録や雑誌、新聞の切り抜き、自ら撮った写真、メモ帳などが並ぶ。室内は 24 時間の空調管理で温度や湿度を一定に保つ。

寄贈は夫人の遠縁に当たる龍谷大矯正・保護総合センターの福島至教授（66）が生前の団藤氏へ依頼し、快諾を得たのがきっかけ。団藤氏の東京都内の自宅をはじめ、顧問を務めた企業の部屋や長野・軽井沢の別荘などに所有していた書庫や倉庫などから全て移した。



故団藤重光氏が関与した「峰山事件」上

告審判決の記録。反対意見の推敲や人物相関図が手書きで残る（14 日、京都市伏見区の龍谷大）=共同

最高裁判事時代の事件記録は団藤氏が個別の意見を付したものを中心に 60 件ほどが残る。福島教授が調査を担当したのは 1980 年 2 月の「峰山事件」上告審判決。一番の初公判から二審判決まで 25 年近く費やした審理が迅速な裁判の保障を定めた憲法 37 条に反するかが争われた刑事事件だ。

裁判官 5 人中 3 人による合憲の結論に対し、反対意見を表明した団藤氏。「著しく不当な訴訟の遅延がみられる場合には迅速な裁判の権利保障のためだけでなく、裁判実務一般に対する警告の意味でも手続きの打ち切りはやむを得ない」。記録には、免訴を相当とするとの見解を導く過程が手書きの草稿から推敲（すいこう）段階まで細かく残る。

資料の分析は福島教授を中心に、刑事法や法制史、憲法など各分野の専門家が共同して担当。29 日にはこれまでの研究内容を 1 冊にまとめた書籍も刊行される。

所蔵する本には至る所にメモが記載され、きちょうめんな人柄をしのばせる。法学を中心に国内外の著名な学者らと幅広く交流した書簡や写真も保管し、水彩画や重要会合のスケッチもあった。

将来的な保存と公開に向けた記録や資料のデジタル化は気の遠くなりそうな手作業だ。台に載せた資料のページやメモを 1 枚ずつめくり、上方に固定したカメラで撮影。紙質が劣化した古いものはうかつに触れると破損の恐れもあり、慎重に進める必要がある。保管や管理に携わるセンターのスタッフも数人程度。福島教授は「早く全容を公にしたいが、大変な資料の量で何がどこにあるのかさえ完全には分からない状況。先は長いけれども、貴重な発見への夢がある作業です」と話す。〔共同〕

JR 東労組分裂で新労連 脱退の二千数百人ら

2020/2/22 19:17 (JST)2/22 19:18 (JST)updated 共同通信社



JR 東労組から脱退した組合員らが開いた新労連の結成集会=22 日午後、東京都中央区

JR 東日本の最大労組とされる東日本旅客鉄道労働組合 (JR 東労組) から脱退した組合員らが 22 日、新たに「日本輸送サービス労働組合連合会」を結成した。同日、東京都内で結成集会を開いた。組合員数は二千数百人としている。

新たな労連は産業別労働組合 (産別) の位置付けで、傘下に「JR 東日本輸送サービス労働組合」と「ジェイアールバス関東労働組合」が入る。連合など三つあるナショナルセンター (労組の全国組織) には加盟せずに活動する。

労連の委員長には、JR 東労組東京地本の副委員長だった関昭生氏 (48) が就任した。

映画「パラサイト」監督「格差の現実を率直に描いた」

日経新聞 2020/2/19 22:25

【ソウル=細川幸太郎】米映画界の祭典、アカデミー賞で作品賞を含む 4 冠を獲得した韓国映画「パラサイト 半地下の家族」の奉俊昊 (ポン・ジュノ) 監督が 19 日、ソウル市内で記者会見を開いた。同監督は「甘い装飾をせず、貧富格差の現実を率直に描いたことで爆発力を持てた。現代社会に生きる世界の人々が呼応してくれた」と受賞の喜びを語った。



ソウル市内で記者会見する韓国映画「パラサイト 半地下の家族」のポン・ジュノ監督 (19 日)=共同

映画「パラサイト」は、ソウル市内で半地下の住宅に暮らす 4 人全員が無職の貧しい一家が、高台の豪邸に住む IT (情報技術) 企業社長の裕福な家庭に「寄生」していく物語。富裕層と貧困層の所得格差が固定化する現代韓国の格差社会を描いた悲喜劇だ。

9 日のアカデミー賞授賞式では、外国語 (非英語) 映画として初めて最高賞の作品賞に選ばれたほか、監督賞や脚本賞、国際映画賞の最多 4 部門を受賞した。日本でも公開中で、現在世界 64 カ国で上映することが決まっているという。

ポン・ジュノ監督は「我々が生きている時代を赤裸々に描いた。それに韓国で 1000 万人以上、そして日本や英国、フランス、ベトナムなど全世界で観客が呼応してくれた」と話した。次回作については「パラサイトも普段通り平常心を保ちながら撮った。次回作も普段通り準備していく」と、同監督らしく淡々と語った。

ソウル市中心部のホテルで開かれた記者会見には約 500 人の報道陣が詰め掛け、ポン・ジュノ監督のほか出演者と制作陣の計 12 人が登壇した。同監督は「映画の告知キャンペーンでインタビューを 600 回、観客との対話イベントを 100 回以上やった。鼻血が出るほどの大変な仕事だった」と裏話を語り笑いを誘っていた。

同監督は 2003 年公開の出世作「殺人の追憶」で頭角を現し、そ

の後も「グエムル 漢江の怪物」や「オクジャ/okja」といったヒット作を手掛けてきた。

戦後 75 年 補償対象外の空襲被害者ら 救済を訴える集会

NHK2020 年 2 月 21 日 18 時 17 分



終戦から 75 年を迎え戦争体験者の高齢化が進む中、戦後、補償の対象とならなかった空襲の被害者を援護する法律を早期に制定するよう訴える集会が、都内で開かれました。

集会は、空襲の被害者などでつくるグループが開き、およそ 50 人が集まりました。

太平洋戦争末期の空襲では全国 200 か所以上の都市が被害を受けましたが、戦後、元軍人と異なり、一般の被害者は補償の対象になっていません。

集会では、東京大空襲で両親と妹が亡くなり、3歳で戦争孤児となった吉田由美子さん (78) が「戦争では、いちばん大切な命が守られなかった。政治家には被害者の声に耳を傾けてほしい」と訴えました。

そして、空襲の被害者を援護する法律を早期に制定することや、被害の全国調査などを求めるアピール文を採択しました。

鹿児島県の空襲で左足を失った安野輝子さん (80) は「法律は、再び戦争を起させないためにも大事なもので、制定を期待して待ち続けてきました。みんな高齢になり、この先どうなるか不安です」と話していました。

また、集会に参加した、さいたま市の 20 歳の女性は「被害者のことばを初めて聞き、急いで取り組まないといけない問題だと痛感しました。この問題を周りに発信し広げていきたいです」と話していました。

しんぶん赤旗 2020 年 2 月 22 日 (土)

空襲被害救済法 急げ 全国空襲連 制定求め決起集会



(写真)「民間人被害者の一

刻も早い救済を」と討論する参加者=21 日、衆院第 2 議員会館

全国空襲被害者連絡協議会 (全国空襲連) は 21 日、第 2 次世界大戦末期に日本各地を襲った米軍による空襲の被害者らを救済する「空襲被害者救済法」の制定を求め、衆院第 2 議員会館で決起集会を開きました。被害者のほとんどが 80 歳を超え次々と亡くなるなか、被害者らは「今国会で決着を」と訴えました。

全国空襲連は空襲で死傷したり、孤児となったりした民間戦争被害者への援護や調査などを求めています。国会では超党派空襲議連が法律の素案をつくりましたが長年たなざらして成立していません。

全国空襲連の中山武敏共同代表は、民間人被害者は「いっさい

の補償もないまま戦後75年間も放置され「今も耐えがたい苦しみが続いている」と語りました。戦争孤児の吉田由美子さんは「民間人を見捨てているのは日本だけ。この国会で決着を」と話しました。

黒岩哲彦・全国空襲連運営委員長は、議連の本格的な再起動を求めました。

一橋大学の吉田裕名誉教授が「戦争責任と国民、なぜ民間被害者は救われないのか」として基調講演しました。

集会には日本共産党の笠井亮衆院議員、立憲民主党、社民党、自民党、無所属の国会議員も参加しました。

江戸の伊能図、よみがえれ 原本焼失 214枚デジタル化

東京新聞 2020年2月20日 夕刊

江戸周辺と三浦半島などを描いた試作品2枚を披露する渡辺一郎さん(右から2人目)ら=19日、東京都江東区で



江戸時代の測量家、伊能忠敬(いのうただたか)(一七四五～一八一八)が作成し、国内外に残された地図の写しをデジタル技術を使って統合し、よみがえらせる試みを、伊能図を研究する民間グループが始めた。原本は焼失し、写しは描き手によって食い違いがある。グループ代表の渡辺一郎さん(90)=東京都中央区=は「十年はかかるだろうが、現代の技術を駆使して決定版を作り上げたい」と話している。(梅野光春)

作成するのは、忠敬が全国を二百十四枚に分けて描いた縮尺三万六千分の「大図」。渡辺さんは二〇〇一年に米国国会図書館で発見した大図二百七枚を土台に、国会図書館や海上保安庁などが所蔵する写しなどを参照し、海岸線の不自然さや地名の相違を検討してパソコン上で作る。

伊能図は忠敬没後の一八二一年、江戸幕府に納められたが、明治維新後の皇居火災と関東大震災で正本、副本ともに失われ、手描きで模写された写しだけが残っている。

渡辺さんらは「来年で伊能図が幕府に上程されて二百年。より原本に近い大図をつくりたい」と、昨年九月に有志で「令和の伊能大図をつくる会」を発足させた。

大図一枚は縦二メートル、横一メートルほどで、およそ畳一枚分の大きさ。街道や海に沿った集落や山などが描かれ、「代々木村」「世田ヶ谷村」「豊島郡」などの地名が筆で書き込まれている。

今回の試みでは、地名は毛筆フォントを使って読みやすくし、保存状態が良く退色の少ない写しを参考に彩色する。既に江戸城周辺や富士山周辺など三枚の試作品ができた。

作業に当たる横溝高一さん(70)=横浜市保土ヶ谷区=は「本

当はこうだったんだろうと考えて作り、点検にも時間をかけている」と話す。

完成したら、忠敬の旧居に近く、測量に出る際に立ち寄っていた富岡八幡宮(東京都江東区)に奉納し、展示したいという。渡辺さんは「作業を早めるため、協力者を増やしたい」と話す。協力の申し出は、渡辺さんのメール(watainoh@nifty.com)へ。

「象徴の責務果たす」天皇陛下、60歳に一即位後初の記者会見

時事通信 2020年02月23日 00時05分



60歳の誕生日を前に記者会見される天皇陛下=21日、赤坂御所(代表撮影)

天皇陛下は23日、60歳の誕生日を迎えられた。これに先立ち、お住まいの赤坂御所(東京都港区)で即位後初の記者会見に臨み、「常に国民を思い、国民に寄り添いながら、象徴としての責務を果たすべくなお一層努めてまいりたい」と決意を述べた。

昨年5月1日の即位当日の「剣璽等承継の儀」と「即位後朝見の儀」の際は「我が身が担う重責に思いを致し、身の引き締まる思いがし、厳粛な気持ちになりました」と振り返り、約10カ月を経て「天皇の一つ一つの公務の重みと、それらを行うことの大切さを感じております」と心境を語った。

● 天皇陛下の歩み ●	
1980年 2月	上皇(明仁太子)ご夫妻の長男として誕生。称号は皇孫
82年 3月	学習院大卒業
83年 5月	英留學(1-10年)ロンドン・オックスフォード大で学ぶ
86年 3月	学習院大大学院修了
89年 1月	即位式参列。皇太子に
91年 2月	立太子の礼
93年 5月	雅子さまと結婚
94年 11月	ご夫妻で初の外国訪問。中東・アジアを主な中東4カ国へ
2001年 12月	皇太子さま誕生
03年 12月	雅子さま、皇太子さま(当時)で入院、長期療養入り
04年 5月	記者会見で「雅子のキャリアや人格を否定するような発言があった」と発言
7月	世内町、雅子さまは「産後障害」と発表
08年 5月	ご一家、オランダで2週間療養
07年 5月	十二植樹グループの切符手前
11月	国連「本土衛生に関する諮問委員会」の名譽顧問就任(1-15期)
11年 4-6月	東日本大震災の被災者見舞いで東北3県を主なご参幸で訪問
13年 3月	国連「本土衛生に関する諮問委員会」で基調講演
4月	オランダ国王即位式に出席。雅子さまは10年4月4日の著作出版
17年 5月	即位特別法が成立
19年 5月	即位
10月	即位礼正殿の儀
20年 2月	60歳に

憲法に対する思いを問われると、「憲法を順守し、象徴としての務めを誠実に果たしてまいりたい」と話した。

人工知能(AI)やスマートフォンの普及、気候変動などを例に挙げ、「社会の変化や時代の移り変わりに応じた形でそれに対応した務めを考え、行動していくことは大切」と新たな時代の皇室の役割に言及。ライフワークの水問題を切り口に、貧困や防災などの

諸問題に考えを巡らせることができるとして、「『水』問題への取り組みで得られる知見も大切に生かしていきたい」と述べた。



60歳の誕生日を迎えられる天皇陛下と皇后さま＝12日、赤坂御所の談話室(宮内庁提供)

療養中の皇后さまについては、即位関連の行事や儀式に全て出席できたことを「私も雅子もとてもうれしく思っております」とする一方、「決して無理をすることなく、できることを一つ一つ着実に積み重ねていってほしい」と気遣った。

希望していた学習院大文学部への進学が決まった長女愛子さまには「充実した学生生活を送ってほしい」と期待。上皇ご夫妻には感謝の気持ちを何度も示し、3月末までに予定されている転居に伴う負担を案じつつ、「末永くお健やかに過ごしていただけますよう」と願った。

「象徴の務め、誠実に」天皇陛下会見全文

日経新聞 2020/2/23 0:56



60歳の誕生日を前に記者会見する天皇陛下(21日、赤坂御所)=代表撮影

天皇陛下の即位後初の記者会見は赤坂御所(東京・港)で行われた。陛下は宮内記者会と日本記者クラブ、在日外国報道協会があらかじめ提出した6つの質問に対し準備した文書を読み上げる形で回答したほか、その後の関連質問に応じられた。会見時間は約40分だった。やりとりは以下の通り。

■「天皇の一つ一つの公務の重みと大切さ感じる」

問1 陛下は昨年5月、約200年ぶりの退位によって皇位を継承し、一連の即位儀式を終えられました。即位の感想とともに、天皇として約10カ月を振り返り、お気持ちをお聞かせください。また、平成時を踏襲した儀式のあり方についてのお考えをお聞かせください。

陛下 私は、昨年の5月1日に皇位を継承いたしました。平成の時代には、皇太子として、上皇陛下のお近くで様々なことを学ばせていただき、準備をしておりましたが、剣璽等承継の儀、即位後朝見の儀に際しては、これから先、我が身が担う重責に思いを致し、身の引き締まる思いがし、厳粛な気持ちになりました。



「即位後朝見の儀」を終えて「松の間」を出る天皇、

皇后両陛下(2019年5月1日、皇居・宮殿)

それから約10カ月、一つ一つの公務に真摯に向き合い、心を込めて大切に務めを果たすべく努めてまいりました。天皇の一つ一つの公務の重みと、それらを行うことの大切さを感じております。この間、常に私の傍らに寄り添い、相談に乗り、公務に共に取り組みながら支えてくれている皇后雅子に、感謝しております。

振り返りますと、上皇上皇后両陛下が、30年以上の長きにわたり、国民に寄り添い、国民と苦楽を共にされながら、公務に取り組ん

でこられたお姿に尊敬の念を新たにいたします。そして、天皇后としての私たちの新たな門出を、温かい目でお見守りくださったことに厚く感謝申し上げます。

この10カ月の間に、最も印象に残っていることの一つに、都内や地方での諸行事や諸儀式の際などに、多くの方々から、温かい祝福の声を寄せていただいたことが挙げられます。

また、即位礼正殿の儀に参列され、饗宴(きょうえん)の儀にも御出席いただいた各国を代表する方々から心の込められたお祝いをいただきました。海外の王室の方々とも旧交を温めることができたことをうれしく思っております。



「即位礼正殿の儀」で、お言葉を述べる天皇陛下(2019

年10月22日、宮殿・松の間)

そうしたお一人お一人の声に支えられて今日を迎えることができていると感じております。この場を借りて改めて感謝いたします。

日本国及び日本国民統合の象徴としての私の道は始まってまだ間もないですが、たくさんの方々からいただいた祝福の気持ちを糧に、上皇陛下のこれまでの歩みに深く思いを致し、また、歴代の天皇のなさりようを心にとどめ、研鑽(さん)を積み、常に国民を思い、国民に寄り添いながら、象徴としての責務を果たすべくなお一層努めてまいりたいと思っております。

儀式の在り方についての質問ですが、平成へのお代替わりにおける一連の即位儀式の際、現行憲法下における初めての即位ということもあり、儀式の在り方について、慎重に検討がなされたこと承知しております。

今回の一連の諸儀式においては、平成時を踏襲した上で、必要に応じて、変更や工夫を取り入れたものと認識しております。

■「変化する時代に対応、多くの人々と触れ合う機会大切に」

問2 平成の時代、上皇さまは全都道府県を二巡し、人々と交流を深めるとともに、被災地への訪問や戦没者の慰霊に取り組み、それらは皇室の役割として国民に浸透しました。高齢化や地方での過疎化の進行、AI技術の進展や外国人労働者の増加など、日本社会が大きく変わろうとしている令和の時代に、陛下は具体的にどのような活動によって天皇の役割を果たしていくお考えか、決意をお聞かせください。陛下は、即位後朝見の儀で「常に国民を思い、国民に寄り添いながら、憲法にのっとり、日本国及び日本国民統合の象徴としての責務を果たす」と誓われました。陛下の憲法に対する思いもあわせて教えてください。

陛下 御指摘のように、近年は特に変化の激しい時代です。例として挙げられたAIが数年前には今のように話題になっていなかったことや、今では当たり前に使われ、我々の生活を大きく変えているスマートフォンの普及、その一方で、各地で大きな被害をもたらす気候変動による自然災害の脅威が更に深刻になっていることなど、平成の初期と比べても、人々の生活環境は異なっているとします。

このような変化の激しい時代にあって、社会の変化や時代の移り変わりに応じた形でそれに対応した務めを考え、行動していくことは大切なことであり、その時代の皇室の役割でもあると考えており

ます。そのためにも、多くの人々と触れ合い、直接話を聞く機会を大切にしていきたいと考えています。同時に、先に述べましたとおり、常に国民を思い、国民に寄り添い、象徴としてあるべき姿を模索しながら務めを果たし、今後の活動の方向性についても考えていきたいと思っております。



薄明かりの中、大嘗祭の「悠紀殿供饌の儀」に臨む天皇陛下(2019年11月14日、皇居・東御苑)

憲法についての質問ですが、日本国憲法は、日本国及び日本国民統合の象徴として天皇について定めています。憲法を遵守(じゅんしゅ)し、象徴としての務めを誠実に果たしてまいりたいと考えております。

■涙見せた皇后さま、国民の祝意に感謝

問 3 ご家族についてお尋ねします。皇后さまは即位関連の行事にすべて出席し、パレードなどで涙を見せられる場面もありました。陛下は皇后さまのご活動やご体調をどのように受け止め、今後、どういった役割を期待されていますか。高校卒業を控えた愛子さまの進路や現在のご様子とともに、間もなく成年皇族となられる愛子さまのご活動や将来について、天皇として、父親としてどのようにお考えになっていますか。退位による代替わりでは、一部で二重権威への懸念もありましたが、上皇ご夫妻のお過ごしをどのようにご覧になっていますか。

陛下 雅子は、種々の工夫を凝らしつつ一生懸命に努力を積み重ね、幸いにして、令和元年は、即位に係る全ての儀式・行事に出席することができました。このことを私も雅子もとてもうれしく思っております。

本人も強い責任感を持って一つ一つの行事に臨んでおりましたが、それに加えて、先ほども述べましたとおり、即位以来、多くの方々から温かいお祝いを頂いたことが活動の大きな支えになっていると思われま。雅子自身も多くの方々から寄せていただいた温かいお気持ちをうれしく、また有り難く思っていると申しております。

他方、雅子はいまだ快復途上にあり、昨年12月の誕生日の際に医師団が見解として述べているとおり、体調には波があり、大きい行事の後や行事が続いた場合には、疲れがしばらく残る傾向があります。近くで見ていると、とてもよく頑張っていると思いますが、決して無理をすることなく、これからもできることを一つ一つ着実に積み重ねていってほしいと思います。また、即位以来、忙しい日々を送る中でも、私や愛子にもいろいろと細かく心を配り、活動を支えてくれており、公私にわたり良き相談相手となってきています。私も今後とも、できる限り雅子の力になり、支えていきたいと思っております。国民の皆様には、これまで雅子に温かく心を寄せていただいていることに、改めて心より感謝の気持ちを述べるとともに、引き続き雅子の快復を温かく見守っていただければ有り難く思います。



祝賀パレードで沿道の人たちに手を振る天皇、皇后陛下(2019年11月10日、東京都千代田区)

愛子は、この3月に学習院女子高等科を卒業いたします。

学習院女子高等科においては充実した高校生活を送ることができたようで、それもひとえに先生方や多くのお友達のおかげであると感謝しております。今後の進学先については、きょう、学校側から、愛子が希望していた、学習院大学文学部日本語日本文学科への合格通知を頂きました。進路については、本人から私たちにも相談がありましたが、本人の意向を尊重しながら、できる範囲での助言をしてきたつもりです。希望の進学先に進めることを、愛子のもとより、私も雅子もとても喜んでおります。高校を卒業し、大学へ進学すると、今まで以上に、様々な経験を積み重ねながら視野を広げていく時期になると思います。これからも感謝と思いやりの気持ちを大切にしながら、いろいろな方からたくさんのお話を学び、自身での思索を深めていってほしいと思っています。それとともに、充実した学生生活を送ってほしいと思っています。その中で、自分のやりたいことを見つけ、成年皇族としての公務とのバランスを見出しながら将来への希望を描いていっていただければ、と思っております。



ねずみ年にちなんで、ネズミの置物を前に談笑する

天皇ご一家(東京・港の赤坂御所)=宮内庁提供

上皇上皇后陛下には、長年にわたり、常に国民の幸せを願われ、国民に寄り添い、苦楽を共にされながら、全身全霊で務めを果たしてこられました。上皇上皇后陛下のこれまでの歩みに思いを致すたびに、深い感謝と敬意の念を覚えております。そして、御退位に当たり、私たちに対し、種々お心遣いをいただいていたことを有り難く思っております。同時に、これから高輪への御移居の御準備や、御移居に伴う新しい環境への順応などの御負担を案じております。御退位後、上皇陛下には、生物学研究所へのお出まし、上皇后陛下には、音楽鑑賞や美術鑑賞などへのお出ましなど、これまで十分に時間がお取りになれなかった御活動にもお時間をお割きになれるようになればと思っています。末永くお健やかにお過ごしいただけますよう、心よりお祈り申し上げます。

■皇位継承問題への見解、言及避ける

問 4 政府は立皇嗣の礼終了後、安定的な皇位継承に向けた課題の検討を始めます。陛下の即位により、皇位継承資格を有する皇族は3人となりました。公的活動を担うことができる皇族は、高齢化や結婚によって減少しています。陛下は皇室の現状を、どのように認識されていますか。また、退位による皇位継承の意義と、象徴天皇の務めが安定的に続いていくために、望ましい皇位継承のあり方をどのようにお考えですか。代替わり後、皇嗣の秋篠宮さまとは、皇室の課題や将来について、どのように話し合われていますか。

陛下 現在、男性皇族の数が減り、高齢化が進んでいること、女性皇族は結婚により皇籍を離脱すること、といった事情により、公的活動を担うことができる皇族は以前に比べ、減少してきております。そしてそのことは皇室の将来とも関係する問題です。ただ、制度に関わる事項については、私から言及することは控えたいと思っております。

秋篠宮とは、折に触れ、いろいろな話をいたしますが、内容について言及することは控えたいと思っております。

■「東京五輪・パラ、平和の尊さを感じる機会に」

問 5 陛下は近代で最も高齢で即位し、還暦を迎えられました。これまでの60年の人生を振り返り、特に印象に残っている出来事と率直なお気持ちをお聞かせください。また、この1年で印象に残った出来事や、今年開催される東京オリンピック・パラリンピックに期待されることをあわせてお聞かせください。

陛下 即位の年齢については、歴代天皇の中では、より高齢で即位された天皇もおられますが、還暦を迎えるのに当たっては、もう還暦ではなく、まだ還暦という思いでおります。



正装姿の天皇、皇后両陛下(2019年5月、赤坂御所)=宮

内庁提供

これまでの60年を振り返ってみますと、幼少時の記憶として、昭和39年の東京オリンピックや昭和45年の大阪万国博覧会があります。私にとって、東京オリンピックは初めての世界との出会いであり、大阪万博は世界との初めての触れ合いの場であったと感じております。

東京オリンピックでは、私は、当時、皇太子、皇太子妃であった上皇太后陛下と御一緒に、マラソン競技と馬術競技、そして閉会式に出席しました。断片的な記憶ではありますが、マラソン競技で、一生懸命に走っていた円谷選手が競技場内で英国のヒートリー選手に追い抜かれ、銅メダルを獲得したこと、そして、閉会式において、各国選手団が国ごとではなく、混ざり合って仲良く行進する姿を目の当たりにすることができたことは、変わらず持ち続けている、世界の平和を切に願う気持ちの元となっているのかもしれないと思っております。

大阪万博では日本のパビリオンはもとより、外国のパビリオンも多数回り、世界にはこんなにも多くの国があり、一つ一つの国が様々な特色を持っているのだということを目の当たりにしました。

青年に達してからの大切な記憶として、まず思い起こすことは、オックスフォード大学への留学です。一人の留学生として、日本にいる時より自由に行動でき、その中で、様々な人との交流を重ね、イギリス社会を内側から見つめるとともに、外から、より客観的に日本を見る視点を養うことができたこと、そして、研究生活を通じ、「水」問題への関心の一つの端緒となった研究論文に取り組むことができたことなど、現在の公務に取り組む姿勢にも大きな影響を与えている数々の貴重な経験をさせていただきました。このような機会を与えてくださった上皇太后陛下に、改めて感謝申し上げたいと思います。

平成になり、皇太子となって平成5年に結婚し、雅子と2人で支え合いながらいろいろなことを経験することができたこと、そして、愛子も生まれたことは本当にうれしいことでした。親として、愛子の成長を見守ってることができたことも喜びでした。

その一方で、平成7年の阪神・淡路大震災や平成23年の東日本大震災をはじめとする数々の災害による被害の大きさが、忘れることのできない記憶として、脳裏に焼き付いております。同時に、大勢の被災者の方々が、大きな被害を受けながらも、助け合いながら、また、海外も含め、周囲の多くの人々による支援に支えられながら、多くの苦難を乗り越えてこられた姿が深く心に残っていま

す。自然災害が起きることが避けられないとすれば、その被害が小さくなるよう、できる限り日ごろから防災・減災の意識を持って取り組みを心掛けることが重要なことではないかと思えます。



花田応急仮設住宅で、台風19号の被災者を見舞う天皇、皇后両陛下(2019年12月26日、宮城県丸森町)

昨年も残念ながら、台風19号をはじめとする台風・大雨などの自然災害により、多くの方が亡くなられ、また、家屋の損傷なども含め、大きな被害が生じたことは心の痛むことでした。昨年12月には、特に人的被害の大きかった宮城県・福島県を雅子と共に訪問しましたが、寒さが厳しい中、不自由な避難生活を送らなければならない方々のことを思うと、今なお胸が痛みますし、避難生活をされる方々を支えたり、災害復旧に当たったりしている関係者の皆さんも大変な苦勞をされていると思えます。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大が懸念されていますが、罹患(りかん)した方々と御家族にお見舞いを申し上げます。それとともに、罹患した方々の治療や感染の拡大の防止に尽力されている方々の御苦労に深く思いを致します。感染の拡大ができるだけ早期に収まることを願っております。

近年の子供たちをめぐる虐待の問題の増加や貧困の問題にも心が痛みます。次世代を担う子供たちが健やかに育っていくことを願ってやみません。

また、海外に目を向けますと、紛争が続いている国や地域が依然としてあり、多くの人々が苦しい生活を余儀なくされ、あるいは、難民として国外に逃れざるを得ない状況にも胸が痛みます。その意味でも、アフガニスタンの人々のために、長年にわたり、地域の発展に多大な貢献をされていた医師の中村哲さんが亡くなられたことは大変に残念なことでした。

うれしい出来事としては、昨年、日本で初めて開催されたラグビーワールドカップにおいて、日本代表チームが次々と世界の強豪に勝って、初のベスト8に進出したことや、その時使われた「ワンチーム」という言葉の概念が多くの人々の共感を得て、社会に浸透したこと、また、学術的分野では、リチウムイオン電池の生みの親である吉野彰さんがノーベル化学賞を受賞されたことなどは印象に残るうれしいニュースでした。

今年開催される東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に期待することですが、まず第一に、この世界的なスポーツの祭典が、関係する方々の尽力により、つつがなく成功裏に終わられることを願っています。その上で、この大会が、日本人選手を含む、全ての参加者にとり、思い出に残るすばらしいものとなることを期待いたします。そして、今回のオリンピック・パラリンピック大会を通して、特に若い人たちに、世界の人々への理解を深め、平和の尊さを感じてほしいと願っています。

大会の開催期間中やその前後に、海外からの選手や観光客が大勢来日するのを契機に、日本の人々、とりわけ若い人たちが彼らとの交流を通じ、世界の多様性に対する理解を深め、国際的な視野を広げる機会になることを願うとともに、逆に海外の方にとっても、日本のことを知る良い機会となれば幸いです。

また、パラリンピック競技大会を通じ、障害者スポーツへの理解が

更に進み、障害を持つ方々にとっても励みになるとともに、障害を持つ方々をめぐる社会の今後の在り方の可能性についても、社会全体で更に目を向け、理解と協力の輪を広げる良い機会になることを期待しております。

■世界各地の環境問題に懸念、水問題の知見「いかしたい」

問 6 ご即位なさってから、変わらずお忙しい日々をお過ごしかと存じますが、陛下の今後のご活動についておうかがいいたします。「水の問題」に陛下は長年取り組んでいらっしゃいますが、気候変動への関心の高まりと同時に水の問題への懸念も国内外で高まっています。水の問題、ひいては環境問題に関しまして、今後どのようなご活動をお考えでいらっしゃるか、お聞かせ願えますでしょうか。

陛下 昨年は台風19号をはじめとする台風・大雨による災害が数多く発生しました。日本だけではなく世界中で頻発している水災害は、その遠因に気候変動があると分析されており、今後被害が激化していくことが懸念されます。

日本は、台風や豪雨、津波といった自然災害の影響を受けやすい国土であることから、これからの務めの中で、国民生活の安定と発展を願い、また、防災・減災の重要性を考えていく上で、「水」問題への取り組みで得られる知見も大切にいかしていきたいと思えます。

国外に目を向けても、昨年来のオーストラリアにおける大規模な森林火災など、気候変動や「水」問題に関連した災害が頻発しています。「水」に関する取り組みは、安全な飲料水の供給・確保や衛生などの生活環境の問題のほか、干ばつ・砂漠化・水質汚染など、多岐にわたる地球規模の環境問題にも深く関わってきます。



160歳の誕生日を前に記者会見する天皇陛下(21日、赤坂御所)=代表撮影

つい先日、南極の気温が18度を超えたというニュースを耳にしましたが、地球温暖化の関係では、南極やグリーンランドの氷床がとけたり、海水が膨張することなどによる海面上昇は、海拔が低い所に住む人々に深刻な影響を与えています。また、山岳地帯に住む人々にとって、氷河湖の決壊が洪水を誘発し、下流地域の村を押し流すなどの問題を引き起こすこともあります。このような気候や水に関わる様々な状況を心配しております。

「水」問題については、「水」を切り口に、豊かさや貧困、防災など、国民生活の安定と発展とともに、世界の様々な課題についても考えを巡らせることができると思えます。

即位以来、慌ただしく日が過ぎましたが、事情の許す範囲で少しずつ「水」問題についての取り組みも今後とも続けていくことができればと思っております。

■在日外国人やLGBT…多様性に「寛容の心で受け入れ」

関連質問 1 先ほど、2番目の質問で、陛下は変化の激しい時代だというふうにおっしゃいました。この平成の初期と比較しますと、外国人労働者をはじめ、在日外国人の方々の増加、また外国にルーツを持つ日本人の増加が挙げられると思います。また、様々な障害を持たれた方々やLGBTといった性的マイノリティの人々が掲げる問題についても顕在化したと言えると思います。上

皇上帝后両陛下は、社会の片隅に暮らす人々に対して光を当ててこられました。新たな国及び国民の象徴となられた陛下は、このような人々に対してどのように寄り添い、光を当てていきたいというふうにお考えでしょうか。

陛下 上皇上帝后両陛下が、今お話のあったような方々に対して、心を寄せてこられたことを私もよく存じておりますし、そのような上皇上帝后両陛下のなさりようをおそばで拝見しながら、私も、本当にこの世界にはいろいろな方がおられ、そういった多様性に対して、私たちは寛容の心を持って受け入れていかなければいけないと常に思ってきました。私も引き続きそのような方々に対する理解も深めていきたいと思っております。

■「被災者の声に耳傾け、寄り添いたい」

関連質問 2 天皇上帝后両陛下、台風19号、令和元年東日本台風と命名されましたが、記録的な大雨の被災地お見舞いのために、昨年12月26日に福島県本宮市と宮城県丸森町を訪問されました。励ましを受けた自治体の関係者、住民の皆さんは大変感謝しており、心より復興への意欲を新たにしています。さて、東日本大震災と東京電力福島第一原発事故から3月11日で丸9年を迎え、10年目に入ります。両陛下はこれまでも被災地を訪問し、励ましの言葉を掛けてこられました。被災地、被災者、さらに、復興への思いをお聞かせください。

陛下 東日本大震災が各地に甚大な被害を及ぼしたことは、今思い出しても胸が痛みます。これまでも震災直後のお見舞いや復興状況の視察として、雅子と共に被災地を訪問いたしました。被災地ではまだ様々な問題が残っているように伺っております。特に、家族など、親しい方が亡くなられた方、そして生活環境が一変した方や、家族や友達、それから地域の方々がバラバラになってしまった方々など、そういった方々のことを考えると、まだ震災からの傷が完全に癒えてはいないという思いがいたしますし、また子供たちの心のサポートといえますが、心のケアの問題も大切であり、それはまだ残っていると思います。私も雅子も今後とも引き続き被災地の方々お一人お一人の声に耳を傾け、被災者に寄り添い、被災地に長く心を寄せていきたいと思っております。その上で、引き続き、機会を見て被災地を訪問することができればと思っております。

■戦後75年「世界の平和、心から望む」

関連質問 3 今年は広島、長崎に米国の原爆が投下されて75年を迎えます。被爆者は老いてもなお核兵器廃絶を強く訴え続けています。この取り組みを陛下はどのように受け止めておられますか。また、75年の節目、もしくは近い将来に広島、長崎の被爆地を御訪問されるお考えはありますか。

陛下 被爆者の方々が高齢化が進んでおりますし、本当に皆さん大変な思いをされたということ、今御存命の方々も本当に大変な思いをされているということは私もよく承知しております。その上で、やはり世界の平和というものを心から望む立場として、今後とも、広島、そして長崎についても心を寄せていきたいと思っておりますし、また、広島、長崎を訪れる機会があればと思っております。